宮崎大学インフラ長寿命化計画

（行動計画・個別施設計画）

宮崎大学施設環境部

はじめに

我が国のインフラが今後急速に老朽化することが予測される中、国および地方公共団体等が管理するあらゆるインフラを対象に、国及び地方公共団体等が一丸となってインフラの戦略的な維持管理等を推進するため、平成 25 年 11 月 29 日に開催された「インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議」において、「インフラ長寿命化基本計画」が策定された。

これを受けて文部科学省は、所管施設等の長寿命化に向けた各設置者の取組を推進するため、「文部科学省インフラ長寿命化計画(行動計画)」を平成 27 年 3 月に策定した。

その内容は国立大学法人が保有する施設も対象としており、これに基づき、本学におけるインフラ長寿命化のための行動計画・個別施設計画の策定が求められている。

施設整備をめぐる財政状況が厳しい中、将来にわたって安定的に整備充実を図るため、膨大な保有施設を最大限活用しながら計画的な修繕・改修等の対策を行うことが重要である。特に老朽施設・設備等については、事故未然防止と研究棟確保のため、整備実態の把握および的確な点検を進め、計画的に対策を実施することが一層重要となってきている。

さらに、経年による施設の機能陳腐化等により、教育研究の高度化・多様化・国際化および産学官連携推進等の教育研究活動に支障が生じていないか、また、バリアフリーや省エネ等の社会的要請に対応できているか等を適時に確認し、機能向上を図っていくことも重要である。

このインフラ長寿命化の行動計画・個別施設計画は、インフラの維持管理等に係るトータルコストの縮減を図り、必要な予算の確保を進めていくため、中長期的な将来の見通しを把握し、これを一つの目安として戦略を立案し、必要な取組を進めていくことに資することを目的としている。

なお、策定にあたっては、「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引(平成 27 年　文部科学省)」を活用し、随所に内容や図表等を引用している。

目次

1．宮崎大学インフラ長寿命化計画の背景・目的 1
1－1．取組の背景 1
1－2．取組みの目的 1
1－3．計画期間 2
1－4．対象施設 3
1－5．インフラ長寿命化の行動計画・個別施設計画の構成 4
2．本学施設の目指すべき姿 5
2－1．宮崎大学の目指すべき方向性について 5
2－2．国立大学法人をとりまく国の文教施設施策の動向について 6
3．宮崎大学の施設実態 9
3－1．施設の運用状況・活用状況の実態 9
3－1－1．対象施設の面積一覧 9
3－1－2．入学生数及び県内人口数の変化 10
3－1－3．施設関連経費の推移 12
3－1－4．施設の保有量 13
3－1－5．今後の維持・更新コスト（従来型） 14
3－2．施設の老朽化状況 19
3－2－1．施設老朽化状況の実態 19
3－2－2．施設の長寿命化計画について 20
3－2－3．今後の維持・更新コスト（長寿命化型） 22
3－2－4．施設更新費に係わる自己資金必要額の試算結果 25
3－2－5．施設の総量の最適化と重点的な整備 26
4．本学施設整備の基本方針等 28
4－1．キャンパスマスタープラン・インフラ長寿命化計画の一体的計画 28
4－2．本学施設の整備の基本方針 30
5．基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等 32
5－1．改修等の整備水準 32

5－1－1．長寿命化実施に伴う整備水準 32
5－1－2．長寿命化を行う計画対象施設の設定 34
5－1－3．目標耐用年数と改修周期の設定 34
5－2．予防保全のための維持管理項目・手法 36
5－3．優先度の設定 37
5－3－1．教育研究施設における優先度 37
5－3－2．附属病院・附属動物病院における優先度 41
5－3－3．寄宿舎・職員宿舎における優先度 43
6．長寿命化の実施計画 46
6－1．施設改修に要するコストの検討 47
6－2．施設の長寿命化の実施計画 49
6－2－1．教育研究施設の長寿命化実施計画 50
6－2－2．附属病院・附属動物病院の長寿命化実施計画 50
6－2－3．寄宿舎・職員宿舎の長寿命化実施計画 51
6－3．財源の検討 54
6－4．財源確保策の検討 56
6－4－1．保有資産の最適化 56
6－4－2．保有資産の有効活用 61
6－4－3．エネルギーマネジメント 62
7．長寿命化計画の継続的運用方針 64
7－1．情報基盤の整備と活用 64
7－2．施設マネジメント推進体制の整備 65
7－3．フォローアップ 65
資料編 67
資料1．建物カルテについて 68
資料1－1．建物カルテの作成 68
資料1－2．建物情報一覧表 69
資料2．個別部位の改修計画 72

資料２－１．優先的に整備する個別部位の設定 72
資料２－２．計画を実施する判断基準 73
資料２－３．屋上防水改修整備計画 74
資料２－４．外壁改修整備計画 78
資料３．長寿命化実施計画 82
資料３－１．施設改修ロードマップ 82
資料３－２．総合劣化度と施設重要度による施設改修優先順位 88
資料３－３．宮崎大学職員宿舎再編計画 91

1．宮崎大学インフラ長寿命化計画の背景・目的

1－1．取組の背景

戦略的かつ機能的な大学運営を行うため、高度・多様化する教育研究医療活動や新たな教育研究医療活動に展開できる質の高い教育研究医療環境を整備することが求められている。しかしながら、国立大学法人においては施設整備費をめぐる財政状況は厳しく、我が国の高度成長期以降に集中的に整備されたインフラが今後一斉に老朽化するため、さらなる厳しい財政状況が見込まれる。

また、本学の木花キャンパスは統合移転整備により昭和 40 年代～50 年代に整備されたため、施設や基幹設備（ライフライン）の老朽化が進んでおり膨大な施設の更新時期が到来している。財政状況により予算確保が難しい場合、施設の老朽化が進むことで修繕費の確保が行えなくなり、教育基盤への支障や弱体化が懸念される。

1－2．取組みの目的

インフラ長寿命化の行動計画・個別施設計画は、インフラの維持管理等に係るトータルコストの縮減を図り、必要な予算の確保を進めていくため、中長期的な将来の見通しを把握し、これを一つの目安として戦略を立案し、必要な取組を進めていくことに資することを目的としている。

施設整備をめぐる財政状況が厳しい中、将来にわたって安定的に整備充実を図るため、膨大な保有施設を最大限有効活用しながら計画的な修繕・改修等の対策を行うことが重要であり、特に老朽施設・設備等については、事故未然防止と研究機能等確保のため、整備実態の把握および的確な点検を進め、計画的に対策を実施することも重要である。

さらに、経年による施設の機能陳腐化等により、教育研究の高度化・多様化・国際化・産学官連携推進等の教育研究活動に支障が生じていないか、また、バリアフリーや省エネ等の社会的要請に対応できているか等を適時に確認し、機能向上を図っていくことも一層重要である。

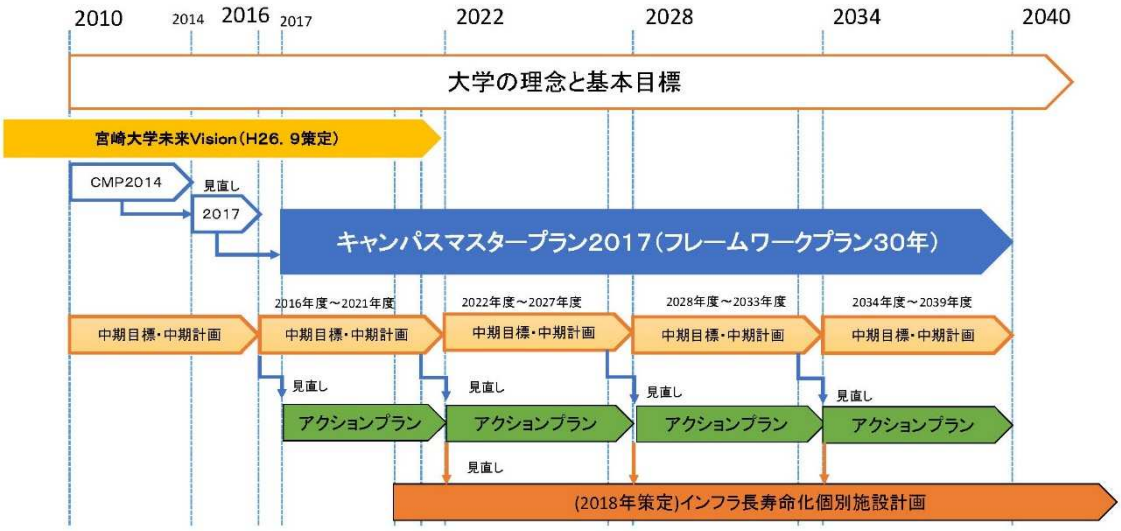
「財政的に持続可能な範囲」で計画を実現するためには、従来と同じ手法による整備を見直すことで、経費抑制と平準化に取り組む必要がある。

このため、国の老朽化対策である「インフラ長寿命化計画基本計画」に基づき、建物の耐用年数に応じて適切な時期に適切な改修を行うことにより、経費の抑制と平準化を図りながら安心・安全な施設環境を確保していく。

1－3. 計画期間

本計画の計画期間は、４０年（2018年～2057年）とする。

また本計画は、キャンパスマスタープランおよび中期目標・中期計画と連動しているため、適時、フォローアップを行う。



インフラ長寿命化の計画期間

1－4. 対象施設

全ての施設を本計画の対象施設とする。ただし、借用建物は除く。

なお、附属病院の施設は、財政融資資金を財源とした長期借入金を活用して整備を行う。職員宿舎は、2021 年度～2025 年度において再編を行う計画である。

2017年度時点

団地名	棟番号	棟名称	建築面積	延床面積	建築年	経年数
木花キャンパス	1	実験研究棟(講義棟)	3,229	19,543	1984	33
	2	実験研究棟(獣医)	640	3,524	1984	33
	3	福利施設棟	1,525	3,458	1984	33
	4	中央機械室棟	423	423	1984	33
	5	動物病院	913	1,824	1985	32
	6	動物舎	244	209	1985	32
	7	環境制御動物実験棟	130	130	1985	32
	8	緩草地生産利用実験棟	151	298	1985	32
	9	ガラス室	30	30	1985	32
	10	ポンプ室	24	24	1985	32
	11	農林水理実験棟	231	231	1985	32
	12	木村食品加工実験実習車庫棟	347	347	1985	32
	13	農業工学実験棟	694	694	1985	32
	14	実験温室	63	63	1985	32
	15	実験温室	63	63	1985	32
	16	実験温室	63	63	1985	32
	17	ボイラ室	11	11	1985	32
	18	危険物薬品貯蔵庫	42	42	1985	32
	19	農場管理棟	614	971	1984	33
	20	工学部A棟	1,365	8,020	1986	31
	21	工学部C棟	891	5,398	1986	31
	22	工学部B棟	1,465	2,548	1986	31
	23	電気機器実験棟・車庫	208	208	1986	31
	24	危険物薬品庫	20	20	1986	31
	25	高電圧実験棟	205	205	1986	31
	26	土木工学実験実習棟	939	937	1986	31
	27	機械工学実験実習棟	415	413	1986	31
	28	機械実習工場	648	648	1986	31
	29	ポンプ室	11	11	1986	31
	30	超波計測室	16	16	1986	31
	31	情報基盤センター	682	1,254	1986	31
	32	事務所棟	951	3,228	1986	31
	33	農業資料館	417	786	1986	31
	34	大型及び小型機械棟	590	590	1986	31
	35	樹木植物温室	270	270	1986	31
	36	土耕ガラス温室	50	50	1986	31
	37	水耕温室	302	302	1986	31
	38	機械室	30	30	1986	31
	39	[illegible]	311	387	1987	30
	40	体育館	2,852	3,296	1987	30
	41	器具庫	122	105	1987	30
	42	附属図書館	1,829	4,977	1987	30
	43	実験研究棟	1,931	12,705	1987	30
	44	男子寄宿舎	459	1,887	1988	29
	45	課外活動施設	575	1,201	1988	29
	46	危険物薬品庫	12	12	1988	29
	47	農機倉庫	57	57	1988	29
	48	温室	42	42	1988	29
	49	美術棟	1,058	1,469	1988	29
	50	技術・家庭棟	1,705	2,551	1988	29
	51	音楽棟	962	1,815	1988	29
	52	土耕温室	302	302	1988	29
	53	廃液処理施設棟	145	92	1988	29
	54	講義棟	2,292	6,221	1988	29
	55	門衛所	64	64	1989	28
	56	廃液貯蔵庫	81	81	1989	28
	57	課外活動施設	279	279	1989	28
	58	弓道場	120	120	1989	28
	59	プール付属室	216	216	1989	28
	60	女子寄宿舎	472	1,204	1990	27
	61	武舎	140	140	1991	26
	62	育苗用温室	32	32	1991	26
	63	ガスメータ室	7	7	1992	25
	64	国際交流会館単身者棟	706	4,227	1992	25
	65	国際交流会館夫婦・家族棟	129	460	1994	23
	66	教育協働開発センター	295	534	1994	23
	67	[illegible]	1,178	2,013	1996	21
	68	創造プロジェクト棟	467	819	1996	21
	69	[illegible]	385	1,114	1997	20
	70	乱流風洞実験棟	240	240	1997	20
	71	[illegible]	382	1,510	1999	18
	72	工学部E棟	478	3,514	2000	17
	73	総合研究棟	750	1,421	2001	16
	74	検収センター	56	55	2010	7
	75	農場管理棟	41	41	2009	8
	76	牛舎1	24	24	2011	6
	77	牛舎2	11	11	2011	6
	78	管理棟	40	40	2011	6
	79	大原事務所	25	25	2011	6
	80	産業動物教育研究センター	541	1,125	2012	4
	81	更衣室棟	198	198	2012	4
	82	サークル棟	268	268	2012	4
	83	発電機室A	39	39	2014	3
	84	発電機室B	31	31	2014	3
	85	発電機室C	31	31	2014	3
	86	イスラーム文化研究交流棟	79	79	2014	3
	87	防災倉庫	199	199	2014	3
	88	創立330記念交流会館	1,673	1,670	2014	3
	89	留学生宿舎	143	524	2015	2
	90	多目的トイレ	7	7	2016	1
	91	車庫	57	57	2017	0
	92	地域デザイン講座棟	354	238	2017	0

団地名	棟番号	棟名称	建築面積	延床面積	建築年	経年数
清武キャンパス	1	講義・実習棟	1,920	8,582	1975	42
	2	基礎臨床研究棟	1,364	9,876	1976	41
	3	附属病院	12,344	45,567	1977	40
	4	基礎臨床研究棟	1,243	7,481	1977	40
	5	福利施設	898	2,038	1976	41
	6	体育館	1,148	1,148	1976	41
	7	中央機械室	1,828	1,860	1976	41
	8	看護師宿舎	551	2,428	1977	40
	9	看護師宿舎	316	1,505	1977	40
	10	[illegible]	691	1,783	1977	40
	12	図書館	854	1,908	1978	39
	13	看護師宿舎	332	1,632	1978	38
	14	倉庫	138	276	1980	37
	15	[illegible]	312	960	1980	37
	16	非常勤講師宿泊施設	156	237	1980	37
	17	非常勤講師宿泊施設	99	183	1980	37
	18	武道場	320	320	1981	36
	19	[illegible]	320	1,092	1983	34
	20	臨床研究棟	450	1,302	1988	29
	21	MRI－CT装置棟	431	468	1989	28
	22	[illegible]	215	472	1992	25
	23	MRI－CT装置棟	132	182	1996	21
	24	総合教育研究棟	1,899	8,581	2003	14
	25	中央診療棟	1,942	5,712	2007	10
	26	立体駐車場	3,439	6,845	2007	10
	27	カルテ庫	154	153	2009	8
	28	外来診療棟	3,043	8,850	2010	7
	29	外来管理棟	455	1,297	2010	7
	30	格納庫	270	270	2011	6
	31	待機室	58	58	2011	6
	32	油置庫	24	24	2011	6
	33	廃棄物保管庫	141	141	2012	5
	34	救命救急センターヘリポート棟	569	1,704	2013	4
	35	滅菌室	49	49	2013	4
	36	サークル棟	152	152	2013	4
	37	カルテ倉庫	280	280	2014	3
	38	防災倉庫	93	93	2014	3
	39	防災倉庫	115	212	2014	3
	40	管理棟	36	36	2017	0

団地名	棟番号	棟名称	建築面積	延床面積	建築年	経年数
花殿キャンパス	1	附属中学校教室1・2号	2,071	4,111	1960	57
	2	陶芸室	40	40	1971	46
	10	物置	3	3	1965	52
	13	ポンプ室	5	5	1956	61
	20	附属小学校教室2号	1,186	2,873	1970	47
	22	附属小学校教室1号	767	1,881	1964	53
	26	踊り廊下	69	69	1958	59
	29	プール付属室	60	60	1972	45
	31	プール付属室	192	192	1966	51
	32	ガラス温室	35	35	1981	36
	33	物置	10	10	1977	40
	34	附属中学校校舎	341	1,027	1981	36
	35	附属小学校校舎	460	1,274	1982	35
	37	附属小学校体育館	1,042	976	1996	21
	38	附属中学校体育館	1,219	1,996	1996	21
	39	工作室	29	29	2008	9
船塚	79	木琴会館	132	132	1989	28
	80	幼稚園舎	1,028	883	1993	24
	81	便所・倉庫	30	30	2008	9

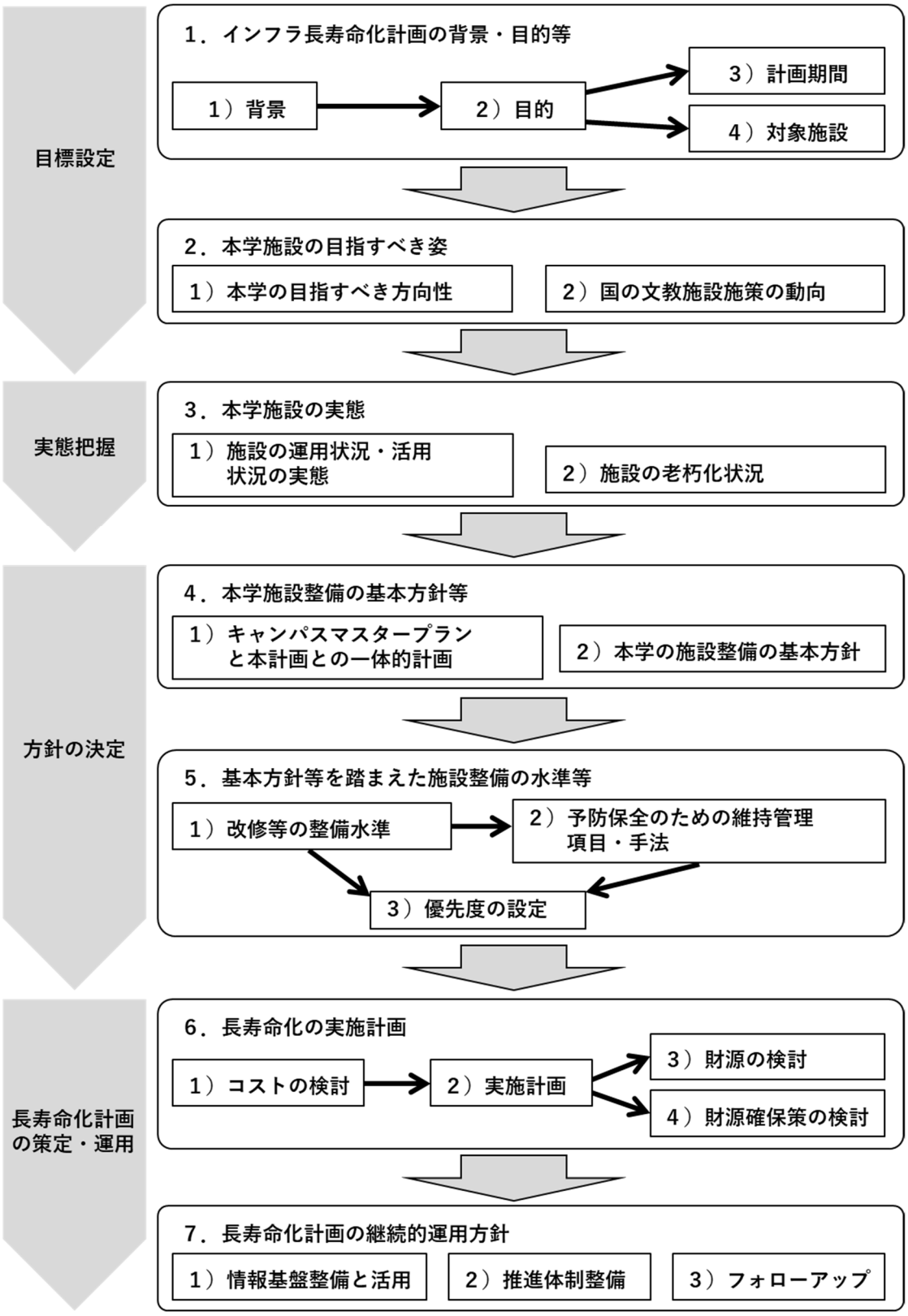
団地名	棟番号	棟名称	建築面積	延床面積	建築年	経年数
住吉	35	車輌庫	206	206	1970	47
	36	乾草庫	103	103	1970	47
	47	搾乳室	80	125	1966	51
	48	乳および肉加工室	277	277	1966	51
	49	乳牛舎	464	464	1968	49
	50	バンガーサイロ	123	123	1968	49
	51	人工授精室	86	86	1969	48
	52	乾草給与場	205	205	1969	48
	53	繁殖牛舎	496	496	1978	39
	54	実験研究棟	368	704	1979	38
	55	試験舎舎	439	362	1979	38
	56	子牛舎及び衛生室	681	681	1979	38
	57	第2車輌庫・火力乾燥	677	677	1979	38
	58	堆肥舎	395	395	1980	37
	63	短期宿泊施設	240	390	1981	36
	64	車庫	40	40	1985	32
	65	糞尿再生処理施設	149	149	2005	12
	66	肥育牛舎	597	597	2005	12
	67	牛舎	363	339	2015	2
	68	堆肥舎	214	198	2015	2
田野1	7	木材加工室	136	136	1959	58
	9	事務所	484	758	1972	45
	18	車庫	96	96	1980	37
赤水	1	附属水産実験所施設棟	478	914	1973	44
	2	凍水増殖実験室	135	135	1973	44
	3	ポンプ室	20	20	1973	44
木原2	1	水田作業舎	250	250	1987	30
大納	3	作業員詰所	42	42	1983	34
	4	便所	1	1	1983	34

団地名	棟番号	棟名称	建築面積	延床面積	建築年	経年数
清武2(職員宿舎)	1	職員宿舎(D棟)	475	1,900	1975	42
	2	職員宿舎(E棟)	373	1,492	1976	41
	3	職員宿舎(F棟)	249	632	1976	41
	4	職員宿舎(1棟)	267	1,007	1977	40
	5	職員宿舎(2棟)	406	2,030	1977	40
	6	職員宿舎(3棟)	270	1,354	1977	40
	7	職員宿舎(4棟)	270	1,354	1977	40
	8	職員宿舎(5棟)	311	1,555	1978	39
	12	保育施設	252	235	2007	10
清武3	1	職員宿舎(A棟)	475	1,900	1974	43
	2	職員宿舎(B棟)	373	1,492	1974	43
	3	職員宿舎(C棟)	373	1,492	1975	42

団地名	棟番号	棟名称	建築面積	延床面積	建築年	経年数
田野2	1	宮崎市介護老人保健施設	1,067	1,885	1991	26
	2	宮崎市立田野病院	2,235	4,129	2012	5
	3	自動車車庫	138	235	2012	5

団地名	棟番号	棟名称	建築面積	延床面積	建築年	経年数
橘通	1	歯科口腔外科サテライト	126	126	2007	10
	2	まちなかキャンパス	119	119	2017	0

1－5. インフラ長寿命化の行動計画・個別施設計画の構成



2．本学施設の目指すべき姿

2－1．宮崎大学の目指すべき方向性について

(1)「国立大学経営力戦略(平成 27 年 6 月 16 日　文部科学省)」において、各国立大学は、既存の枠組みや手法等にとらわれない大胆な発想で、学長がリーダーシップとマネジメント力を発揮し、組織全体をリードする将来ビジョンに基づく自己改革・新陳代謝を実行することや、確かなコスト意識と戦略的な資源配分を前提とした経営的視点で大学運営を行うことで経営力を強化することが求められている。

大学等の将来ビジョンに基づく機能強化を推進する具体的施策として、国立大学法人運営費交付金の中に３つの重点支援の枠組みが設けられ、第 3 期中期目標期間において、宮崎大学は、主として、地域に貢献する取組とともに、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で世界・全国的な教育研究を推進する取組を中核とする国立大学として取組んでいる。

(2) 第 3 期中期目標期間（平成 28 年度～平成 33 年度）を視野に入れた、活動の道標となる『宮崎大学未来 Vision～地(知)の融合で興す「新たに光る宮崎ブランド」を日本と世界へ～』は、『異分野融合を軸に「地の利、人の利」を活かした教育研究等の推進』や『地域と共に興す「新たに光る宮崎ブランド」の確立と発信』を目標とし、人材育成・研究・グローバル化・医療・大学運営の視点からまとめたものである。これにより宮崎大学は、地域活性化の拠点として、また、特色ある学術研究を宮崎から世界へ発信する拠点として、新たな大学創造に邁進することとしている。

2－2. 国立大学法人をとりまく国の文教施設施策の動向について

(1)　第 4 次国立大学法人等施設整備 5 か年計画(平成 28～32 年度)

(平成 28 年 3 月 29 日　文部科学大臣決定)

ⅰ　重点整備

①　安全・安心な教育研究環境の基盤の整備

・耐震対策(非構造部材を含む)や防災機能強化に配慮しつつ、長寿命化改修を推進

・老朽化した基幹設備(ライフライン)を更新

②　国立大学等の機能強化等変化への対応

・大学等の機能強化に伴い必要となる新たなスペースを確保

・長寿命化に合わせ、機能強化に資する整備を実施(ラーニング・コモンズやアクティブ・ラーニング・スペース、地域産業を担う地域人材育成など、地域と大学の連携強化のための施設整備を実施)

・大学附属病院の再開発整備の着実な実施

③　サスティナブル・キャンパスの形成

・今後 5 年間でエネルギー消費原単位を 5%以上削減

・社会の先導モデルとなる取組を推進

ⅱ　推進方策(戦略的な施設マネジメントの取組の推進)

①　施設マネジメント推進のための仕組みの構築

・経営者層のリーダーシップによる全学的体制で実施

②　施設の有効活用

・経営的な視点での戦略的な施設マネジメントの下、施設の有効活用を積極的に行う。

・保有面積の増大は、施設管理コストの増大につながるため、保有面積の総面積抑制を図る。

③　適切な維持管理

・予防保全により良好な教育研究環境を確保する。

・光熱水費の可視化による維持管理費等の縮減や、必要な財源の確保のための取組を進める。

ⅲ　多様な財源を活用した施設整備の推進

大学等は、国が施設整備費の確保に努める一方、資産の有効活用を含め、多様な財源を活用した施設整備を一層推進する。

(2)　大学経営に求められる施設戦略～施設マネジメントが教育研究基盤を強化する～

（平成 27 年 3 月　国立大学等施設の総合的なマネジメントに関する検討会）

i　施設マネジメントの必要性

① 施設の重要性と課題

・教育研究活動を支える基盤、大学機能強化への対応のため施設は重要。

・既存施設の老朽化進行、新たな施設需要増加の課題がある。

② 適切な施設マネジメントの必要性

・現在の施設マネジメントの取組・成果は不十分、経営者層自らが全学的な取組として施設マネジメントを進めることが必要。

ii　基本的な考え方

① 大学経営の一環としての施設マネジメント

・厳しい財政状況の中で国立大学法人等の理念やアカデミックプランを実現するために、施設の戦略的な運営が必要。

・施設マネジメントは、施設の整備や維持管理、既存施設の有効活用、省エネルギー対策、財源確保等、施設全般に係る様々な取組である。

・キャンパス全体について、総合的・長期的視点から、教育研究活動に対応した適切な施設を確保・活用することを目的として実施する。

・施設に係る取組を大学経営の一環として捉え、教育研究や財務の戦略との整合性を図りながら実施する。

② トップマネジメントによる全学的体制の構築

・施設マネジメントは、経営者層のリーダーシップによる全学的体制で実施する。

・体制の構築には、施設マネジメントを経営者層によるトップマネジメントとして位置づけることが必要。

・横断的な実務体制の構築とともに学内の合意形成を図り、実効性のある施設マネジメントを実施。

・また、施設マネジメントの取組への理解を深めるため、施設利用者への普及啓発による参画意識の醸成が不可欠。

③ PDCA サイクルにおける経営者層の役割

・中期的な行動計画を策定する PDCA サイクルを確立するとともに、毎年の取組についても短期間の PDCA サイクルにより検証・評価する。

・経営者層の十分な理解による主体的な実施が必要。

iii 戦略的な実施手法

① 教育研究にもたらす効果の想定と事後の検証・評価

・教育研究等にもたらす効果を想定し施設整備・管理目標を設定する。

・教育研究等にもたらす効果を評価指標によって検証・評価し、結果を次の効果の想定等に活用する。

② 情報を活用した経営判断

・財務状況や既存施設の現状、利用者ニーズなど、判断に必要な情報を把握し、教育研究棟にもたらす効果の想定や実施方策の検討を行う。

③ 三つの視点を踏まえた実施方策の検討

・施設マネジメントの三つの視点(クオリティ、スペース、コスト)から総合的なバランスを図りつつ、実施方策を検討する。

・実施方策の検討結果を踏まえ、施設整備計画・施設修繕計画の中期的な行動計画を策定する。

iv 国の推進方策

① 情報提供

② 施設マネジメントの取組状況の評価

③ 施設マネジメントの理解促進

3. 宮崎大学の施設実態

3－1. 施設の運用状況・活用状況の実態

3－1－1. 対象施設の面積一覧

本学は木花キャンパス、清武キャンパス、花殿キャンパス及び船塚キャンパスの４つの主要キャンパスがある。

木花キャンパスは、昭和 59 年の農学部をはじめに、工学部、教育学部と順次移転整備が進められ、平成元年に全ての組織が移転を完了している。清武キャンパスは、昭和 49 年に宮崎医科大学として設置後、平成 15 年 10 月に旧宮崎大学と統合した新生宮崎大学として今日に至っている。

さらに、花殿キャンパスには附属小学校および中学校、船塚キャンパスには附属幼稚園があり、その他に農学部附属フィールド科学教育研究センターとして、住吉、田野、延岡等に施設を保有している。

宮崎大学では、保有面積約 28 万㎡のうち６割の約 15 万㎡(H28.5.1.現在)が未改修となっており、そのうち約 9 万㎡が木花キャンパスの施設に集中し、今後急速な老朽化の進行が予測される。

国立大学法人宮崎大学　団地別敷地面積一覧　　2018年5月1日

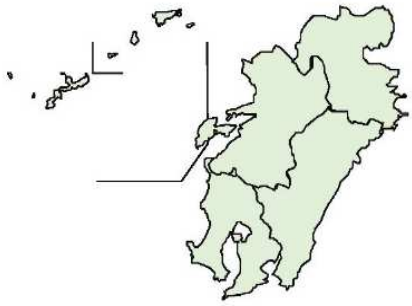
団地名			土地（㎡）		建物延面積（㎡）		団地別棟数（棟）		経年30年越の棟数（改修済みの建物は除く）	
主要団地	木花	本部、学部（農・工・教・地域）	778, 523	1, 064, 616	117, 138	256, 174	92	150	38	52
	清武１	医学部、附属病院	224, 316		123, 410		39		6	
	花殿	附属小学校、附属中学校	39, 980		14, 581		16		8	
	船塚２	附属幼稚園	21, 797		1, 045		3		0	
主要団地の計				**1, 064, 616**		**256, 174**		**150**		**52**
その他団地の計				6, 792, 081		31, 735		46		34
全団地の計				7, 856, 697		287, 909		196		86

3－1－2. 入学生数及び県内人口数の変化

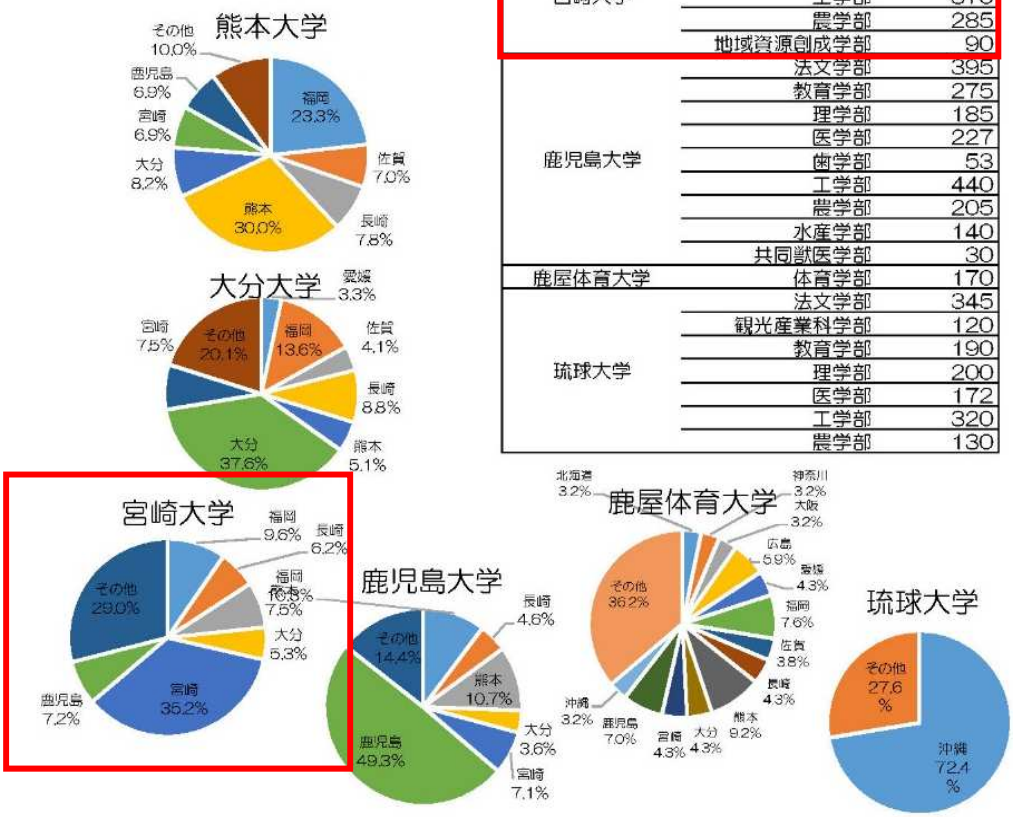
1. 本学と他大学の入学定員と大学入学者の出身高校所在地

本学は、教育学部、医学部、工学部、農学部、地域資源創成学部の５学部からなる大学として機能している。学部の年間入学者定員は約 1,035 人で収容定員は約 4,480 人となり、大学院も合わせると約 5,000 人程度の学生数である。

学部ごとの入学定員と大学入学者の出身高校所在地（17）



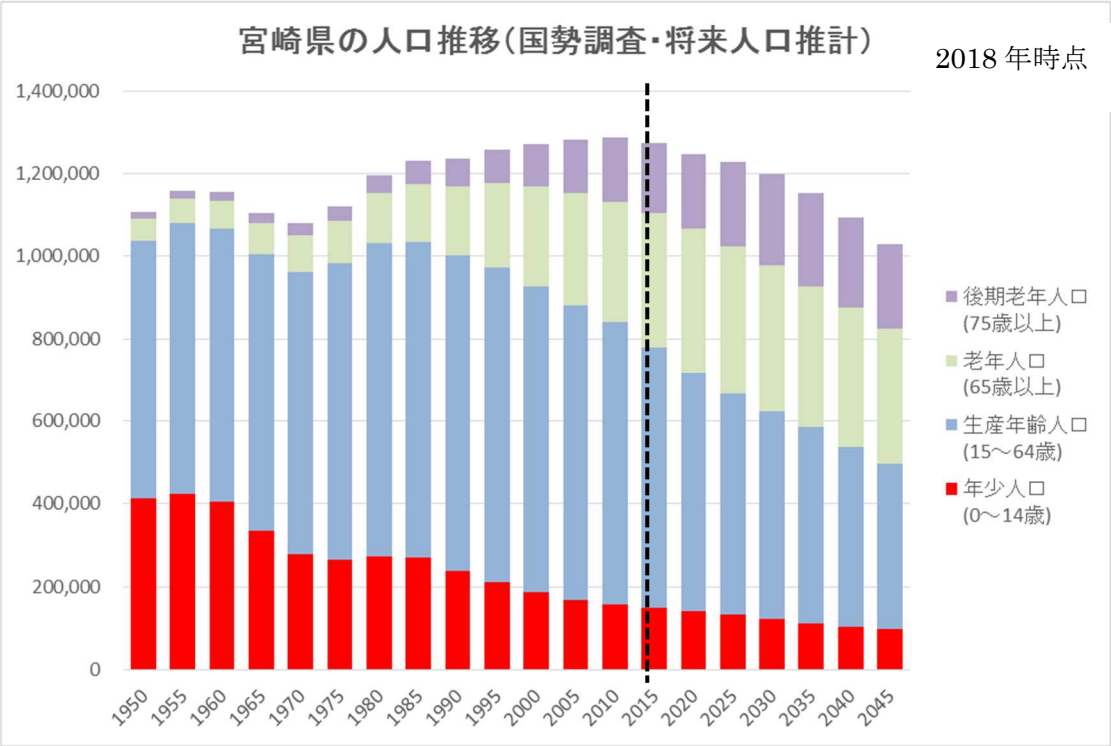
熊本大学	文学部	170	入学定員
	教育学部	290	
	法学部	210	
	理学部	190	計 1,722 人／年
	医学部	259	
	薬学部	90	
	工学部	513	
大分大学	教育学部	135	
	経済学部	305	
	医学部	160	計 1,070 人／年
	工学部	370	
	福祉健康科学部	100	
宮崎大学	教育学部	120	
	医学部	170	
	工学部	370	**計 1,035 人／年**
	農学部	285	
	地域資源創成学部	90	
鹿児島大学	法文学部	395	
	教育学部	275	
	理学部	185	
	医学部	227	
	歯学部	53	計 1,950 人／年
	工学部	440	
	農学部	205	
	水産学部	140	
	共同獣医学部	30	
鹿屋体育大学	体育学部	170	計 170 人／年
琉球大学	法文学部	345	
	観光産業科学部	120	
	教育学部	190	
	理学部	200	計 1,477 人／年
	医学部	172	
	工学部	320	
	農学部	130	



（注）割合が3.0%以上の都道府県を表示。（出典）『平成28年度 全国大学一覧』、「大学基本情報」（2017）より国立大学協会事務局作成

2. 県内人口数の変化－急速な少子高齢化に伴う人口減少

全国的に人口減少する推計が示されている中で、宮崎県の将来人口推移についても今後20年(2040年)でさらなる減少が見込まれている。また、１８歳人口は、2010年～2020年頃までほぼ横ばいで推移するが、2030年頃から再び減少することが予測されている。



今後、少子高齢社会の到来に伴い人口減少見込まれており、学部の組織改編や人数の見直し等の変化にも対応するため、施設整備を行う際にも検討が必要である。

3－1－3. 施設関連経費の推移

1. 施設整備補助金の減少

施設整備費補助金は近年減少傾向にあり、補正予算に依存している状況にある。

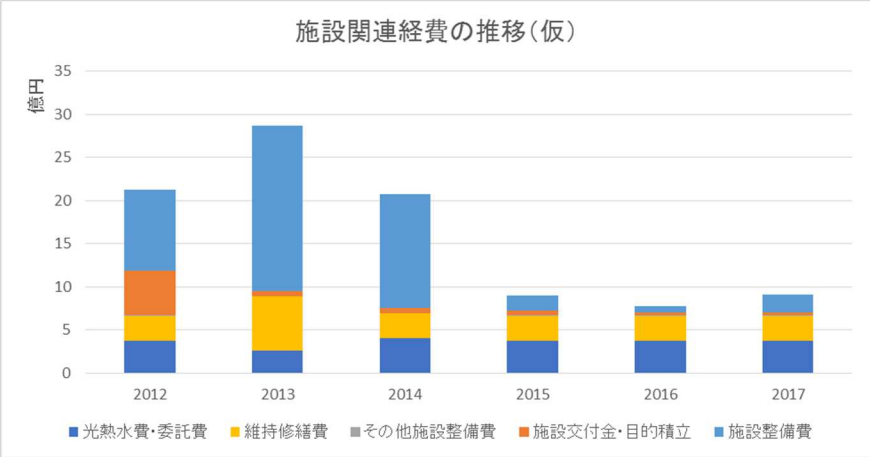
●国立大学法人等施設整備費予算額の推移

（注1）2004年度補正予算額等は、新潟県中越地震等における災害復旧費（89億円）を含む。
（注2）2010年度補正予算額等は、経済危機対応・地域活性化予備費使用額（41億円）を含む。
（注3）2011年度補正予算額等は、東日本大震災における災害復旧費（375億円）を含む。
（注4）2012年度補正予算額等は、2度の経済危機対応・地域活性化予備費使用額（467億円）及び補正予算額（1,412億円）の合計。
（注5）2016年度補正予算額等は、熊本地震復旧等予備費使用額（53億円）及び補正予算額（210億円）の合計。
（注6）2016年度補正予算額（210億円）は、熊本地震における災害復旧費（25億円）を含む。
（注7）2016年度当初予算額（財政融資資金）は、補正予算額（42億円）を含む。
（注8）四捨五入により合計は一致しない場合がある。
（出典）文部科学省「国立大学法人等施設整備費予算額の推移」（2017年4月12日）より国立大学協会事務局作成

「(出典) 国立大学協会、国立大学法人 基礎資料集、2018 年 1 月 30 日。」

2. 宮崎大学の施設関連経費の推移

施設関連予算は施設整備補助金等や施設費交付金・運営費交付金によるものがある。国の予算と同じく施設整備補助金は減少傾向にある。



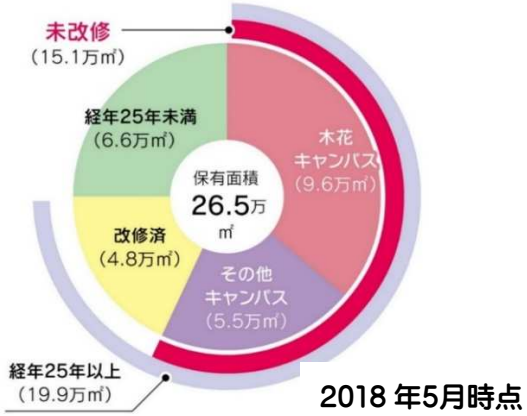
3－1－4. 施設の保有量

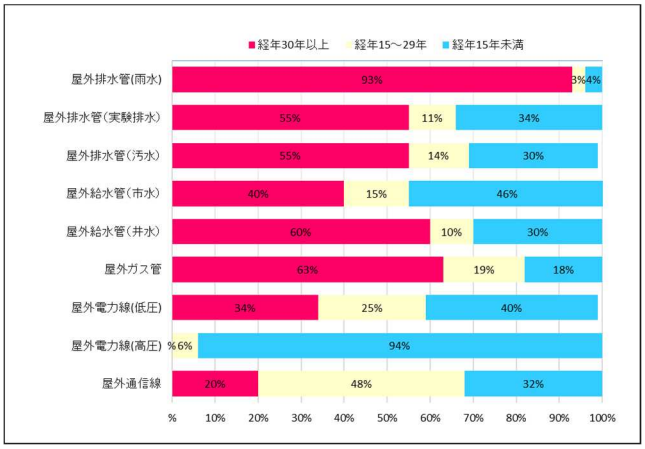
1. 本学の保有資産の状況

耐震対策はほぼ完了したものの、昭和 59 年から昭和 63 年にかけて整備された膨大な施設の更新時期が到来しており、安全面・機能面・経営面で大きな課題が生じ、対応が急務である。

経年 25 年以上の改修を要する施設の面積は全体の約 75%であり、今後 5 年で経年 25 年以上の改修を要する施設の面積が現在より倍増する。

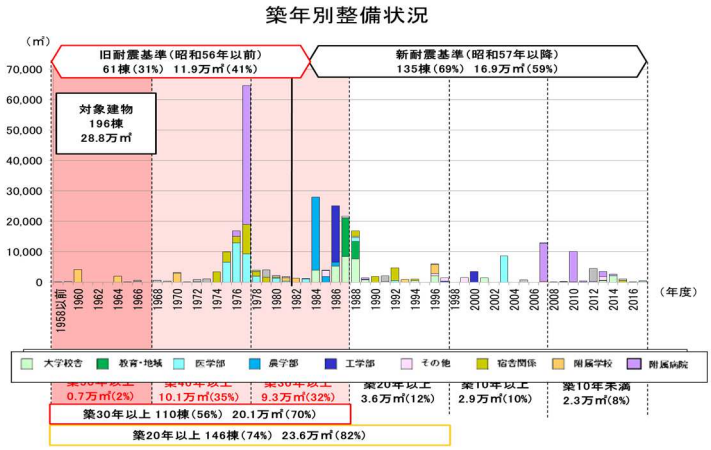
基幹設備（ライフライン）の老朽化も進行し、耐用年数を超えたものの割合が高く、特に教育研究に影響を及ぼすガス配管や排水管の老朽化が 50%を超えている。





2. キャンパスごとの整備状況

宮崎大学には４つの主要キャンパス（木花、清武、花殿、船塚）があり、中でも木花キャンパスは昭和 59 年から 63 年代に移転整備が行われ、経年 30 年以上の建物が集中している。なお、清武・花殿・船塚キャンパスは改修が順次完了している。

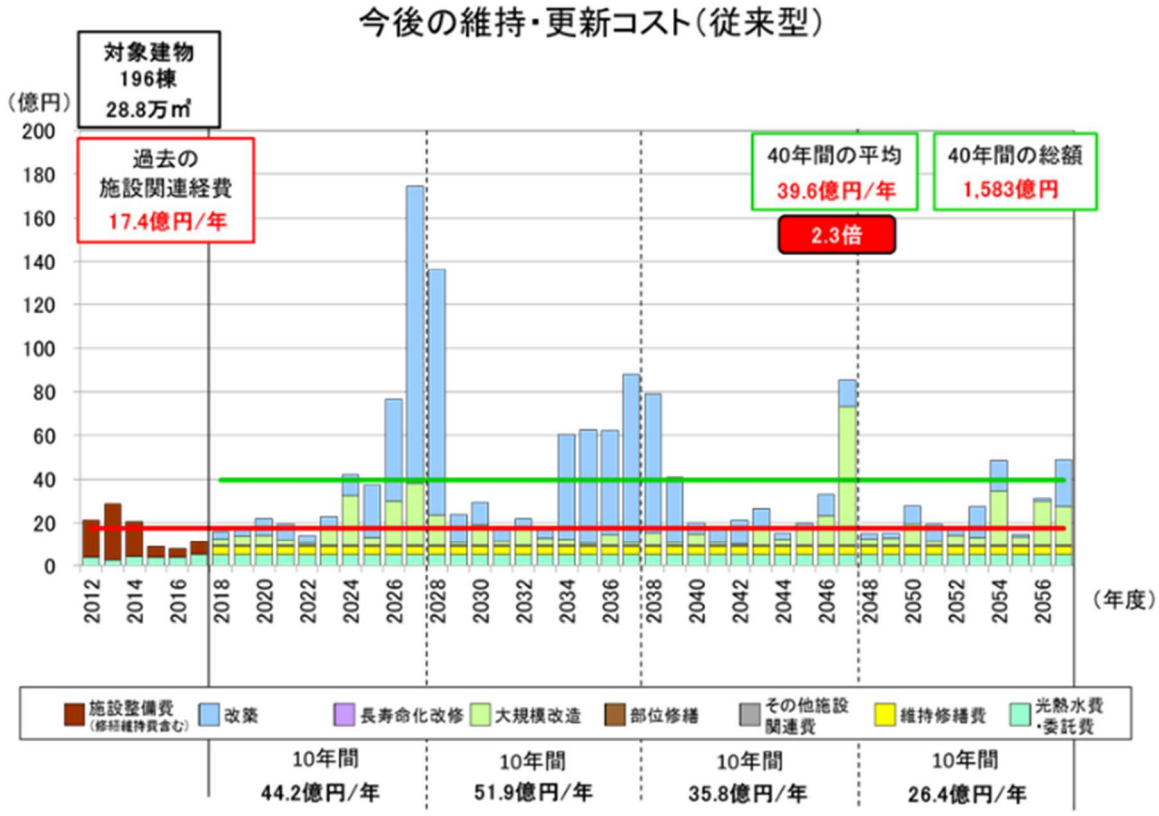


3－1－5. 今後の維持・更新コスト（従来型）

1. 更新コスト（従来型）について

今後、現在と同じく古い建物から順番に更新を行った場合のコストを試算した。対象施設は 196 棟（全ての建物）とし、全ての建物について古い順から改修等を行った場合、40 年間で総額 1,583 億円/年の維持・更新コストが必要になることが試算された。

これは、年間で考えると 39.6 億円となり、現在の約 2.3 倍程度の予算を毎年確保していくことが必要となるため、現状の古い建物から順番に更新を続けていくと、財政的にも非常に厳しいことがわかる。



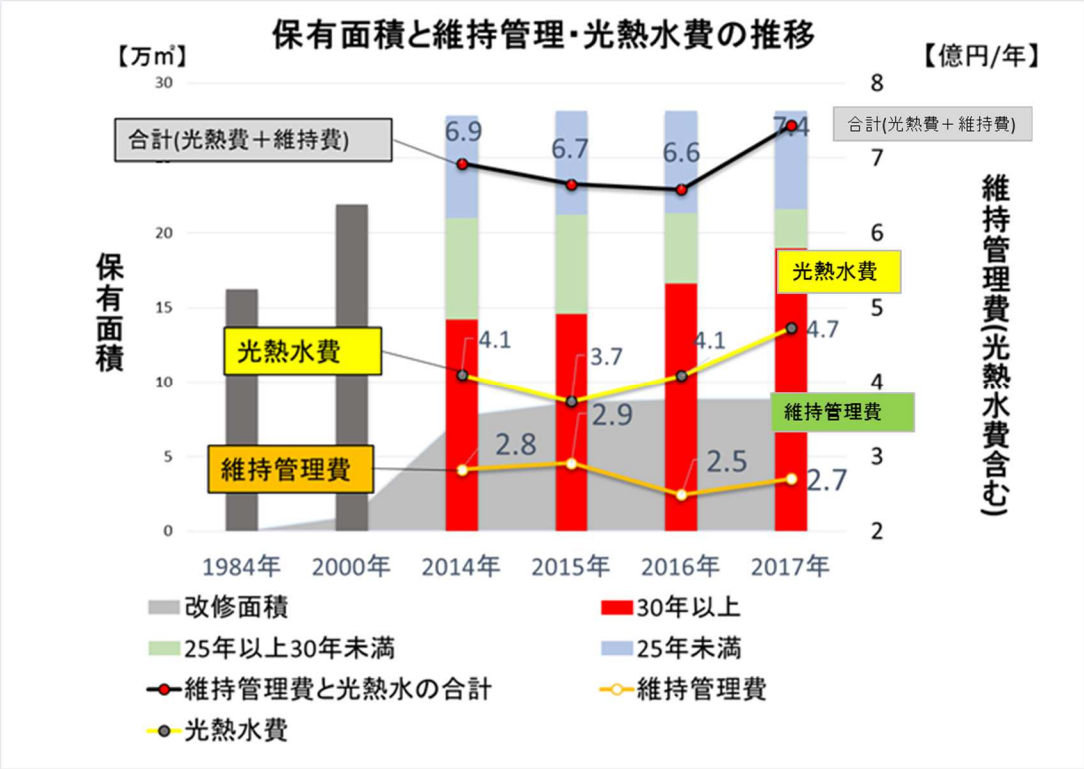
2. 施設維持管理・光熱費の実態について

維持管理とは、施設の点検・運転・維持・修繕を行うことにより、施設を正常に保つことである。教育研究環境を良好に保ち、施設利用者が快適に安心して施設を利用するためには、保有する施設を健全に維持していくことが極めて重要である。

光熱費とは電気料・水道料・ガス料・燃料費のことであり、必要経費となる。

維持管理費が減少すると、施設の劣化・損傷に対応する修繕、設備機器の点検保守等が充分に行えず、教育研究環境を良好に保てなくなる。

教育研究への機能強化対応に伴い、宮崎大学の保有面積は増加傾向にあり、光熱水費は年々増加している。その反面、維持管理費は低水準となり、必要な補修や修繕が満足にできていない。多くの建物で必要な維持管理費が確保されていないため、機能が著しく低下し問題が起きてからの対応となっており、結果、事後保全となっている。

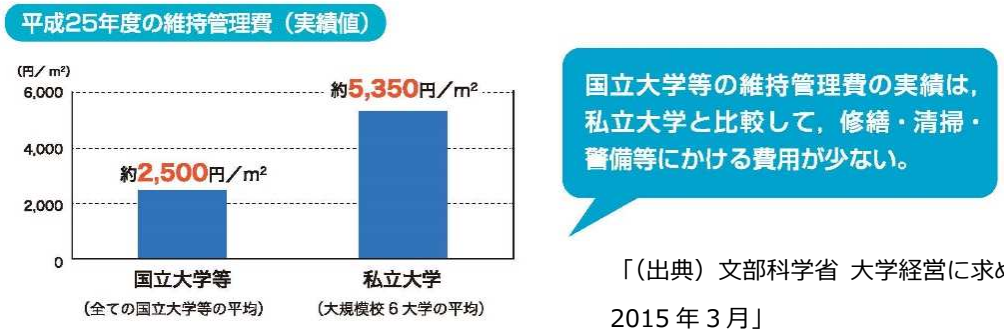


異常が起きてから対応する事後保全の場合、大きな損傷を招き修繕費が高くなるばかりではなく安全性が脅かされる。また、設備の性能が低下した状態での運転費は通常よりも増加し、さらに故障した場合、修繕に時間がかかり、教育研究の支障が発生する。

□ 施設の維持管理について

文部科学省で実施した調査の結果によれば、国立大学等における平成 25 年度の維持管理費の実績は平均 2,500 円／㎡で、私立大学の実績の半額程度にとどまっており、修繕、清掃、警備等の実績額により差が生じていると考えられる。国立大学等と私立大学とを単純に比較することはできないものの、予算や契約に関する制度の違い等を考慮しても維持管理の実施状況に格差が認められる。

法改正や人件費の高騰等による点検・保守・運転監視費等の増加に圧迫され修繕費は減少しており、設備更新等の修繕費の確保が課題である。



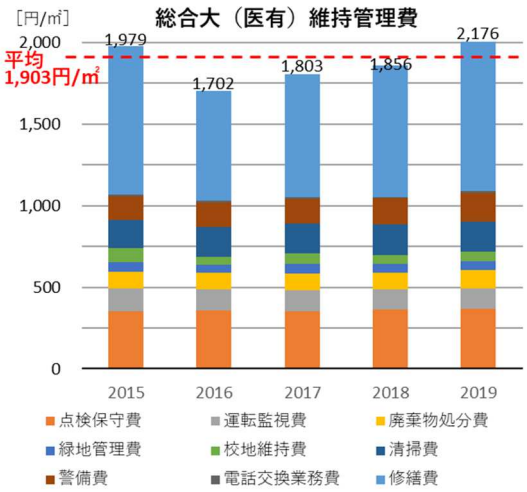
「（出典）文部科学省 大学経営に求められる施設戦略、2015 年 3 月」

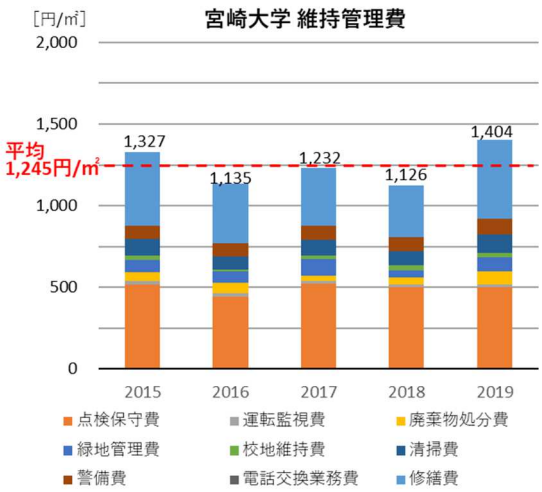
□ 宮崎大学の維持管理費と光熱水費の現状について

2015～2019 年度の附属病院を保有する総合大学（25 大学）における教育研究施設等の維持管理費の実績は平均 1,903 円/㎡、附属病院（42 法人）の維持管理費の実績は平均 7,428 円/㎡となっている。一方、本学の維持管理費の実績は、教育研究施設が平均 1,245 円/㎡、附属病院が平均 7,089 円/㎡である。

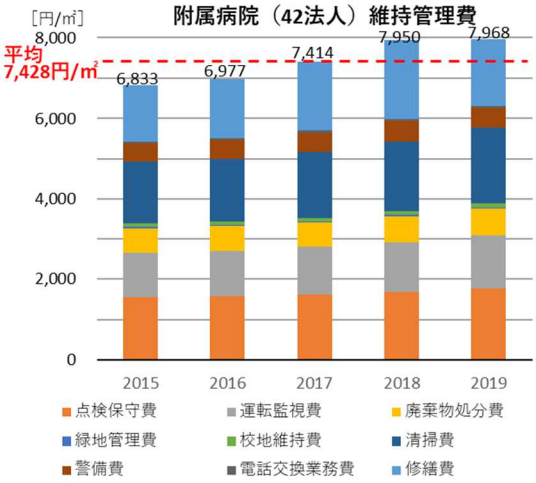
本学は、経年 30 年以上の建物が増え老朽化が進んでおり、修繕費の確保が課題となっている。

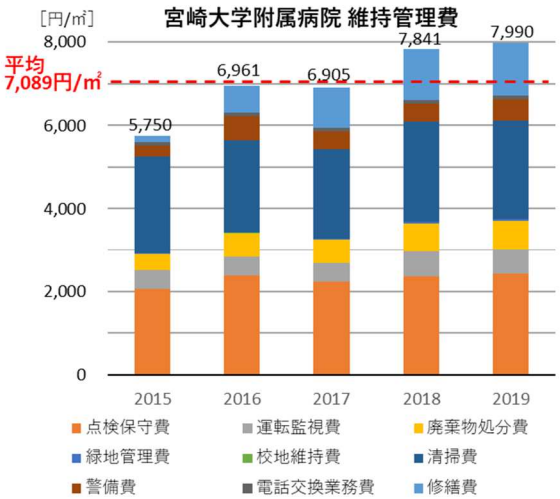
○教育研究施設等の維持管理費の推移





○附属病院の維持管理費の推移

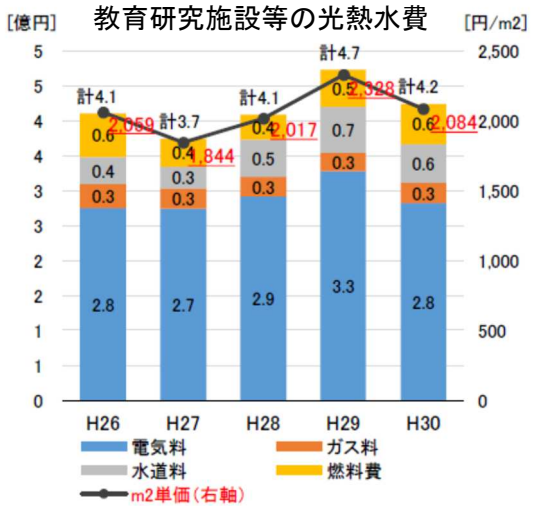


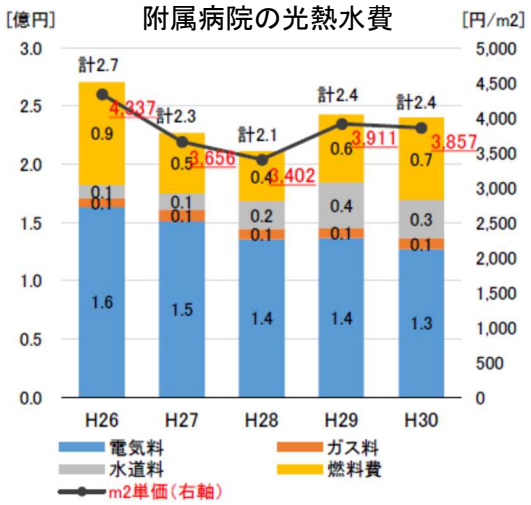


（「国立大学法人等における施設維持管理費等実態調査の結果について（平成 26 年度～平成 30 年度実績）、（平成 27 年度～令和元年度）」より作成）

光熱水費は、一時期増加傾向にあったが、省エネ改修等の推進により増加傾向が抑えられてきた。施設の維持管理費確保のため、今後も省エネ改修の推進が必要である。

○光熱水費の推移





（2020 年 1 月「国立大学法人等における施設維持管理費等実態調査の結果について（平成 26 年度～平成 30 年度実績）」参照）

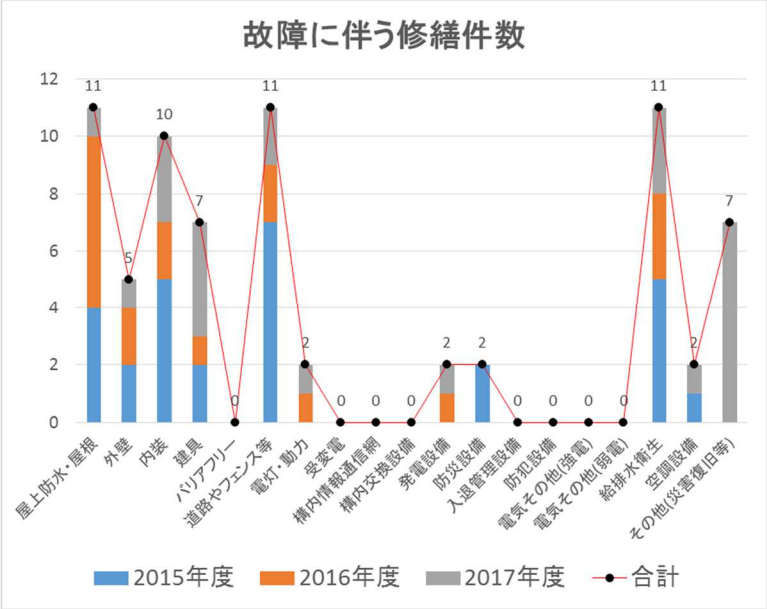
3－2. 施設の老朽化状況

3－2－1. 施設老朽化状況の実態

本学では建物点検として、2017 年度～2018 年度にかけ、全ての建物（196 棟）について点検調査を行った。その結果を建物カルテにまとめ、施設・各部位の劣化状況を確認している（資料１－１、１－２参照）。

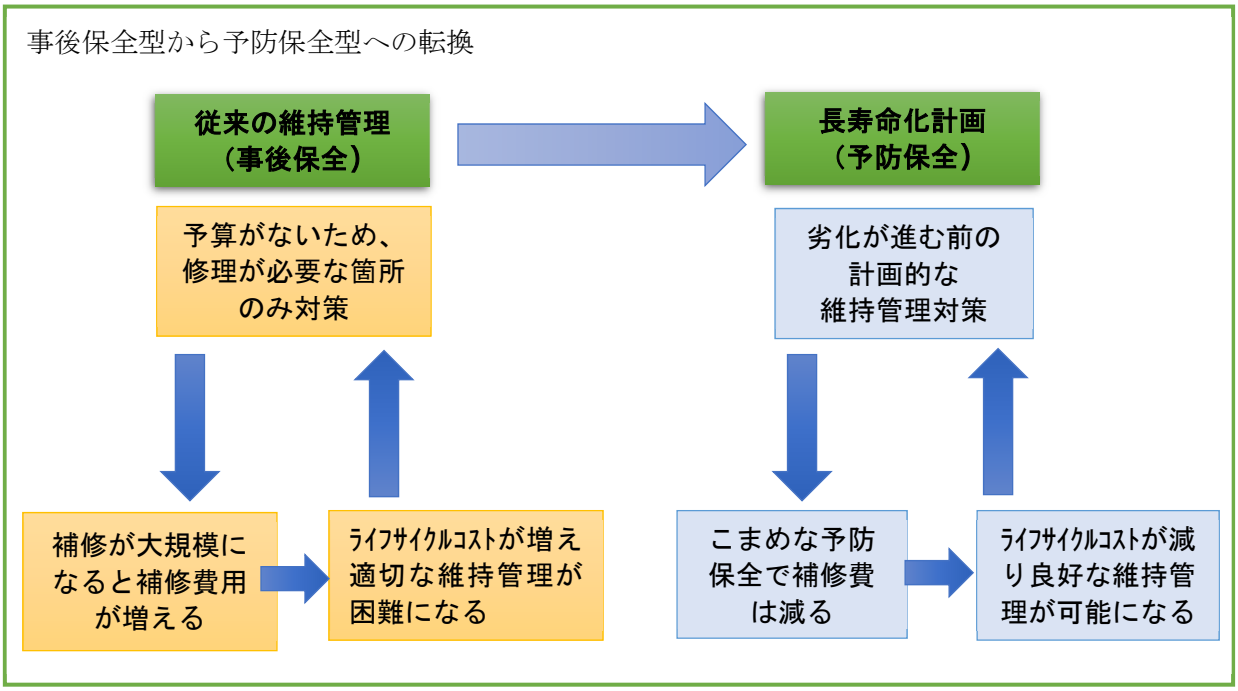
不具合の発生状況を見ると、屋根防水や給排水衛生の修繕が特に多い。道路や内装、外壁などの修繕も多く、研究に支障をきたすものの修繕が多い。

計画策定にあたって、施設・部位の劣化状況を踏まえた指標および優先順位の考え方を示すことが重要である。

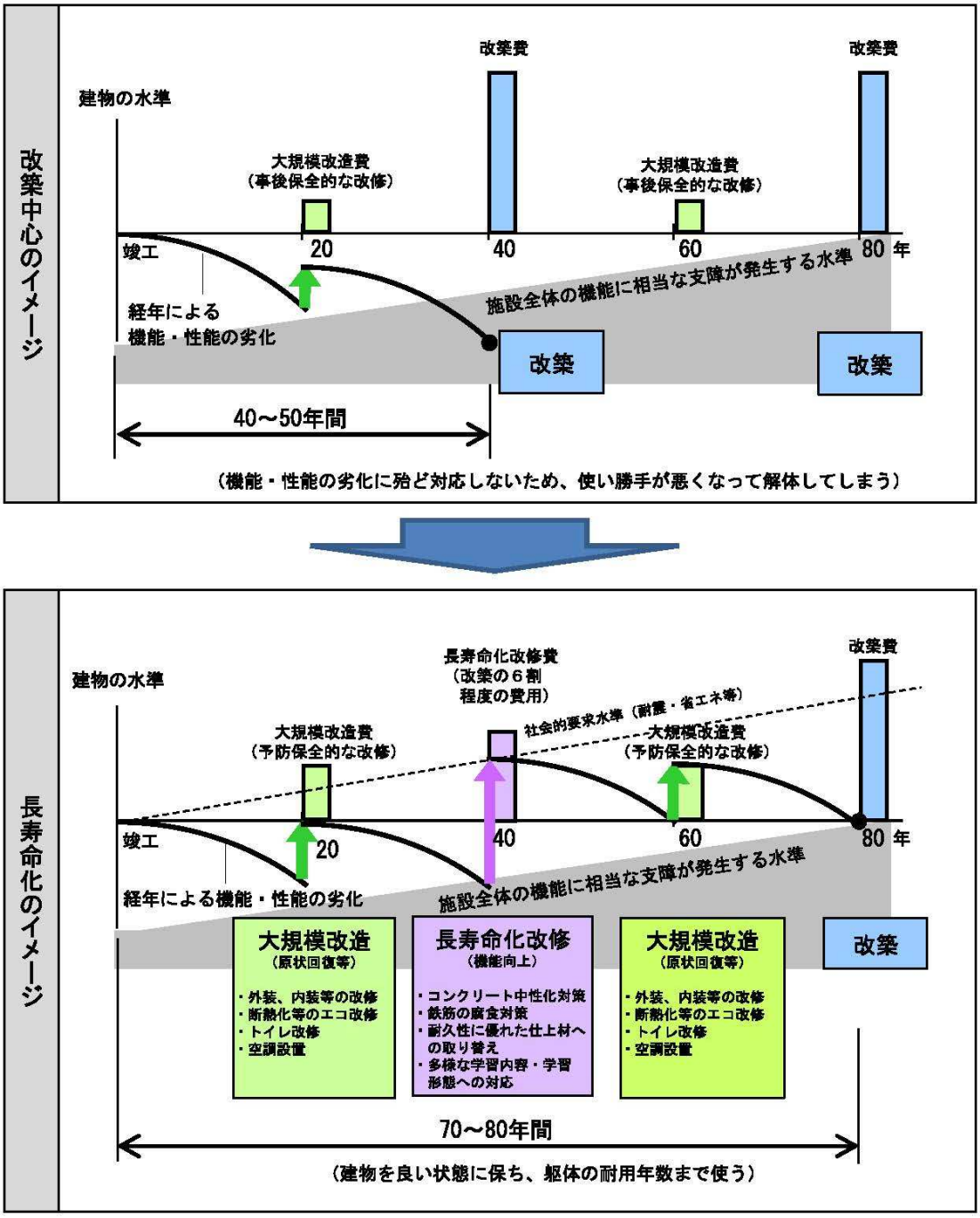


3－2－2. 施設の長寿命化計画について

国立大学法人等が抱える膨大な施設を効果的効率的に施設整備や維持管理を行うためには、従来のライフサイクルコストから長寿命化のライフサイクルへ転換することにより、既存施設を最大限活用することが重要である。



施設の機能や性能の劣化の有無や兆候・状態を把握し、劣化を予測した上で、計画的に適切な保全を行い、機能停止などを未然に防ぐ「予防保全」による施設長寿命化を推進し、財政負担の縮減・平準化に取組む。



3－2－3. 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

今後の方向性を定めていく上で、施設の将来における修繕費や更新にかかる事業費を見通し、現在の施設を今後も保有していくことが可能であるか、また、どのようにしていけば保有していくことが可能なのか分析・把握することが重要である。

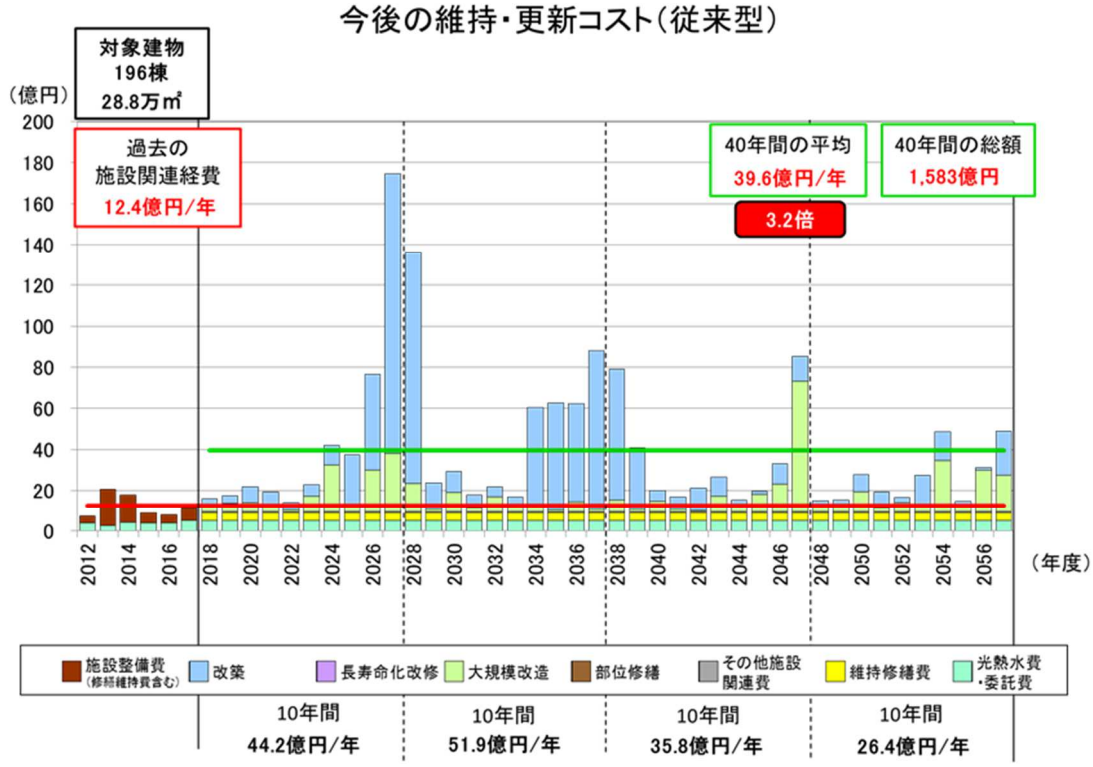
下記の表は、今後の維持・更新コストを示している。建物を主に改築（建替え）で維持・更新した場合を最大とし、インフラ長寿命化計画（行動計画）で示した長寿命化で維持・更新した場合で比較検討を行った。全ての建物 196 棟で検討した場合、改築型は今後 40 年間で計約 1,580 億円（約 40 億円/年）、長寿命化型は計約 1,340 億円（約 34 億円/年）と膨大な建物更新費が必要との試算となった。

そこで、長寿命化を行う対象建物を主要な建物に絞り込み、維持・更新費を検討した。

○従来型（改築）と長寿命化型で比較した検討表

項目	条件	検討①	検討②	検討③	検討④
		本学の全建物	200㎡以下の小規模建物を除いて検討	木花・清武・花殿・船塚で検討	木花・清武・花殿・船塚で検討（附属病院除く）
	棟数	196棟	122棟	91棟	76棟
	面積	288,017㎡	282,720㎡	252,303㎡	174,158㎡
改築型（50年で改築）	40年間の必要額	1,583億円	1,564億円	1,445億円	1,158億円
	1年間の必要額	39.6億円／年	39.1億円／年	36.1億円／年	29億円／年
長寿命化型（100年で改築）	40年間の必要額	1,340億円	1,323億円	1,200億円	925億円
	1年間の必要額	34億円／年	33億円／年	30億円／年	23億円／年

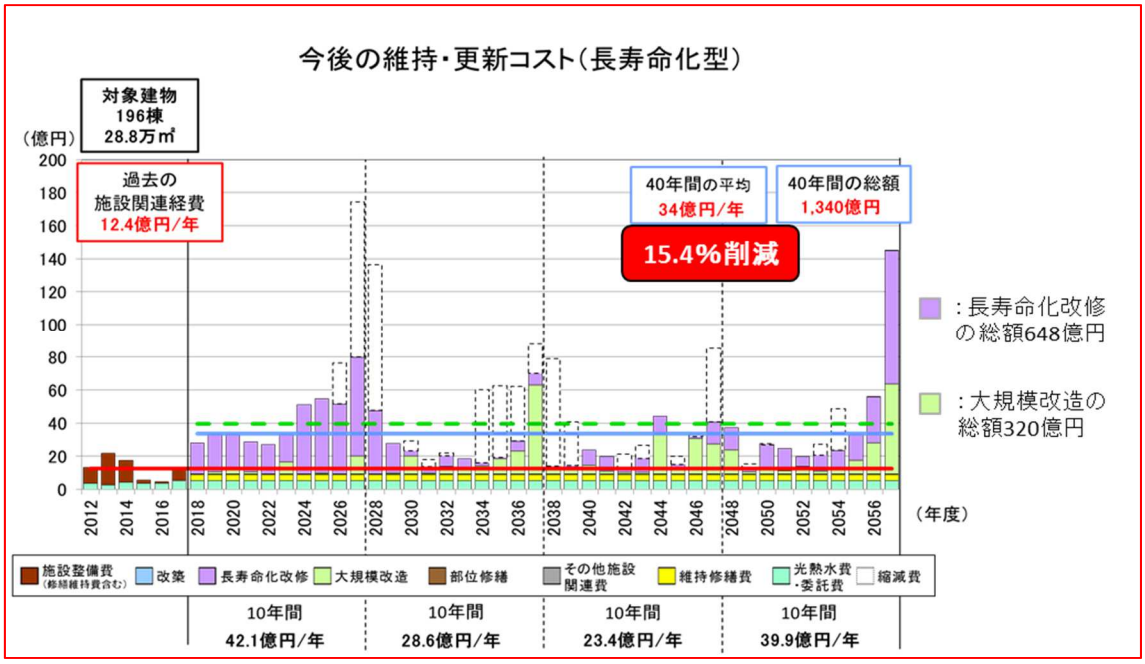
○従来型（改築）の１９６棟（宮崎大学の全ての建物）で試算した場合



○１９６棟（宮崎大学の全ての建物）を長寿命化した場合

・総額約 1,340 億円、年間約 34 億円の更新費が必要

・従来型と比べて総額▲243 億円、年間▲5.6 億円で 15.4%の削減効果



※行動計画策定時（平成 29 年 3 月）の試算

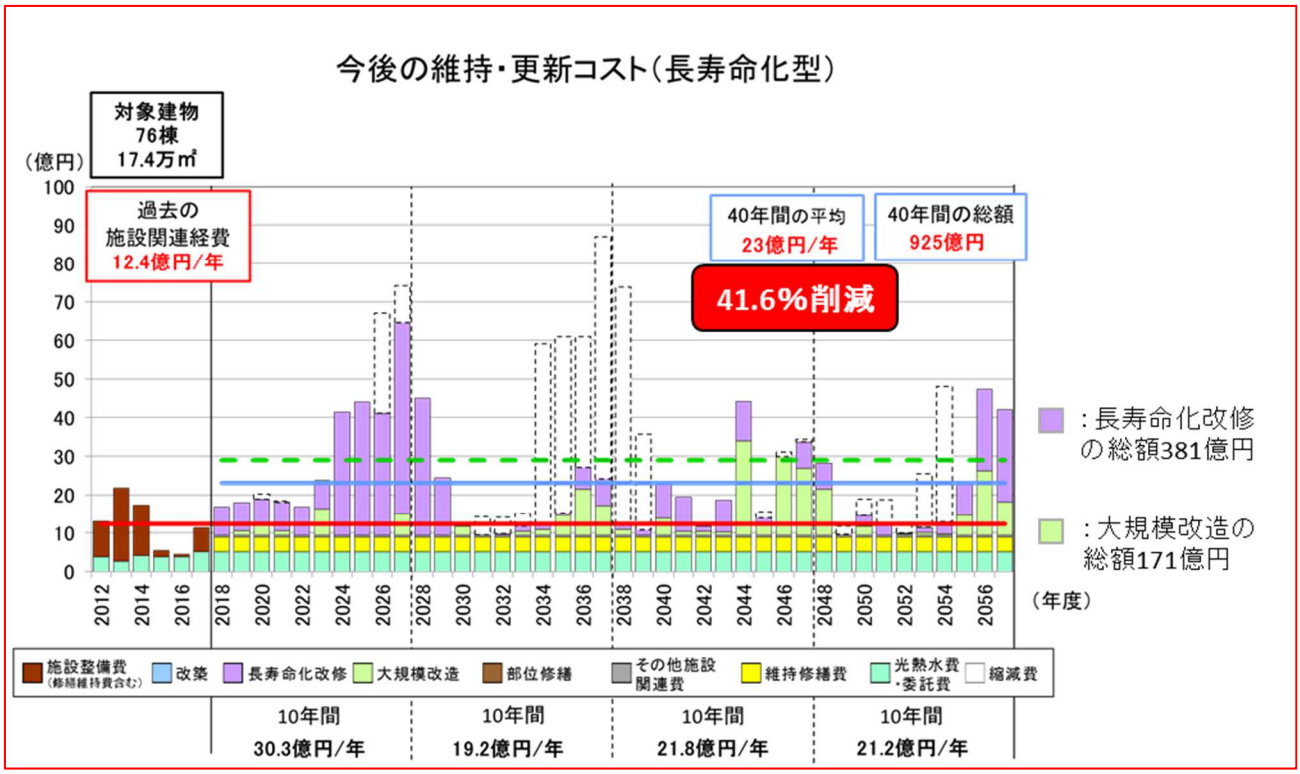
○７６棟を長寿命化した場合　【上記の主要団地から病院を除いて検討】

・附属病院と小規模建物(200 ㎡以下)を除く、主要団地の建物 76 棟で検討した場合

（附属病院施設は、財政融資資金を財源とした長期借入金を活用して整備することから、分けて検討する）

・総額約 925 億円、年間約 23 億円の更新費が必要

・従来型と比べて総額▲658 億円、年間▲16.6 億円で 41.6%の削減効果



参考：コスト試算条件

コスト試算条件（長寿命化型）

＜グラフの年表示＞

基準年度　2017　西暦

試算期間：基準年の翌年度から40年間

改築　※1　試算上の区分（改築、長寿命）ごとに更新周期を設定する。

更新周期　＜改築、要調査＞ 70 年　＜長寿命＞※1 100 年　工事期間 2 年

実施年数より古い建物の改築を 10 年以内に実施

長寿命化改修

改修周期　＜長寿命＞ 40 年　工事期間 2 年

実施年数より古い建物の改修を 10 年以内に実施

大規模改造

改修周期　20 年周期

（ただし、改築、長寿命化改修の前後10年間に重なる場合は実施しない）

部位修繕　※2　※2　躯体以外の劣化状況が未記入の場合は、部位修繕は算出され

D評価：　今後 5 年以内に部位修繕を実施

C評価：　今後 10 年以内に部位修繕を実施

（ただし、改築・長寿命化改修・大規模改造を今後10年以内に実施する場合を除く）

A評価：　今後 10 年以内の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く

※行動計画策定時（平成 29 年 3 月）の試算

３－２－４. 施設更新費に係わる自己資金必要額の試算結果

長寿命化の試算結果グラフから、補助金の必要額と自己資金の必要額を算出した。

施設整備費補助金は、年間(2014 年～2018 年)の平均で約６億円の実績がある。(ただし、ライフライン関係（排水管等）の建物以外の補助事業も含む)

自己資金は年間(2014 年～2017 年)の平均で約１億円の実績がある。

【全ての建物１９６棟で検討した場合】

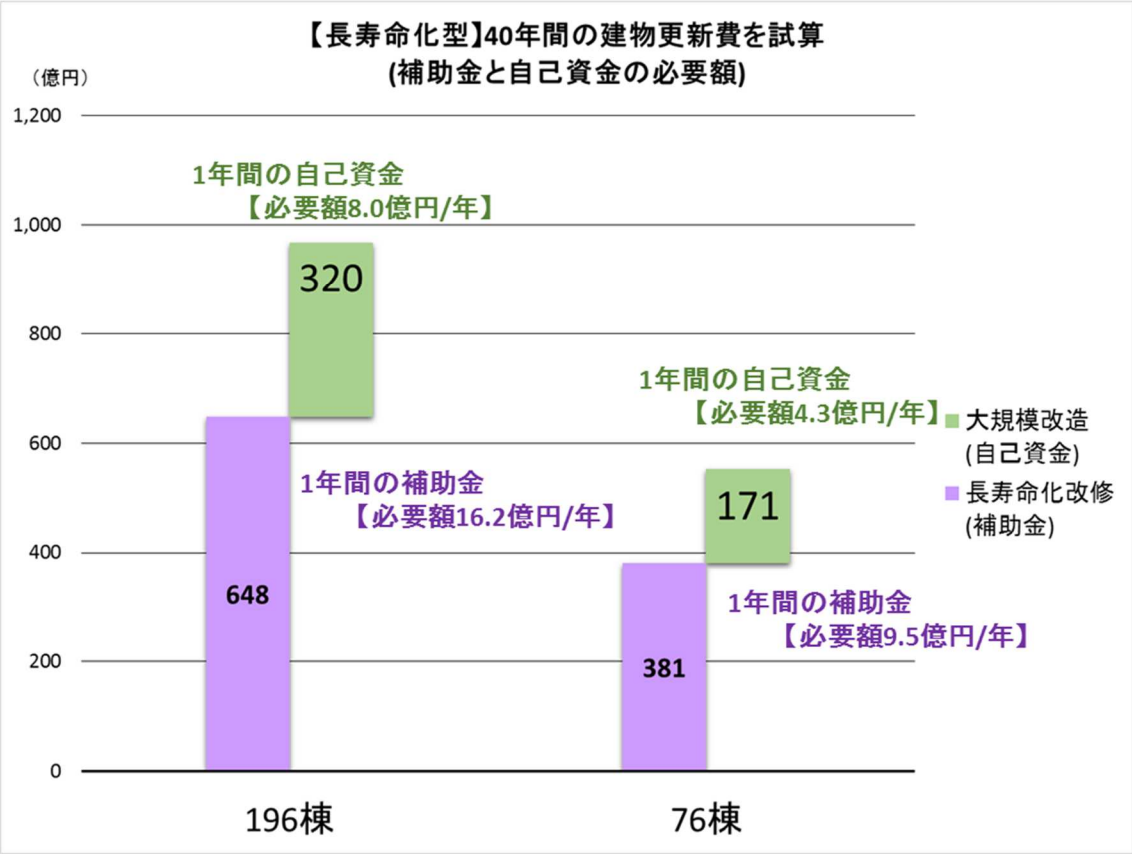
・補助金は年間で 16.2 億円以上の確保が必要

・自己資金は年間で 8.0 億円以上の確保が必要である。

【附属病院と小規模建物を除く、主要団地の建物７６棟で検討した場合】

・補助金は年間で 9.5 億円以上の確保が必要

・自己資金は年間で 4.3 億円以上の確保が必要



今後４０年間で全ての建物を維持するためには、多額の資金が必要となる。

※行動計画策定時（平成 29 年 3 月）の試算

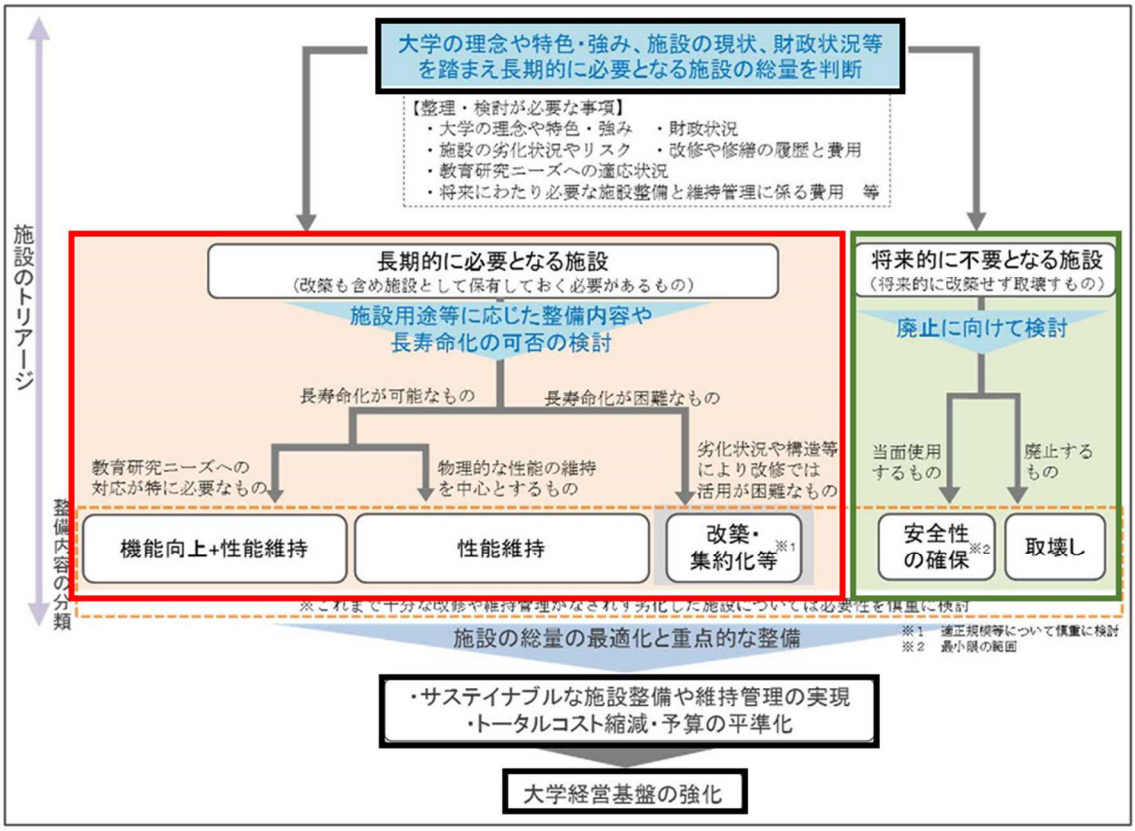
３－２－５．施設の総量の最適化と重点的な整備

本学の理念やアカデミックプランの実現を目的として、施設について戦略的な運営を行い、教育研究や財務の戦略と整合性を図りながら、大学機能強化のニーズに対応することが重要である。

施設に係る支出（新増築、改修費、維持管理費及び光熱水費）は大学の支出全体の約１６％を占めており、財務経営に与える影響は少なくない。

インフラ長寿命化計画は、大学のインフラ設備を適切に維持していくための機能回復を目指しており、これまでの事後保全による非効率的かつ不経済な維持管理から脱却し、予防保全による効率的・経済的な施設整備・維持管理への転換を図る計画である。

ただし、すべての施設を整備し、運営するだけの財政基盤がない場合は、「施設等の優先度」を検討する。長期的に必要となる施設を判断し、将来の財政状況等を見据え「重点的な整備」を行い、施設の役割を将来に渡り持続的に発揮させることで、教育機能強化を図る。



総合的・長期的な視点で教育研究活動に対応した適切な施設を確保・活用するためには、施設の現状を把握し、何を優先すべきか総合的に判断すると同時に、必要な財源確保策を検討した上で長期的に必要となる施設の検討を行い、長寿命化に向けた計画の策定や保有施設の総量の最適化も検討に入れながら、施設のマネジメントを進めることが重要である。

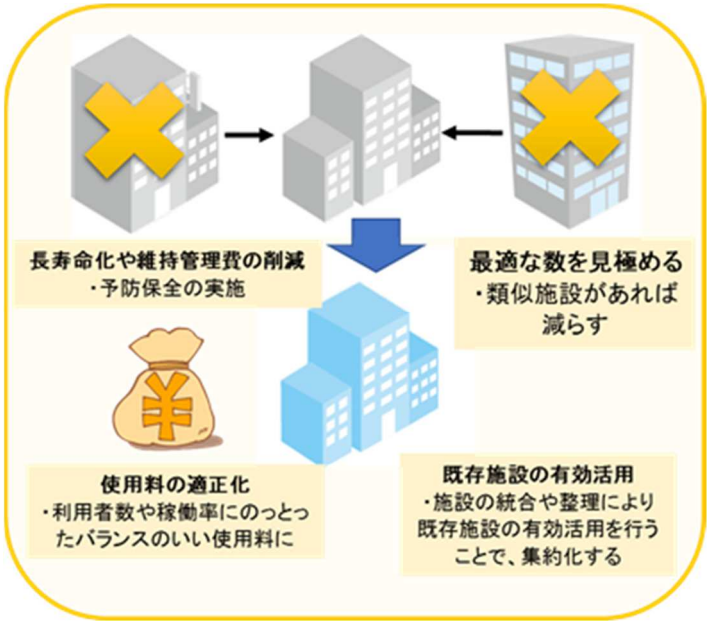
○計画的な施設整備

施設の物理的な性能を維持するための大規模改造（性能維持改修）と施設の平面計画の変更等の教育研究ニーズ等に対応するための長寿命化改修（機能改修）の２つに区分した場合、施設を長期間利用していくためには大規模改造を適時適切に行うことが重要である。

長寿命化改修(機能改修)は教育研究ニーズを踏まえながら対応していくことが重要であるが、老朽化した膨大な施設を維持していくためには、施設整備の必要性や効果等について十分検討しメリハリを付け効果的・効率的に行うことが重要である。

○施設整備における優先度の考え方

すべての施設を整備し、運営するだけの財政基盤がない場合は、「施設等の優先度」が考えられる。建築年数が長い施設（重症度の高い）を優先的に改修していくと、建築年数が短い若い建物もやがて年齢を重ね老朽化が進み、いつまで経っても改修・更新の追いかけっこになり、財政を圧迫しかねない。そのためにも長期的に必要となる施設の総量を判断し、将来の財政状況等を見据えた「建築物総量の管理」が重要である。



4. 本学施設整備の基本方針等

4－1. キャンパスマスタープラン・インフラ長寿命化計画の一体的計画

本学のアカデミックプランや経営戦略、中期目標・中期目標中期計画と連動した戦略的な施設戦略を行うため、キャンパスマスタープランを策定している。キャンパスマスタープランは、教育研究の高度化・グローバル化、学内共同利用・大学間共同利用の促進等の大学戦略等および教育研究の将来構想を踏まえたキャンパスの目指すべき姿を具体化している。インフラ長寿命計画もこのキャンパスマスタープランに記載されており、重要な役割を担っている。

インフラ長寿命化計画は、大学のインフラを適切に維持していくための機能回復を目指しており、これまでの事後保全による非効率的かつ不経済な維持管理から脱却し、予防保全による効率的・経済的な施設整備・維持管理への転換を図る計画である。

キャンパスマスタープランとインフラ長寿命化計画は相互に関係しており、一体的な計画として互いに補完している。

〇キャンパスマスタープラン

キャンパス環境において目指すべき姿を具体化した基本計画。

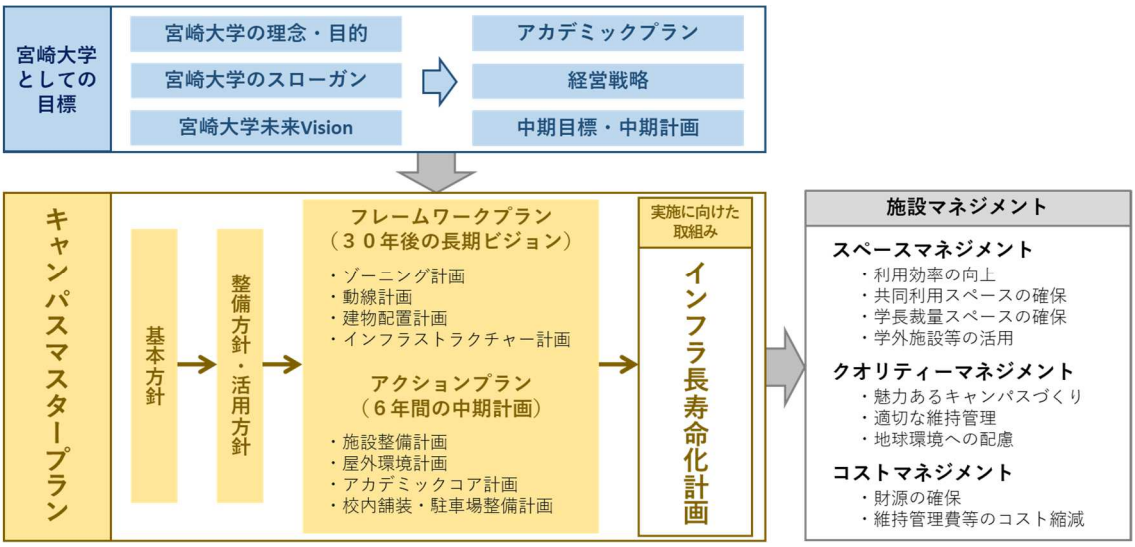
①キャンパス像に関する長期的ビジョンの確立、②キャンパス環境の質の向上、③有るべき姿を示し変化の必要性を提示、④施設の配置とデザイン決定の理論確立などを目的としている。

〇インフラ長寿命化計画

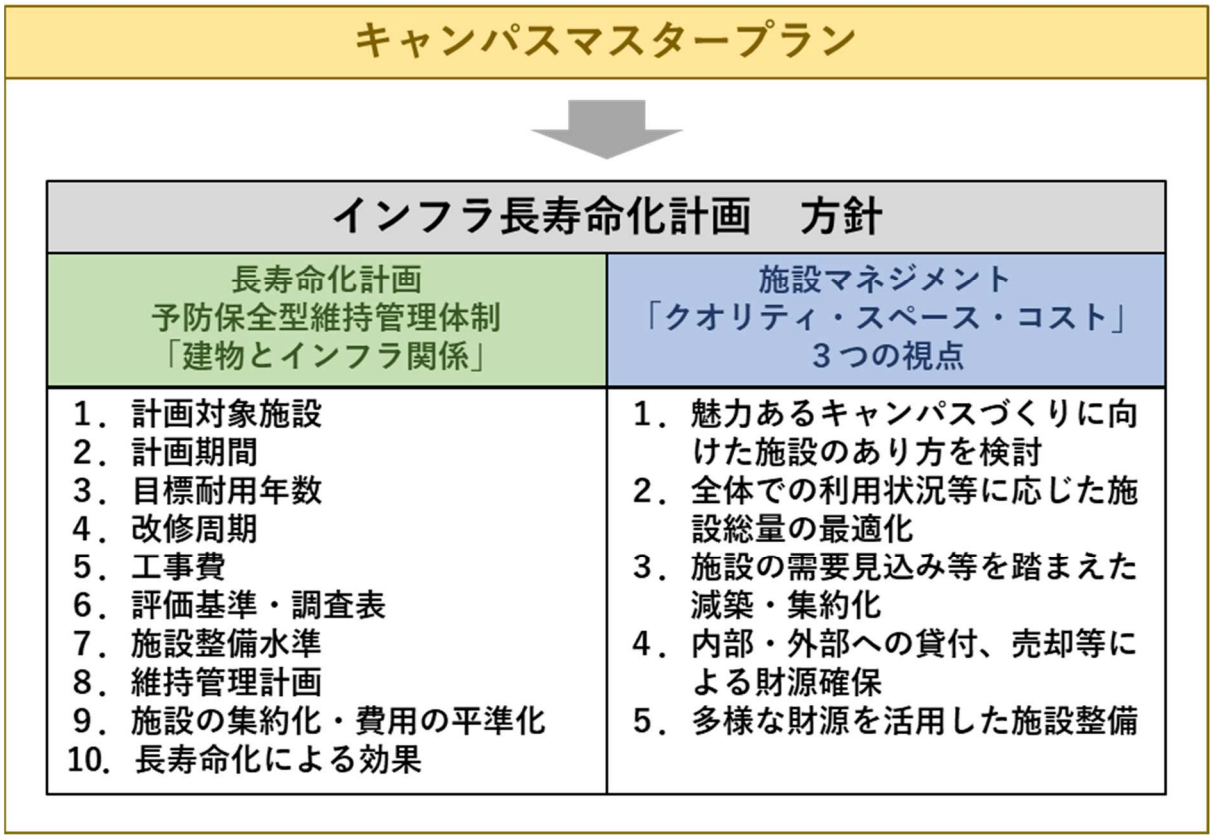
キャンパスマスタープランにおいて定めた基本計画に沿って、インフラ（施設・設備）の整備・維持管理を実施するための計画。

インフラを適切に維持していくための機能回復を目指し、これまでの事後保全による維持管理から予防保全による効率的・経済的な施設整備・維持管理への転換を目的としている。

〇キャンパスマスタープラン・インフラ長寿命化計画の位置付け



〇キャンパスマスタープランとインフラ長寿命化計画の関係



4－2. 本学施設の整備の基本方針

1. 基本的な考え方

本学施設の整備の基本方針は、「国立大学改革」および「国立大学経営力戦略」等の国の施策、これを受けた「宮崎大学第 3 期中期目標・中期計画(2016 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)」に掲げる大学機能強化、および、その対応のための「第 4 次国立大学法人等施設整備 5 か年計画(平成 28～32 年度)」、「大学経営に求められる施設戦略～施設マネジメントが教育研究基盤を強化する～」等に即したものとする。

2. 今後の本学施設の活用方針と留意事項

本学施設の目指すべき姿や本学の財政状況と施設管理関係予算の状況等を踏まえ、個別施設の活用方針を以下のとおり検討する。

方針①　現状規模・機能を維持する場合

大学機能強化等のニーズに対応することに留意しつつ、スペースマネジメントによる既存施設の有効活用を一層進めることが重要である。

施設の転用が見込めない場合には、施設を保有しているだけでも日常的な維持管理のための費用がかかることから、不要となった部分を取り壊す「減築」を行うことも考えられる。

方針②　現状規模・機能を維持しつつ、複合化・共用化等を検討する場合

本学施設が地域の核となることも視野に入れながら、地域の実情に応じ、他の文教施設・公共施設等との複合化・共用化も考えられる。

方針③　用途廃止等を検討する場合

改修等の優先順位付けと実施計画を策定する必要がある。すなわち、施設の改修や日常的な維持管理等を効果的に進めていくため、将来的な用途廃止等の予定や施設の転用等の見込みを十分に考慮し、それらに応じたムダのない適切な方法とする。

3. 実効性ある計画とするために

情報収集や関係者間の調整等に時間を要し、現時点で具体的な改修計画が立てられない場合は、策定に向けた具体的な検討時期を定め、確実に検討を進めていくことが重要である。

国の施策等、関連する計画が策定・改訂された場合には、計画に反映できるようにフォローアップを行う。

5. 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

5－1. 改修等の整備水準

5－1－1. 長寿命化実施に伴う整備水準

改修(特に長寿命化改修)の実施にあたっては、単に数十年前の建築時の状態に戻すのではなく、構造体の長寿命化やライフラインの更新等により建物の耐久性を高めるとともに、省エネ化や多様な教育研究活動等の大学機能強化に対応するための改修を行うことが重要である。

把握した施設の現状から、今後の改修等によりどの水準まで引き上げるか、施設の部位毎に検討し、長寿命化計画における統一的な方針を設定する。

これにより、類似用途・規模の施設における整備水準の統一を図ることができる。また、部位毎のおおまかな整備費用を試算することで、大規模改修等を行う際に必要となる額をあらかじめ想定することができる。

整備水準を検討する項目(部位)としては、以下のものが考えられる。

安全・安心	内装、外装、非構造部材の耐震対策、防災機能、防犯対策、事故防止対策、アスベスト対策等
機能強化	設備(空調、給排水等)、アクティブラーニング、ICT 設備、バリアフリー、トイレ仕様、エレベータ仕様等
サスティナブル・キャンパス	断熱性能、日射遮蔽性能、遮音性能、設備の高効率化、木材使用等、ZEB 化の導入

整備水準を高めるほどコストは高くなる一方、建物性能向上により、建物寿命が延びて光熱水費の縮減につながる好循環のリノベーションとなる可能性もあるため、整備水準の設定に当たっては、ライフサイクルコストを考慮し、予算の見通しを踏まえた水準を設定することが有効である。

(1) 長寿命化の方針

国を含めた厳しい財政状況下、改築を中心とした老朽化対策では対応しきれない施設が大幅に増加する恐れがある。中長期的な維持管理等にかかるトータルコストの縮減・予算の平準化を実現するため、原則として、改築より工事費が安価かつ、廃棄物や二酸化炭素の排出量が少ない長寿命化改修への転換を図ることが必要である。

(2)　点検・診断

行動計画や個別施設計画に基づき、できるだけ早期に必要な体制を整備し、定期的な点検により劣化・損傷の程度や原因等を把握するとともに、劣化・損傷が進行する可能性や施設に与える影響等について評価(診断)を実施する。

(3)　予防保全の方針

施設をできる限り長く使用するため、適切な維持管理を行うことが重要である。そのため、老朽化による劣化・破損等の大規模な不具合が生じた後に修繕等を行う「事後保全」だけではなく、損傷が軽微な早期段階から予防的な修繕等を実施することで機能・性能の保持・回復を図る「予防保全」を行うことが有効である。

「予防保全」を行うことにより、突発的な事故や費用発生を減少させることができ、施設の不具合による被害のリスクの軽減、改修・日常的な維持管理の費用の平準化、および、中長期的なトータルコストの低減が可能となる。一方、毎年の維持管理費として、一定程度の費用を見込む必要があることに留意する必要がある。

(4)　建物の目標使用年数の設定

鉄筋コンクリート造施設の法定耐用年数は 47 年となっているが、物理的な耐用年数はこれより長い。適切な維持管理がなされ、コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には 70～80 年程度、さらに、技術的には 100 年以上の長寿命化も可能であることを踏まえて、目標耐用年数を設定する。

(5)　改修周期の設定

あらかじめ設定した目標耐用年数まで使用するため、必要な改修の周期を設定する。築 20 年程度経過後に原状回復のための改修を行い、目標使用年数の中間期に長寿命化改修を実施、その後改築までの期間に、再度、原状回復のための改修を行うなど、定期的に必要な改修を行うことで建物を長寿命化することが重要である。このことにより、建物の機能・性能の低下を長期間放置することなく、求められている水準まで引き上げる機会を定期的に得ることができるメリットもある。

(6)　基準類の整備

各施設の特性を踏まえ、法令、要領、基準およびマニュアル等の基準類を全体として過不足なく、整合性をもって体系的に整備する必要がある。

(7)　その他、個別の課題への対応

本学の実情等に応じて、施設が果たす役割、機能、活用状況および重要性等の整備を実施する際に考慮すべき事項を設定の上、それらに基づく基本的な考え方を明確化する。

5－1－2. 長寿命化を行う計画対象施設の設定

長寿命化を行う対象施設は、「１－４．対象施設」において示したとおり、借用建物を除く全ての保有施設とする。ただし、200 ㎡以下の小規模建物については事後保全のみ実施し、大規模建物への機能集約・取り壊しを検討する。

○長寿命化計画の対象範囲

教育研究施設　　：木花団地、清武１団地、花殿団地、船塚２団地、住吉団地
田野１団地、赤水団地、木原２団地
病院・動物病院　：木花団地、船塚２団地
寄宿舎・職員宿舎：木花団地、清武２団地、清武３団地
基幹設備（ライフライン）：木花団地、清武１団地、花殿団地、船塚２団地
住吉団地、田野１団地、赤水団地

5－1－3. 目標耐用年数と改修周期の設定

長寿命化を図る施設の耐用年数および長寿命化改修(機能改修)については、次の考え方を基本とする。ただし、用途や整備年代が多様であり、一律にあてはめることは困難であることから、個別に施設の劣化状況を踏まえた判断が必要である。

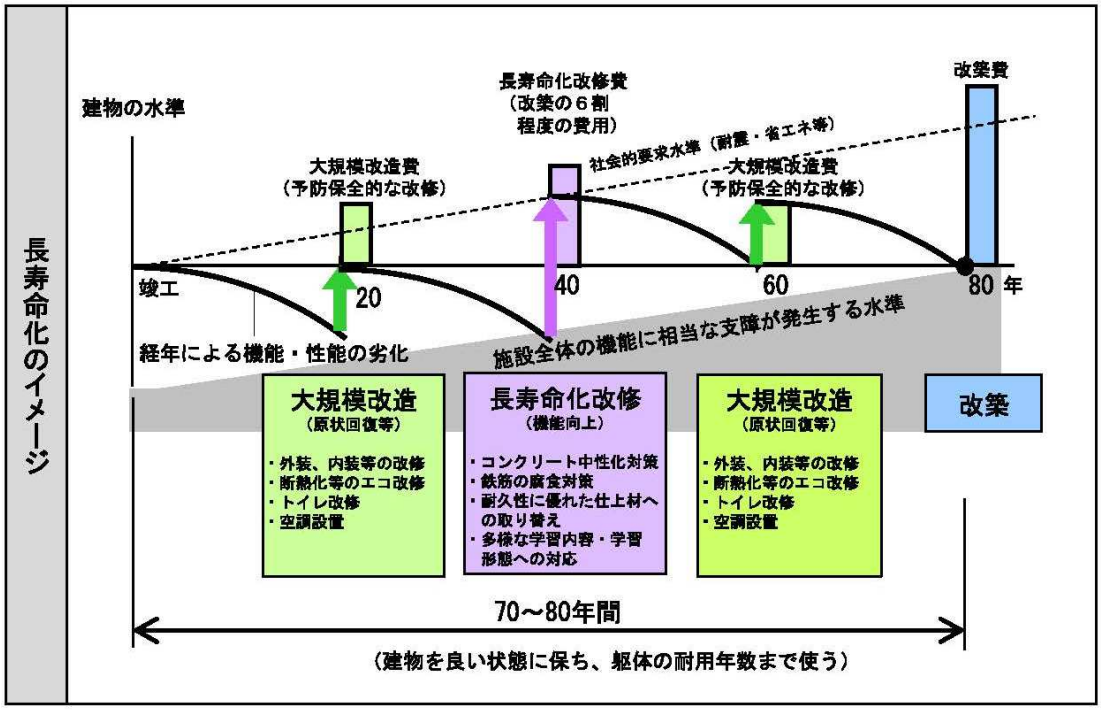
・長寿命化を図る施設の耐用年数は８０年を目標とする。
・長寿命化を図るためには、維持管理を適切に実施するとともに、経年 20～25 年程度の間隔で次の大規模改造を実施する。あわせて、法定改正等への対応についても検討する。

○大規模改造（機能回復）：経年 20～25 年と 60～75 年に実施

設備（空調等）・屋上防水・外壁の改修や更新等

○長寿命化改修（機能向上）：経年 40～50 年に実施

設備(空調・照明・給排水等)・屋上防水・外壁・建具の改修や更新、躯体の耐久性回復等（主に教育研究の機能強化向上に対応する）



ただ、部位によっては 20 年より短い期間で耐用年数が設定されているものもあるため、定期的な点検により劣化状況を把握し更新時期を判断することが重要である。

特に、躯体の劣化は耐久性に大きく影響するため、外壁や屋上防水の修繕等の維持管理を適切に実施することが重要である。

5－2. 予防保全のための維持管理項目・手法

1. 適切な維持管理の実施および予防保全計画の整備

本学施設の老朽化状況において把握した項目のうち、今後継続的に維持管理の点検・評価の対象とする項目を選定し、選定した部位毎にチェックリストを作成し点検方法・頻度等を設定するとともに、部位毎に事後保全・予防保全の別を決定し、計画的に修繕等を行うことが重要である。

建物および部位の点検には、建物カルテを活用する。点検・評価結果は、建物カルとして蓄積することにより、今後の老朽化の予測、長寿命化の目標年数等の検討に活用する。老朽化が原因で発生する不具合のうち軽微なものについても、建物カルテに記載することでデータを蓄積していく。

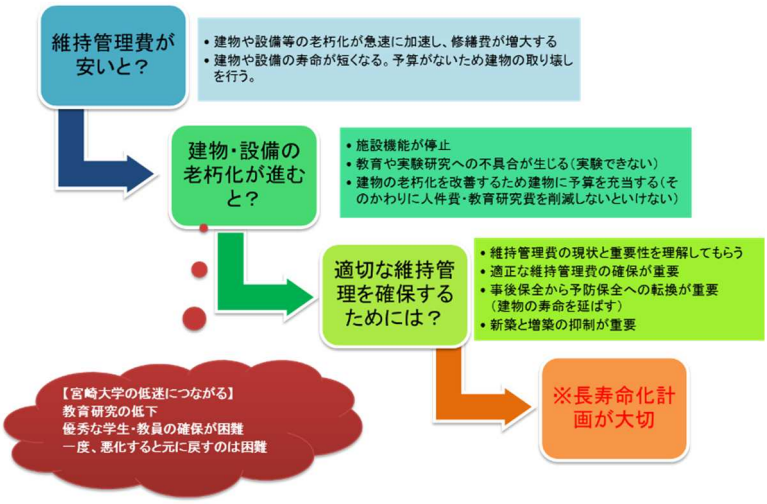
また、予防保全により中長期的な維持管理等に係るトータルコストを下げるため、維持管理に係る予算について毎年一定程度見込む必要がある。

施設の劣化を抑制するためには、施設を丁寧に使用することも不可欠であり、日常的な清掃等に加え利用者の意識醸成に向けた取組みも必要である。

2. 適切なタイミングでの改修

施設の老朽化が深刻になる前に、適切なタイミングで改修を行うことが必要である。

特に、建設から年数が浅い施設や老朽化していない施設については、維持管理を着実に行うことが重要である。定期的な点検により施設の劣化状態を把握した上で、最適なタイミングで補修を図る。特に、大規模な施設でライフサイクルコストの縮減効果が高い施設については、建物カルテにおける健全度に基づき、時間経過に伴う劣化・損傷を予測した上で、施設の長寿命化を図ることを目的として修繕、更新を行う。



5－3. 優先度の設定

（個別施設計画策定時における新たな考え方の導入）

施設を高いレベルで良好な状態に保つためには予防保全を行うことが重要であるが、全て一律に予防保全を行うとコストが増加する。

修繕費用を抑えるため、計画を実施に移す段階において、不具合の実績・劣化状況等を確認し、まだ使用に問題のないものは更新時期を延期して修繕費の削減を行う。まだ使えるものを長く使うという観点で、修繕費用が減り経済的にも有効である。

また、効果的・効率的に維持管理を行うため、予防保全を行うもの、劣化状況等を踏まえて行うもの、および、事後保全で対応していくものを整理し、優先順位をつけることが重要である。

優先順位は、施設の種別ごとに以下の考え方を基に設定する。

5－3－1. 教育研究施設における優先度

1. 優先度の設定

教育研究施設のうち、事後保全にて維持管理する 200 ㎡以下の小規模建物を除く８６棟を対象とし、下記２点の判断指標を基に優先度を設定した。

○教育研究における重要度

教育研究における施設の重要度合いにより、対象施設を 3 つに区分した。

施設重要度Ⅰ	教育研究拠点等（義務的なもの）
施設重要度Ⅱ	産学連携拠点等（準義務的なもの）
施設重要度Ⅲ	福利厚生施設等（サービス目的）

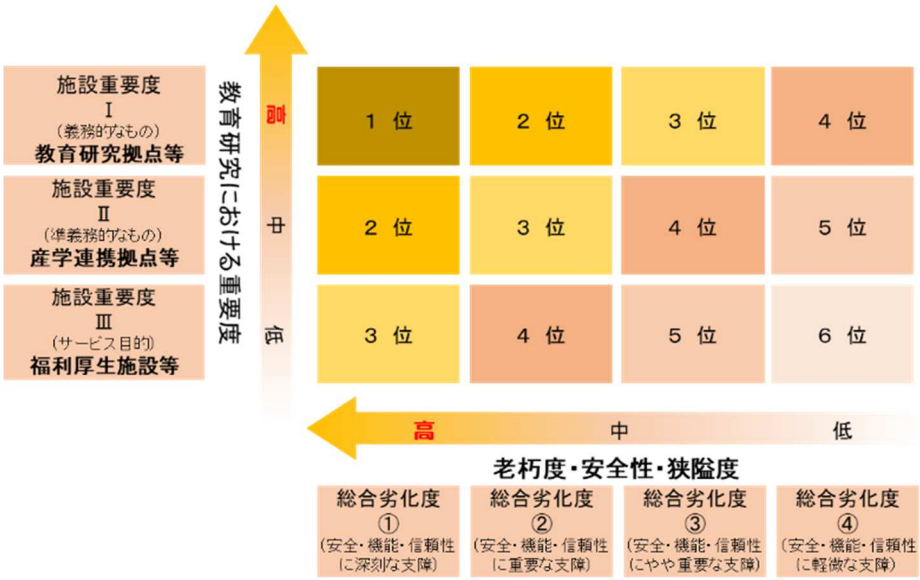
○老朽度・安全性・狭隘度

点検結果をまとめた建物カルテの総合劣化度の点数により、対象建物を 4 つに区分した。

総合劣化度①	安全・機能・信頼性に深刻な支障 （建物カルテ総合劣化度 70 点以上）
総合劣化度②	安全・機能・信頼性に重要な支障 （建物カルテ総合劣化度 60 点以上 70 点未満）
総合劣化度③	安全・機能・信頼性にやや重要な支障 （建物カルテ総合劣化度 50 点以上 60 点未満）
総合劣化度④	安全・機能・信頼性に軽微な支障 （建物カルテ総合劣化度 50 点未満）

２つの指標を軸として対象建物を 12 区分し、施設重要度および総合劣化度の高い施設を予防保全の優先順位が高い施設として優先度を設定した。

○優先度の考え方



○教育研究施設の優先度（2020 年度時点）

（ ）内の数値は総合劣化度

施設重要度	総合劣化度 ①（70点以上）	②（60点以上70点未満）	③（50点以上60点未満）	④（50点未満）
Ⅰ（計36建物）	優先度1 0建物	優先度2 1建物 (住吉) (054)実験研究棟 (60)	優先度3 4建物 (木花) (001)実験研究棟講義棟 (57) (木花) (019)農場管理棟 (50) (住吉) (063)短期宿泊施設 (55) (田野1) (009)事務所 (57)	優先度4 31建物 (木花) (020)工学部Ａ棟 (47) (木花) (002)実験研究棟(獣医) (45) (木花) (004)中央機械室棟 (45) (木花) (021)工学部Ｃ棟 (45) (木花) (031)情報基盤センター (45) (木花) (040)体育館 (45) (木花) (043)実験研究棟(教) (45) (木花) (054)講義棟 (33) (木花) (053)廃液処理施設棟 (28) (木花) (022)工学部Ｂ棟 (27) (木花) (073)総合研究棟 (5) (木花) (072)工学部Ｅ棟 (0) (木花) (042)附属図書館 ※2 (0) (木花) (083)発電機室Ａ (0) (木花) (084)発電機室Ｂ (0) (木花) (085)発電機室Ｃ (0) (清武1) (020)臨床研究棟 (38) (清武1) (001)講義実習棟 ※2 (16) (清武1) (002)基礎臨床研究棟 ※2 (0) (清武1) (004)基礎臨床研究棟 ※2 (0) (清武1) (012)図書館 ※2 (0) (清武1) (024)総合教育研究棟 (0) (清武1) (035)発電機室 (0) (花殿) (035)附属小学校校舎 (43) (花殿) (037)附属小学校体育館 (23) (花殿) (038)附属中学校体育館 (23) (花殿) (001)附属中学校教室1･2号※2 (9) (花殿) (034)附属中学校校舎 ※2 (7) (花殿) (020)附属小学校教室2号 ※2 (0) (花殿) (022)附属小学校教室1号 ※2 (0) (船塚2) (080)幼稚園舎 (16)
Ⅱ（計21建物）	優先度 0建物	優先度 0建物	優先度 1建物 (木花) (003)福利施設棟 (55)	優先度 20建物 (木花) (039)ﾌﾛﾝﾃｨｱ科学実験総合ｾﾝﾀｰ（RI木花分室） (40) (木花) (067)産学・地域連携ｾﾝﾀｰ（産学・地域連携施設） (38) (木花) (032)事務局棟 (38) (木花) (069)産学・地域連携ｾﾝﾀｰ（機器分析支援施設） (23) (木花) (066)教育協働開発ｾﾝﾀｰ (28) (木花) (068)創造ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ棟 (23) (木花) (049)美術棟 (16) (木花) (050)技術・家庭棟 (16) (木花) (051)音楽棟 (16) (木花) (071)ﾌﾛﾝﾃｨｱ科学実験総合ｾﾝﾀｰ(遺伝資源分野) (0) (木花) (080)産業動物教育研究ｾﾝﾀｰ (0) (木花) (088)創立330記念交流 (0) (木花) (092)地域ﾃﾞｻﾞｲﾝ棟 (0) (清武1) (010)ﾌﾛﾝﾃｨｱ科学実験総合ｾﾝﾀｰ(RI清武分室) ※2 (清武1) (015)ﾌﾛﾝﾃｨｱ科学実験総合ｾﾝﾀｰ(生物資源分野) ※2 (清武1) (005)福利施設 ※2 (5) (清武1) (019)ﾌﾛﾝﾃｨｱ科学実験総合ｾﾝﾀｰ(生物資源分野) ※2 (0) (清武1) (022)ﾌﾛﾝﾃｨｱ科学実験総合ｾﾝﾀｰ（RI清武分室） ※2 (0) (清武1) (029)外来管理棟 (0) (赤水) (001)附属水産実験所施設棟 (23)
Ⅲ（計8建物）	優先度3 0建物	優先度4 7建物 (木花) (034)大型及び小型機械棟 (60) (住吉) (035)車輌庫 (60) (住吉) (049)乳牛舎 (60) (住吉) (053)繁殖牛舎 (60) (住吉) (056)子牛舎及び衛生室 (60) (住吉) (057)第２車輌庫・火力乾燥 (60) (木原2) (001)水田作業舎 (60)	優先度5 2建物 (住吉) (048)乳および肉加工室 (57) (住吉) (052)乾草給与場 (57)	優先度6 20建物 (木花) (007)環境制御動物実験棟 (47) (木花) (028)機械実習工場 (45) (木花) (033)農業博物館 (40) (木花) (008)暖草地生産利用実験棟 (38) (木花) (011)農林水理実験棟 (38) (木花) (013)農業工学実験棟 (38) (木花) (023)電気機器実験棟・車庫 (38) (木花) (025)高電圧実験棟 (38) (木花) (026)土木工学実験実習棟 (38) (木花) (027)機械工学実験実習棟 (38) (木花) (012)木材食品加工実験実習車庫棟 (38) (木花) (045)課外活動施設 (25) (木花) (057)課外活動施設 (25) (木花) (070)乱流風洞実験棟 (23) (清武1) (006)体育館 (43) (清武1) (018)武道場 (32) (住吉) (055)試験畜舎 (45) (住吉) (058)堆肥舎 (43) (住吉) (066)肥育牛舎 (0) (住吉) (067)豚舎 (0)
建物数	0建物	8建物	7建物	71建物
計				86建物

※1は建替えを実施した施設
※2は大規模改修を実施した施設

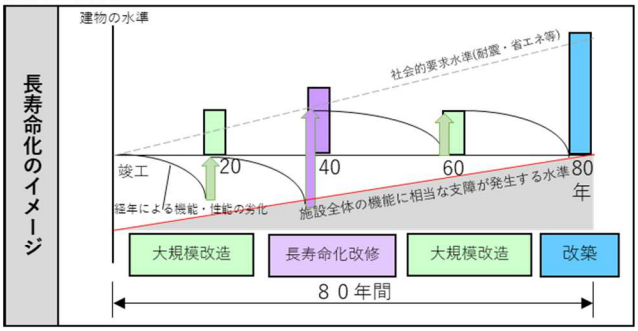
2. 施設重要度別の改修内容の設定
（個別施設計画策定時における新たな考え方の導入）

5-1-3 において長寿命化を図る施設の改修周期の設定を行ったが、施設の更新に必要な費用は膨大であり、全ての施設を同程度で長寿命化を図るのは現実的ではない。そこで、予防保全の優先度判断指標の１つである施設の重要度により改修内容の変更を行った。

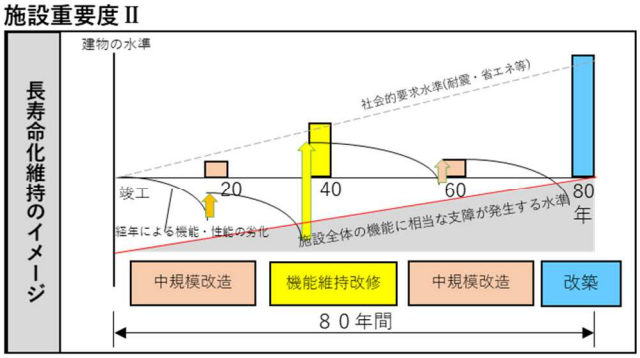
経年	20年	40年	60年	80年
施設重要度Ⅰ	大規模改造	長寿命化改修	大規模改造	改築
施設重要度Ⅱ	中規模改造	機能維持改修	中規模改造	改築
施設重要度Ⅲ	－	中規模改造	－	改築

○施設重要度別の改修イメージ

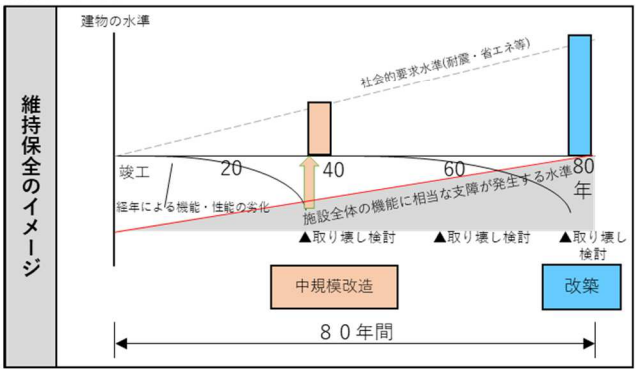
施設重要度Ⅰ



施設重要度Ⅱ



施設重要度Ⅲ



（改修の程度）

大

小

長寿命化改修
- 外壁、屋上防水、内装等の全面改修
- 多様な学習内容・学習形態への対応

機能維持改修
- 屋上防水・外壁の全面改修
- 照明・電力・通信設備の更新
- 空調・換気設備の更新
- 外部建具・内装の機能回復（全体の20%程度の改修を想定）
- 給排水衛生設備の機能回復（全体の20%程度の改修を想定）

大規模改造
- 屋上防水・外壁の全面改修
- 電力・通信機器の更新
- 空調・換気設備の更新
- ライフライン改修（省エネ改修）

中規模改修
- 屋上防水の全面改修
- 外壁の機能回復（全体の20%程度の改修を想定）

改築
- 計画期間（80年)経過後に新改築を検討

取り壊し
- 計画期間（80年)経過後に大規模建物へ機能を集約した上で、建物の取り壊しを検討

5－3－2. 附属病院･附属動物病院における優先度

1. 優先度の設定

附属病院・附属動物病院のうち、事後保全にて維持管理する 200 ㎡以下の小規模建物を除く１６棟を対象とし、建物カルテの総合劣化度の点数により対象建物を 4 区分し優先度を設定した。

総合劣化度①	安全・機能・信頼性に深刻な支障 （建物カルテ総合劣化度 70 点以上）
総合劣化度②	安全・機能・信頼性に重要な支障 （建物カルテ総合劣化度 60 点以上 70 点未満）
総合劣化度③	安全・機能・信頼性にやや重要な支障 （建物カルテ総合劣化度 50 点以上 60 点未満）
総合劣化度④	安全・機能・信頼性に軽微な支障 （建物カルテ総合劣化度 50 点未満）

※教育研究施設と同様

○附属病院・附属動物病院の優先度（2020 年度時点）

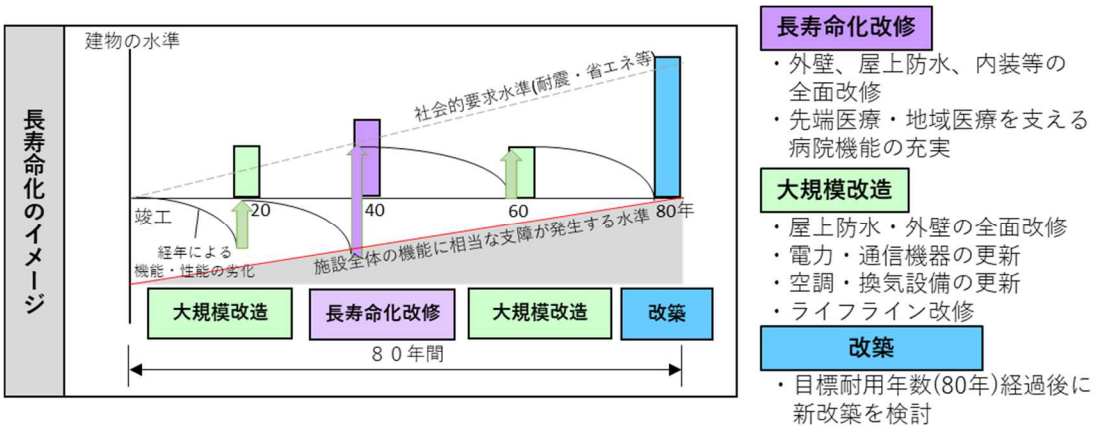
	総合劣化度			
	①	②	③	④
附属病院 附属動物病院 計　16 建物	優先度 1 0建物	優先度 2 0建物	優先度 3 0建物	(附属病院) (清武1)　(007)中央機械室　(40) (清武1)　(021)MRI-CT装置棟 ※2　(16) (清武1)　(023)MRI-CT装置棟 ※2　(16) (清武1)　(003)附属病院 ※2　(0) (清武1)　(025)中央診療棟　(0) (清武1)　(028)外来診療棟　(0) (清武1)　(034)救命救急ｾﾝﾀｰ・ﾍﾘﾎﾟｰﾄ棟 (0) (清武1)　(014)倉庫　(38) (清武1)　(026)立体駐車場　(0) (清武1)　(030)格納庫　(0) (清武1)　(037)カルテ倉庫　(0) (清武1)　(008)看護師宿舎 ※2　(28) (清武1)　(009)看護師宿舎 ※2　(25) (清武1)　(013)看護師宿舎 ※2　(23) (動物病院) (木花)　(005)動物病院※4　(38) (木花)　(006)動物舎　(38) 優先度 4 16建物
建物数	0建物	0建物	0建物	16建物
				計　16建物

※2は大規模改修を実施した施設
※4はPFIにて検討

2. 改修内容の設定

附属病院・附属動物病院は、教育研究施設における施設重要度Ⅰと同様に、本学における主要施設である。そのため、改修内容も教育研究施設における施設重要度Ⅰと同様に設定した。

○附属病院・附属動物病院の改修イメージ



5－3－3. 寄宿舎･職員宿舎における優先度

1. 優先度の設定

学生寄宿舎･職員宿舎１９棟を対象とし、建物カルテの総合劣化度の点数により対象建物を 4 区分し優先度を設定した。

総合劣化度①	安全・機能・信頼性に深刻な支障 （建物カルテ総合劣化度 70 点以上）
総合劣化度②	安全・機能・信頼性に重要な支障 （建物カルテ総合劣化度 60 点以上 70 点未満）
総合劣化度③	安全・機能・信頼性にやや重要な支障 （建物カルテ総合劣化度 50 点以上 60 点未満）
総合劣化度④	安全・機能・信頼性に軽微な支障 （建物カルテ総合劣化度 50 点未満）

※教育研究施設と同様

○寄宿舎・職員宿舎の優先度（2020 年度時点）

	総合劣化度			
	①	②	③	④
職員宿舎 学生寄宿舎 計　19 建物	優先度 1 0建物	(清武2)　(005)職員宿舎（２棟）※3　(66) (清武3)　(001)職員宿舎（Ａ棟）※3　(66) (清武3)　(003)職員宿舎（Ｃ棟）※3　(66) 優先度 2 3建物	(清武2)　(001)職員宿舎（Ｄ棟）※3　(55) (清武2)　(002)職員宿舎（Ｅ棟）※3　(55) (清武2)　(003)職員宿舎（Ｆ棟）※3　(55) 優先度 3 3建物	(木花)　(064)国際交流会館単身者棟　(28) (木花)　(065)国際交流会館夫婦・家族棟　(28) (木花)　(044)男子寄宿舎 ※2　(0) (木花)　(060)女子寄宿舎 ※2　(0) (木花)　(089)留学生宿舎　(0) (清武1)　(016)非常勤講師宿泊施設 ※2 (15) (清武1)　(017)非常勤講師宿泊施設 ※2 (15) (清武2)　(007)職員宿舎（４棟）※3　(40) (清武2)　(004)職員宿舎（１棟）※3　(38) (清武2)　(006)職員宿舎（３棟）　(25) (清武2)　(008)職員宿舎（５棟）※2　(0) (清武2)　(012)保育施設　(0) (清武3)　職員宿舎（Ｂ棟）※3　(38) 優先度 4 13建物
建物数	0建物	3建物	3建物	13建物
				計　19建物

※2は大規模改修を実施した施設
※3は取り壊し予定建物

2. 改修内容の設定

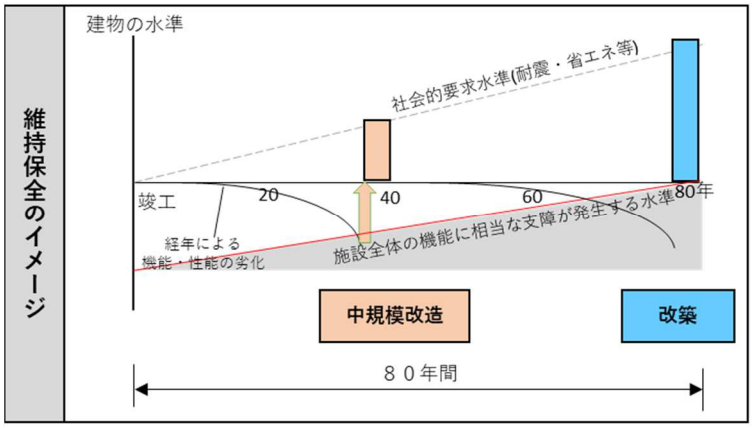
学生寄宿舎・職員宿舎は福利厚生施設に属し、学生・教職員の生活基盤である。

職員宿舎は経年40年を超えており、大規模改修の時期が到来している。また、職員宿舎１棟・４棟の耐震性不足、および、全体の入居率の低下による共益費不足・自治会運営の支障等の課題がある。そこで、2018年２月に「宮崎大学職員宿舎再編計画」を策定し、11棟中９棟を解体する計画である。

（参考：資料３－３「宮崎大学職員宿舎再編計画」）

再編計画対象外の学生寄宿舎および職員宿舎等は、継続して使用するため、一定の生活環境を維持する必要がある。そこで、教育研究施設における施設重要度Ⅲ（福利厚生施設等）と同様の頻度で改修を行うが、改修内容は充実させて設定した。

○学生寄宿舎の改修イメージ

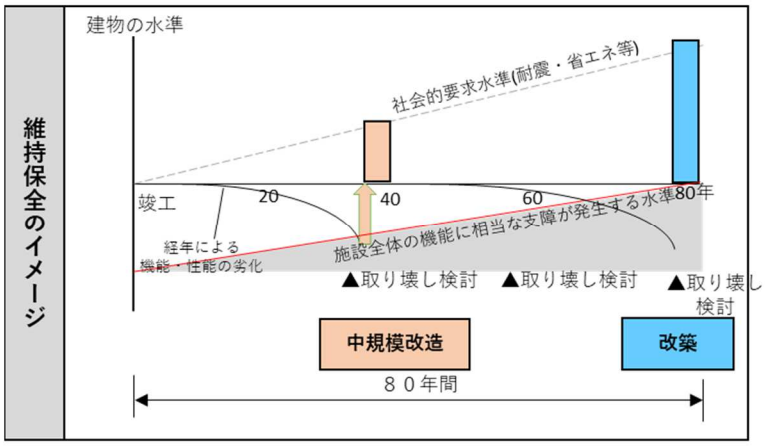


中規模改造
- 屋上防水・外壁の全面改修
- 電気・通信・受変電・換気設備の更新
- 共用部の空調設備の更新
- 外部建具・給排水ガス・換気設備の機能回復（20%程度の改修を想定）

事後保全
- 居室の内装・照明・衛生設備（入退居時に劣化部分を改修）

改築
- 目標耐用年数(80年)経過後に新改築を検討

○職員宿舎の改修イメージ



中規模改造
- 屋上防水・外壁の全面改修
- 電気・通信・受変電設備の更新
- 外部建具・給排水ガス・換気設備の機能回復（20%程度の改修を想定）

事後保全
- 居室の内装・照明・衛生設備（入退居時に劣化部分を改修）

改築
- 目標耐用年数(80年)経過後に再編や集約による建物の取り壊しを検討した上で、新改築を検討

≪参考：小規模建物・借用建物の一覧≫

○小規模建物：事後保全のみ実施し、大規模建物への機能集約・取り壊しを検討

	総合劣化度			
	① (70点以上)	② (60点以上70点未満)	③ (50点以上60点未満)	④ (50点未満)
小規模建物 (200㎡以下) 計　70 建物	(花殿)　(026)渡り廊下　(90) (住吉)　(036)乾草庫　(71) 2建物	(木花)　(018)危険物薬品貯蔵庫　(60) (木花)　(038)機械室　(60) (花殿)　(010)物置　(60) (花殿)　(013)ポンプ室　(60) (花殿)　(033)物置　(60) (住吉)　(047)搾乳室　(60) (住吉)　(051)人工授精室　(60) (田野１)(007)木材加工室　(60) (田野１)(018)車庫　(60) (大納)　(003)作業員詰所　(60) (大納)　(004)便所　(60) 11建物	(木花)　(035)標本植物温室　(57) (木花)　(041)器具庫　(50) (住吉)　(050)バンガーサイロ　(57) 3建物	(木花)　(017)ボイラ室　(47) (木花)　(024)危険物薬品庫　(47) (木花)　(029)ポンプ室　(47) (木花)　(036)土耕ガラス室　(47) (木花)　(030)超波計測室　(47) (木花)　(009)ガラス室　(38) (木花)　(010)ポンプ室　(38) (木花)　(014)実験温室　(38) (木花)　(015)実験温室　(38) (木花)　(016)実験温室　(38) (木花)　(037)水耕温室　(38) (木花)　(047)農場倉庫　(35) (木花)　(061)厩舎　(35) (木花)　(056)廃液貯蔵庫　(28) (木花)　(046)危険物薬品庫　(25) (木花)　(055)門衛所　(25) (木花)　(058)弓道場　(25) (木花)　(059)プール付属室　(25) (木花)　(048)温室　(16) (木花)　(052)土耕温室　(16) (木花)　(062)育苗用温室　(16) (木花)　(063)ガスメータ室　(16) (木花)　(082)サークル棟　(7) (木花)　(074)検収センター　(0) (木花)　(078)管理棟　(0) (木花)　(079)大原事務所　(0) (木花)　(081)更衣室棟　(0) (木花)　(087)防災倉庫　(0) (木花)　(091)車庫　(0) (木花)　(076)牛舎１(動物病院)　(0) (木花)　(077)牛舎２(動物病院)　(0) (木花)　(075)圃場管理棟　(0) (木花)　(086)イスラーム文化研究交流棟　(0) (清武１)(036)サークル棟　(0) (清武１)(038)防災倉庫　(0) (清武１)(039)防災倉庫　(0) (清武１)(040)実験廃水管理棟　(0) (花殿)　(032)ガラス温室　(38) (花殿)　(013)プール付属室　(32) (花殿)　(002)陶芸室 ※2　(0) (花殿)　(031)プール付属室　(0) (花殿)　(039)工作室　(0) (船塚２)(079)木屋舎館　(28) (船塚２)(081)便所・倉庫　(0) (住吉)　(064)車庫　(47) (住吉)　(065)糞尿再生処理施設　(0) (住吉)　(068)堆肥舎　(0) (住吉)　(069)豚舎２　(0) (赤水)　(003)ポンプ室　(40) (赤水)　(002)灌水増殖実験室　(38) (附属病院) (清武１)(027)カルテ庫　(0) (清武１)(031)待機室　(0) (清武１)(032)油脂庫　(0) (清武１)(033)廃棄物保管庫　(0) 54建物
建物数	2建物	11建物	3建物	54建物
				計　70建物

○借用建物：長寿命化対象外

対象外 (借用建物) 計　5 建物	0建物	0建物	0建物	(借用建物) (田野２)(001)宮崎市介護老人保健施設さざんか苑 ※2　(0) (田野２)(002)宮崎市立田野病院 ※2　(0) (田野２)(003)自動車車庫　(0) (橘通)　(001)歯科口腔外科サテライト　(0) (橘通)　(002)まちなかキャンパス　(0) 5建物
建物数	0建物	0建物	0建物	5建物
				計　5建物

6. 長寿命化の実施計画

長寿命化対象施設の改修実施計画は、老朽化対策とともに付加価値のある質の高い施設整備計画の策定を目指して策定した「木花キャンパス戦略的リノベーション計画（平成 30 年 5 月策定）」に基づき、策定する。

○木花キャンパス戦略的リノベーション計画（抜粋）

大学機能強化を実現する教育研究環境改善の具現化

・従来の単なる老朽対策ではなく、学部フリーの異分野融合を促すダイナミックなスペースマネジメントで、大学機能強化スペースの創出・再生を図りながら、コスト削減（光熱水費、維持管理費）による大学経営基盤強化への寄与を目的とする『木花キャンパス戦略的リノベーション』と位置づける。
・農学部～工学部～教育学部の順番で老朽対策を実施する従来の年次計画を一部見直して、各学部の戦略的リノベーションの中で異分野融合ラボラトリ（相互乗り入れ）を設けることを基本としながら機能強化の早期実現と学部均衡化を目指す。
・『木花キャンパス戦略的リノベーション』期間中、教育学部の改組により拠出される全学共同利用スペースを移行計画のバッファとして活用し仮設建物を要しない計画とするほか、積極的に集約化を推進して、小規模建物や老朽未利用施設の減築に取組む。

スペースチャージ・コスト削減等による経営基盤強化

・スペースチャージによる維持管理財源確保
・省エネ改修によるエネルギーコスト削減
・施設の集約化による維持管理コスト削減

サステイナブルキャンパスの形成

・グリーン購入法や環境配慮契約法の法令遵守は勿論、環境負荷低減のための先導的モデル（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ＺＥＢ））の導入を検討するとともに、対策工事の実施に伴うＣＯ２の排出抑制効果を明確にする。
・県産材（スギ）の積極利用等、建材等使用材料を精選するとともに、ゼロエミッション（リユース・リデュース・リサイクル）の手法を積極的に導入する。

戦略的施設マネジメントのために

・施設マネジメントの仕組・体制に関する取組、施設の機能向上に関する取組（クオリティ）、施設の点検評価や有効活用に関する取組（スペース）、多様な財源等の活用に関する取組（コスト）を明確にする。
・異分野融合ラボラトリは、スケルトン・イン・フィルの徹底により施設の流動的な利活用を促す。また、設備の更新容易性は勿論、単なるメンテナビリティだけでなくＬＣＣも意識する。
・デザインコードの統一化、標準化、パターン化、ユニット化によるデータベースの構築で、継続的な建設コストの最適化に取組みながら、スペースの汎用性を高めることで施設の有効活用を促すとともに、維持管理にも好影響を及ぼす。

6－1．施設改修に要するコストの検討

年度毎に必要な改修費用を算出するため、目標耐用年数（80 年間）における長寿命化対象全施設の改修に要するコストの総額を算出した。算出結果より、年度で必要な改修費用の平均額を試算した。

改修コストの試算において、以下の通り、財源を「施設整備費補助金による改修」、「自己資金による改修」に区分している。

○財源区分（対象予算）

：補助金　　：自己資金 ※病院は１割を補助金

経年	20年	40年	60年	80年
施設重要度Ⅰ	大規模改造	長寿命化改修	大規模改造	改築
施設重要度Ⅱ	中規模改造	機能維持改修	中規模改造	改築
施設重要度Ⅲ	－	中規模改造	－	改築
ライフライン	基幹整備			
	省エネ改修			
病院・動物病院	大規模改造	長寿命化改修	大規模改造	改築
寄宿舎・職員宿舎	－	機能維持改修	－	改築
小規模建物	事後保全			取り壊し
維持管理	保有施設の維持管理			

1．教育研究施設の試算結果

教育研究施設の改修に要するコストを試算した結果、補助金 9.2 億円/年、自己資金 2.6 億円/年、計 11.8 億円/年が必要となった。自己資金の実績は約 1 億円/年であるため(3-2-4 参照)、約 1.6 億円/年の更なる財源確保が必要である。

過去の改修に係る実績

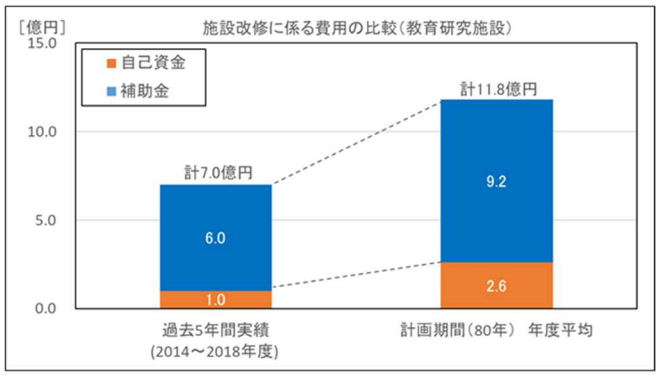
・補助金 6.0億円/年
・**自己資金 1.0億円/年**　計　7.0億円/年

(2014～2018年度実績)

自己資金 ＋1.6億/年
の更なる財源確保が必要

目標耐用年数(80年間)における試算値

・補助金 9.2億円/年
・**自己資金 2.6億円/年**　計 11.8億円/年



2.　附属病院・附属動物病院の試算結果

附属病院の改修に要するコストを試算した結果、年度平均すると、補助金1.0 億円/年、自己資金　9.9 億円/年、計　10.9 億円/年が必要となった。ただし、附属病院は病院機能を維持しながら整備を行う必要があるため、複数年計画の建物群一括での整備が必要である。したがって、整備を行う時期に一定規模の資金が必要となる。

附属動物病院の改修に要するコストは、年度平均すると、自己資金　0.1 億円/年が必要という試算結果となった。附属動物病院についても、動物病院機能を維持しながら建物全体を一時期に整備をする必要があり、整備時期に向けて一定規模の資金を確保することが必要である。

3.　寄宿舎・職員宿舎の試算結果

寄宿舎・職員宿舎の改修に要するコストを試算した結果、年度平均すると、自己資金　0.7 億円/年が必要となった。なお、解体計画のある職員宿舎９棟については、解体費用のみ計上している。

現在、寄宿舎・職員宿舎に係る自己資金の実績は、賃料収入を財源とする維持管理費 0.2 億円/年であるため、約 0.5 億円/年の更なる財源確保が必要である。しかし、本学の財政上、福利厚生施設である寄宿舎・職員宿舎に更なる改修費用を充当するのは困難であるのが現状である。そのため、本学の自己資金以外での整備を検討する必要がある。

6－2. 施設の長寿命化の実施計画

長期修繕・改修計画を作成するため、建物カルテを元に算出した総合劣化度等により、施設改修の優先順位付けを行いリスト化した（資料３－２参照）。優先順位リストには、以下の事項を記載している。

○施設改修の優先順位リスト記載事項

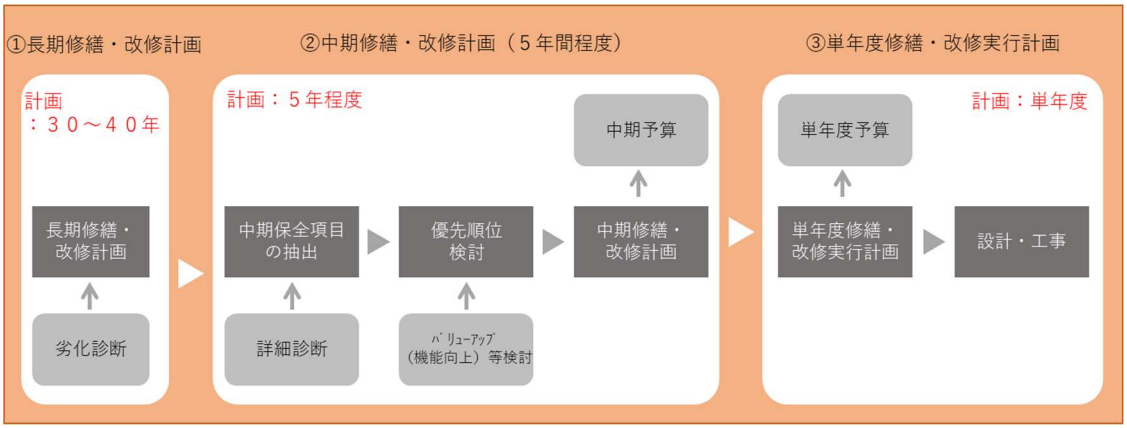
・施設情報（棟名、延べ床面積、建設年、改修履歴、経年）
・保全優先度、施設重要度、総合劣化度
・施設改修の優先順位
・改修年度、改修内容、改修費用

リスト化した施設改修に優先順位に基づき、長寿命化を行う長期的な修繕・改修計画として、「施設改修ロードマップ」を作成した（資料３－１参照）。施設改修ロードマップは、長寿命化を行う全施設・設備を対象としており、以下の事項を記載している。

○施設改修ロードマップ記載事項

・施設情報（棟名、延べ床面積、建設年、改修履歴、経年）
・施設重要度
・改修内容および改修費用
・改修年度、改修内容、改修費用
・各年度における改修費用の総額

なお、施設改修ロードマップおよび施設改修優先順位リストは連動している。
また、部位の中期修繕・改修計画として、屋上防水、外壁、バリアフリー対策および省エネルギー対策等の計画の作成も行っている（資料２－１～４）。



６－２－１．教育研究施設の長寿命化実施計画

教育研究施設（86 棟）について、長寿命化実施計画として「施設改修の優先順位リスト」および「施設改修ロードマップ」を作成した。

なお、実施計画を作成するにあたり、以下の点も踏まえた形で計画を作成している。

●高度・多様化する教育研究に対応する機能性、防災・事故防止等の安全性、施設利用者の快適性・利便性を確保し、個性的で魅力あるキャンパスづくりを進める
●施設の長寿命化や省エネルギー性、省資源に配慮した施設水準の向上を図る
●長寿命化に合わせ、地域と大学の連携等の機能強化に資する整備を実施する
　例）ラーニング・コモンズ、アクティブ・ラーニング・スペース
　　地域産業を担う地域人材育成
●施設整備の際には、汎用性の高いフレシキブルな空間構成とする、将来的に必要となる維持管理費を比較し使用材料や設備機器を選択する等、ライフサイクルコスト削減に向けた取組みを行う
●限られた財源の中で維持管理の好循環を生み出すために、老朽化したエネルギーロス等の大きい設備の解消や集約的整備による最小限の更新を行う
●施設改修ロードマップ作成においては、年度ごとに必要となる費用の平準化を図る

６－２－２．附属病院･附属動物病院の長寿命化実施計画

「６－１．施設改修に要するコストの検討」において記載したとおり、附属病院･附属動物病院は、病院機能を維持しながら建物群一括での整備を行う必要がある。

附属病院は、2008～2013 年度に再整備を行っている。そのため、再整備 30～40 年後となる 2035 年度以降に再々整備を検討する。

附属動物病院は、築後 30 年以上が経過しているが、これまで長寿命化を目的とした改修を行っていない。そのため、2023 年度を目途に長寿命化改修を計画する。なお、実施計画を作成するにあたり、先端医療・地域医療を支える病院機能強化に資する整備を実施する。

６－２－３．寄宿舎・職員宿舎の長寿命化実施計画

職員宿舎は、「宮崎大学職員宿舎再編計画」に則り、11 棟中 9 棟を解体する計画である（参考：資料３－３「宮崎大学職員宿舎再編計画」）。再編により、職員宿舎の保有面積は 82%縮減（13,319 ㎡縮減）される予定である。

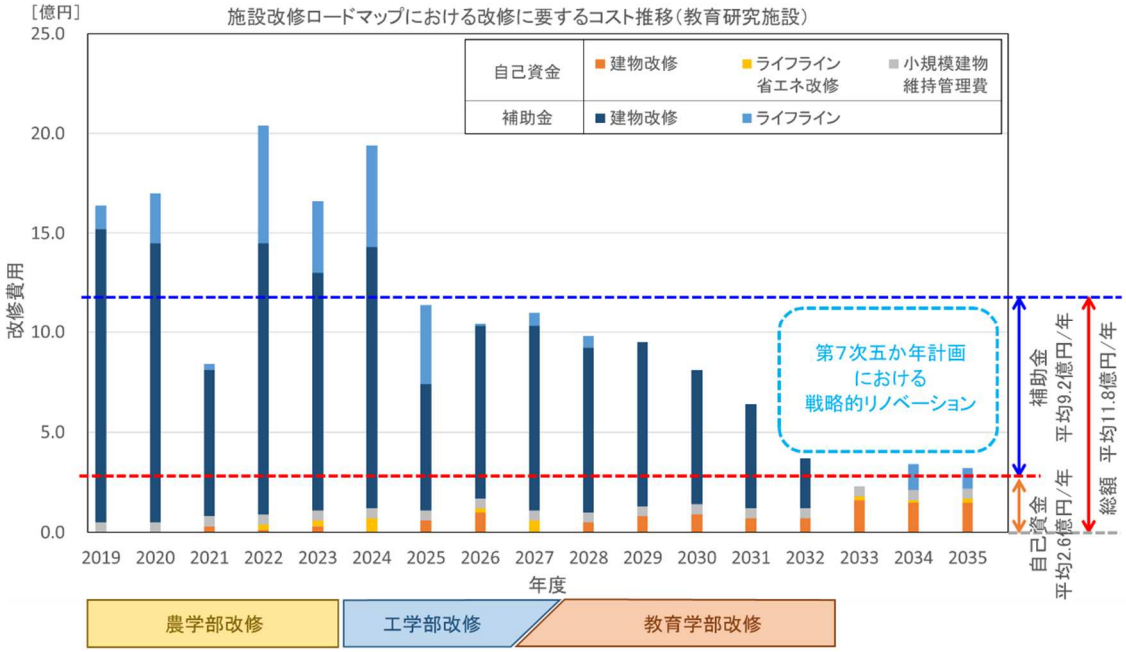
長寿命化改修を行い継続して使用していく学生寄宿舎・職員宿舎（計 10 棟）については、賃料収入により施設を維持管理および改修していく方針である。しかし、「６－１．施設改修に要するコストの検討」において記載したとおり、施設改修には自己資金 0.7 億円/年が必要であり、賃料収入を超えている。賃料収入以上に改修費用を充当するのは困難であるため、ＰＰＰ等の多様な財源での整備を検討する。ＰＰＰ等による整備計画を導入するまでは、入退居時の修繕および事後保全にて維持管理を行っていく。

整備計画については、2020 年 12 月に行った職員宿舎の需要に関するアンケート結果を分析し、計画を作成していく。

○施設改修ロードマップにおける改修に要するコスト推移

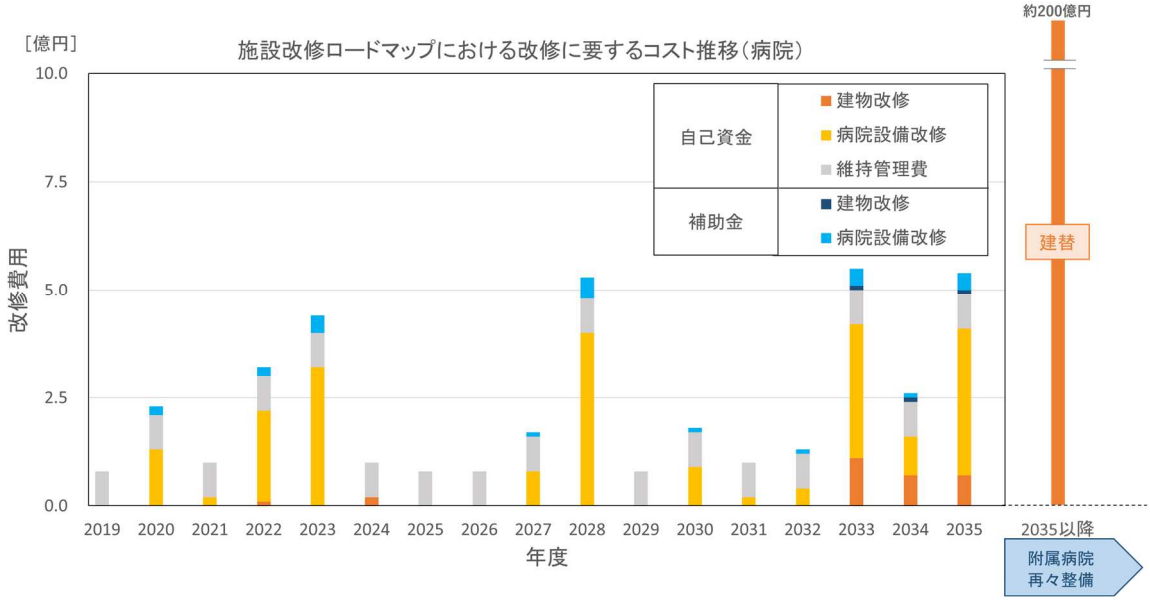
１）教育研究施設

・必要なコスト：補助金 9.2 億円/年、自己資金 2.6 億円/年、計 11.8 億円/年

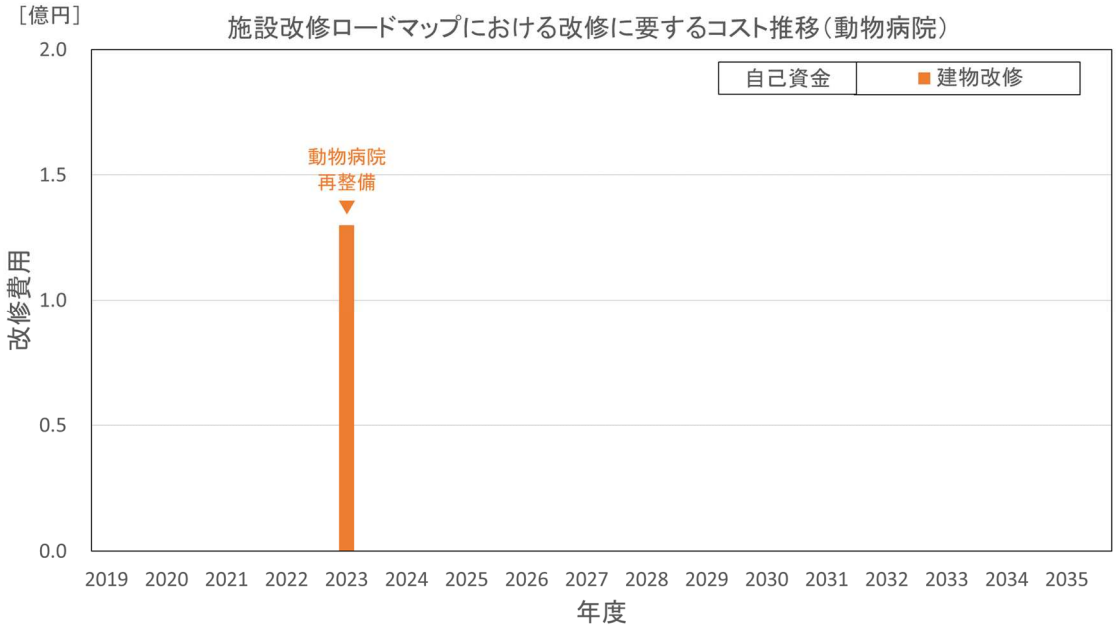


２）附属病院

・必要なコスト：補助金 1.1 億円/年、自己資金 9.8 億円/年、計 10.9 億円/年

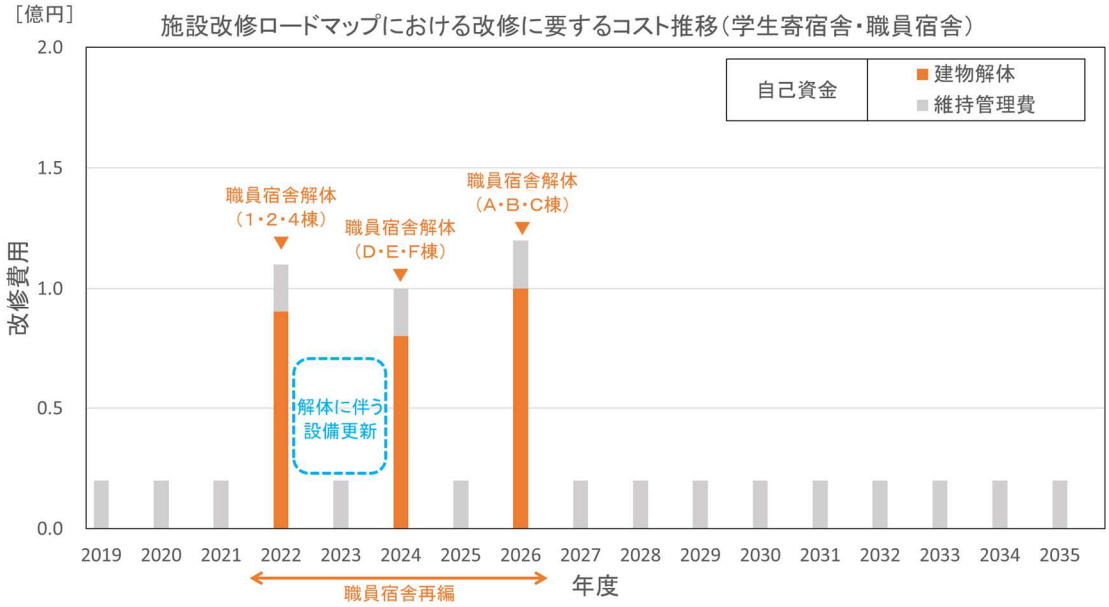


３）附属動物病院



４）寄宿舎・職員宿舎

・多様な財源による整備計画が策定されるまでは、入退居時の修繕および事後保全にて維持管理



6－3. 財源の検討

施設の長寿命化に関わるコストは、費用対効果の向上および保有施設のライフサイクルコスト効率化を踏まえて必要額を検討し、戦略的に財源を確保・管理する必要がある。

特に、整備のための初期の建設コストに加えて、施設のライフサイクルコストとして定期的な改修費、毎年の維持管理費および光熱水費等が将来に渡り継続的に必要である。施設の新増改築を計画する際には、これら必要な財源の負担方法についても充分に検討する。

○ライフサイクルコストのイメージ図

※保全費： 点検保守費，運転監視費，廃棄物処分費，校地維持費，清掃費，警備費等

1.　教育研究施設の改修における財源

「６－１．施設改修に要するコストの検討」において検討したとおり、教育研究施設の改修の財源として、「施設整備費補助金による改修」、「自己資金による改修」に区分している。改修に要するコストは、補助金　9.2 億円/年、自己資金　2.6 億円/年、計　11.8 億円/年と試算しており、自己資金の実績は約 1 億円/年であるため(3-2-4 参照)、約 1.6 億円/年の更なる財源確保が必要である。

○財源区分（対象予算）※再掲

：補助金　：自己資金

経年	20年	40年	60年	80年
施設重要度Ⅰ	大規模改造	長寿命化改修	大規模改造	改築
施設重要度Ⅱ	中規模改造	機能維持改修	中規模改造	改築
施設重要度Ⅲ	－	中規模改造	－	改築
ライフライン	基幹整備			
	省エネ改修			
小規模建物	事後保全			取り壊し
維持管理	保有施設の維持管理			

2.　附属病院･附属動物病院の改修における財源

「６－１．施設改修に要するコストの検討」において検討したとおり、附属病院の改修に要するコストは、年度平均すると、補助金　1.0 億円/年、自己資金 9.9 億円/年、計　10.9 億円/年と試算している。また、附属病院は複数年計画の建物群一括での整備が必要であり、財政融資資金を財源とした長期借入金を活用して整備を行う。

附属動物病院の改修に要するコストは、年度平均すると、自己資金　0.1 億円/年と試算している。附属動物病院についても、建物全体を一時期に整備を行い、財源は動物病院における収入等の自己財源を活用する。

3.　寄宿舎･職員宿舎の改修における財源

「６－２－３．　寄宿舎・職員宿舎の長寿命化実施計画」において検討したとおり、継続して使用していく学生寄宿舎・職員宿舎（計 10 棟）については、賃料収入を財源として入退居時の修繕および事後保全にて維持管理を行っていく。学生寄宿舎・職員宿舎の再整備については、自己資金　0.7 億円/年が必要なため、ＰＰＰ等の多様な財源での整備を検討する。

6－4. 財源確保策の検討

長寿命化実施計画を確実に実行するためには、改修に必要な財源を確保することが重要である。特に自己資金を確保するため、以下の財源確保策を推進する。

なお、財源確保策は、フォローアップ時に見直しを行う。また、確保策の実施時期・手法および財源のない場合の対応策についても検討が必要であり、それらは実施計画の実行時の課題である。

○財源確保策

- ●スペースチャージ等の施設利用料を徴収する制度の導入
- ●多様な財源の活用（PPP や PFI 事業、国や地方公共団体の補助制度、企業等と連携した施設整備等）
- ●運営交付金、競争的資金の間接経費等を活用した維持管理費の包括的な確保と一元的な管理・配分
- ●土地等の固定資産の貸出およびネーミングライツ収入の活用
- ●自動販売機およびキッチンカー、不動産貸付収入の活用

6－4－1. 保有資産の最適化

サスティナブルな施設整備や維持管理を行うためには、保有している資産（施設・設備）を最大限活用し、施設整備や維持管理に要するトータルコストを縮減必要がある。そのため、以下の取組みを促進する。

○主な取組み

- ●全学的な共同利用スペースの整備、スペースチャージ制の導入
- ●スペースの有効活用を図り、類似施設の統合や建物の集約化を検討
- ●職員宿舎の縮減・再編計画
- ●学外施設等の活用

1. スペースの有効活用

学生・教職員によるスペースの必要以上の専有・既得権意識を排除し、全学的に管理するスペースを増やしていく。目的・用途に応じた施設の需給度や利用度などを踏まえながら、既存スペースを適切に再配分し、施設の有効活用を積極的に行う。施設の新築や増築は、その後の施設管理に係わるコスト（定期的な改修費、維持管理費および光熱水費等）の増大につながることを認識し、保有施設の総量の最適化を図る。

○基本レイアウトの設定によるフレキシブルな空間構成（例）

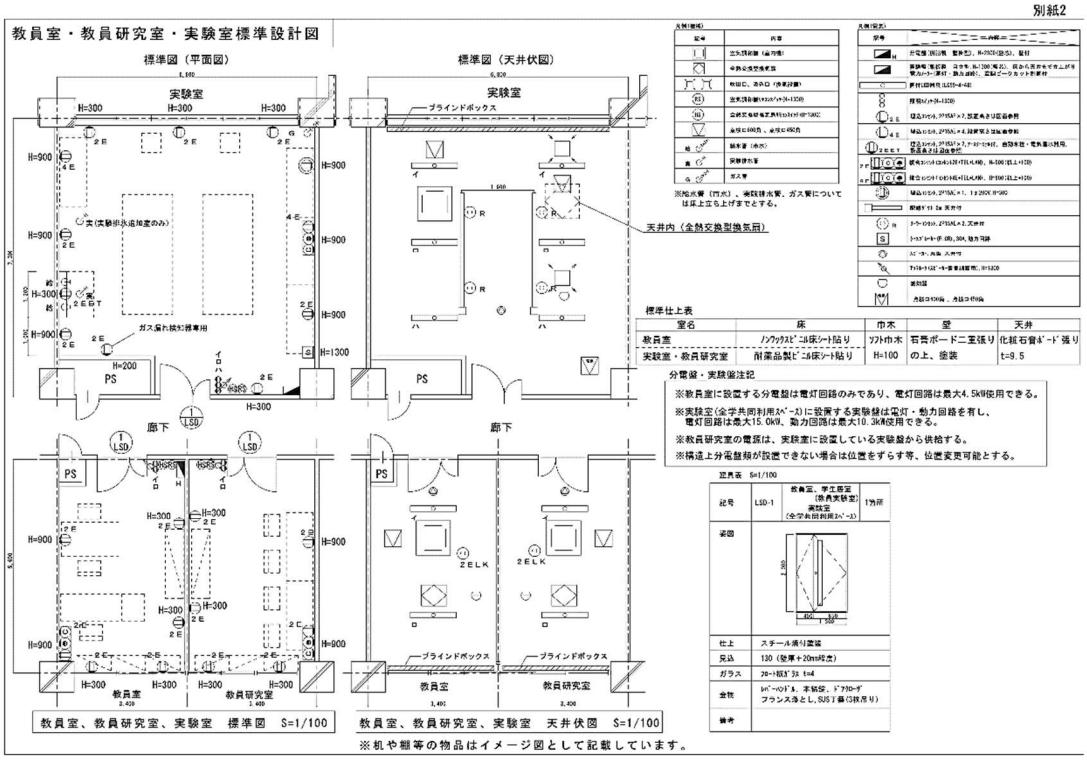
教育研究施設は、組織改編や学生・教員数等により必要なスペースが変化する。そのため、それら変化に柔軟に対応できる空間構成が求められる。

そこで、農学部の戦略的リノベーションにおいて、将来予想される学部の改組等に柔軟に対応できるよう、教員室・教員研究室・実験室・学生居室の標準プランを設定した。標準プランは、学科の教員室・教員研究室・実験室、全学共同利用スペース、戦略的スペースおよび学部管理学生居室に適用している。

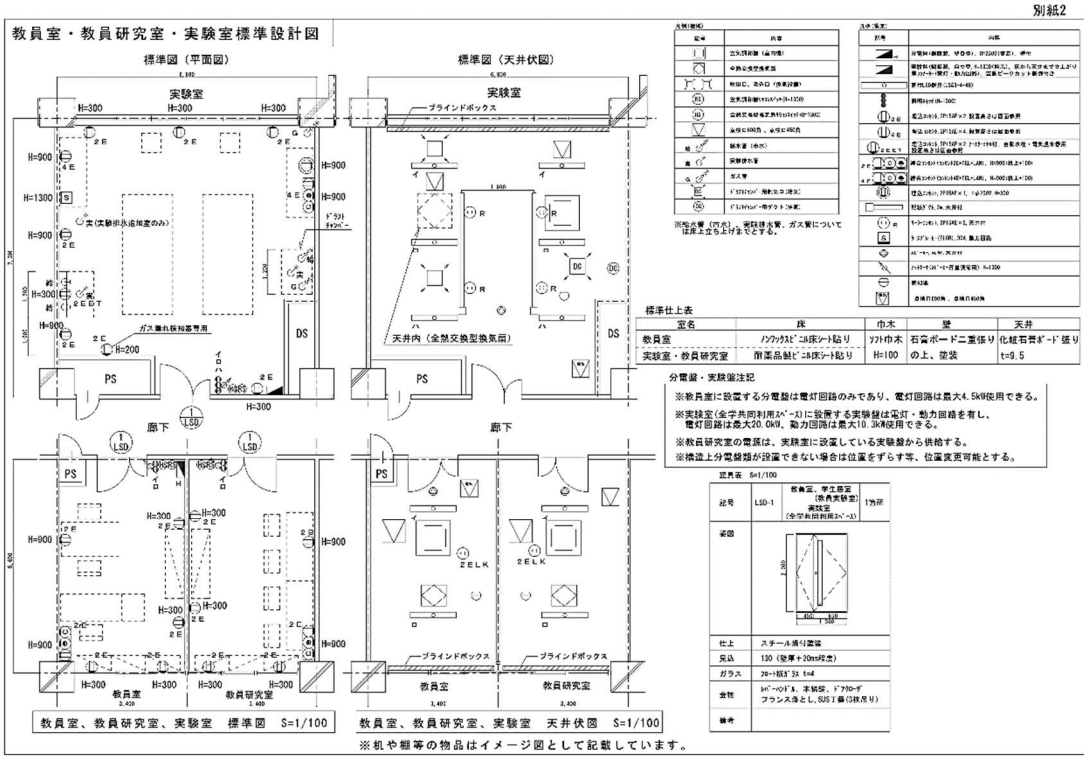
【基本的な考え方】

・将来にわたって、有効活用できるようにフレキシブルな仕様とするため、教員スペースのユニット化を行う。
・手洗い器は共有して使用することを基本とし、部屋ごとに個別に設置せず、リフレッシュルームなどに集約配置する。
・メンテナンスが容易に行えるよう計画する。

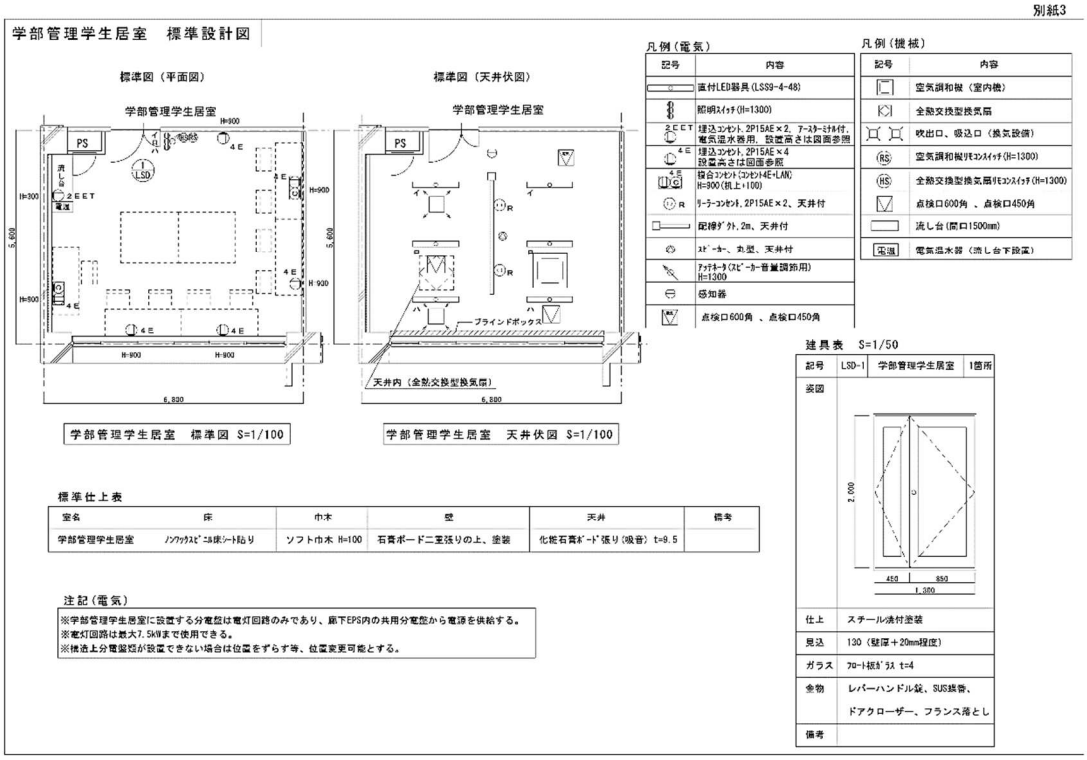
【教員室・教員研究室・実験室 標準プラン】



（ＤＣのある場合）



【学部管理・学生居室 標準プラン】



2.　広域的観点からの最適化（「フルスペック型」から「ネットワーク型」への転換）

施設の利用状況を踏まえ、同種の用途や機能を有するスペースの配置の適正化および集約化により、スペースの利用効率の向上を図る。

また、収容人員、設備内容等の情報を全学的に公開して予約を行うシステムを構築し、講義室や会議室等の部局の枠を超えた活用の促進を図る。

3.　共同利用スペース・学長裁量スペースの確保

研究内容や利用者を特定しない共同利用スペースを確保し、全学的又は複数部局の連携による運営を行う。また、大学の理念やアカデミックプランの実現に向けたトップマネジメントによる戦略的・重点的なスペースの配分を可能とするため、学長裁量スペースの確保を推進する。

○スペースチャージ制導入による新たな財源の確保

スペースチャージ制の導入を促進し、得られたチャージ料収入を施設改修費に充当する仕組みの検討を行い、経営基盤の強化を図る。

医学部基礎臨床研究棟では、新たなプロジェクトの立上げを促進するため、大規模改修時に既存建物の点検・評価を行い、スペースの再配分を行うことにより、共同利用スペース 3,690 ㎡（約 22%）を整備した。また、全てのスペースにスペースチャージ制を導入し、年間約 10,000 千円の財源を確保している。チャージ料収入は、約 5 割をスペースの維持管理費および運営費として使用し、残りの 5 割を将来の施設改修費用として積み立てている。

基礎臨床研究棟４Ｆ　改修前後の配置図

木花キャンパスにおいては、戦略的リノベーション計画に基づき、大規模改修時に整備面積の 20%以上を共同利用スペースとして整備する計画を進めている。共同利用スペースにおいては、2020 年 4 月よりスペースチャージ制を運用開始しており、チャージ料収入の一部を改修費用に充当していく。

○宮崎大学教育研究施設の有効活用に関する細則の改正について 《概要版》

令和元年11月14日
施設環境部作成

概要　戦略的リノベーションと既存スペースの再配分について（平成30年度第16回役員会承認）、宮崎大学教育研究施設の有効活用に関する細則に追記する。

改正前　共用スペース
- □ 創造プロジェクト棟 (ex T127　T128等・・・計6 部屋)
- □（教・地）実験研究棟 (ex 101　227等・・・計5 部屋)
- □ 技術家庭棟 (ex 101　102等・・・計11 部屋)

改正後　共同利用スペース

共用スペース
- □ 創造プロジェクト棟
- □（教・地）実験研究棟
- □ 技術家庭棟

全学共用スペース
- □（農）実験研究棟
- □（農）講義棟

整備面積の8%以上確保

部局管理スペース
- □（農）実験研究棟
- □（農）講義棟

整備面積の10%以上確保

戦略的スペース
- □（農）実験研究棟
- □（農）講義棟

整備面積の2%以上確保

今後、工学部・教育学部・地域資源創成学部を順次追加

共同利用スペースの種類

種類	利用期間	延長の有無	利用者の選定方法	利用対象者			利用料 (円・㎡/年) （ ）は学外者の場合
				教職員 学生	共同研究員 受託研究員	民間企業 官公庁	
共用スペース	3年	×	公募	○	△注1	×	無料注2
全学共用スペース	3年	2年まで	公募	○	△注1	×	5,000円注2 (10,000円)注2
部局管理スペース	各部局が別に定める。	各部局が別に定める。	各部局が別に定める。	○	△注1	×	無料
戦略的スペース	3年	2年まで	トップマネジメント	○	△注1	○	5,000円注2 (10,000円)注2

注1　共同研究員・受託研究員（学外者）は、本学教職員と共同で使用する場合のみ利用ができる。
注2　大規模改修時の仮移転先として一時的に利用する場合、利用料は1,500(円・㎡/年)とする。

4.　学外施設等の活用

自己保有に限らず、地域や他大学との連携を含めた学外施設の有効活用を促進する。

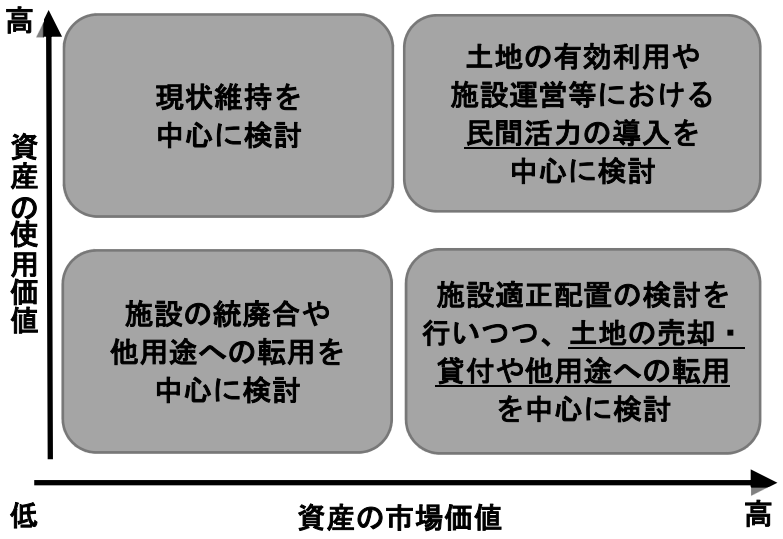
2016 年度には、域活性化の中核的拠点、および、まちおこしのフィールドとして、宮崎市内中心部にある民間施設を県と共同で整備・借用し、県の補助金等を活用してまちなかキャンパスを整備した。

6－4－2. 保有資産の有効活用

財源確保を多元化・強化するため、保有している資産（施設・設備）の有効活用に関する取組みを拡大していく。

○基本的な考え方

資産の使用価値および市場価値向上のため、本学で導入可能な事例を検討し、積極的に取組む。



○主な取組み

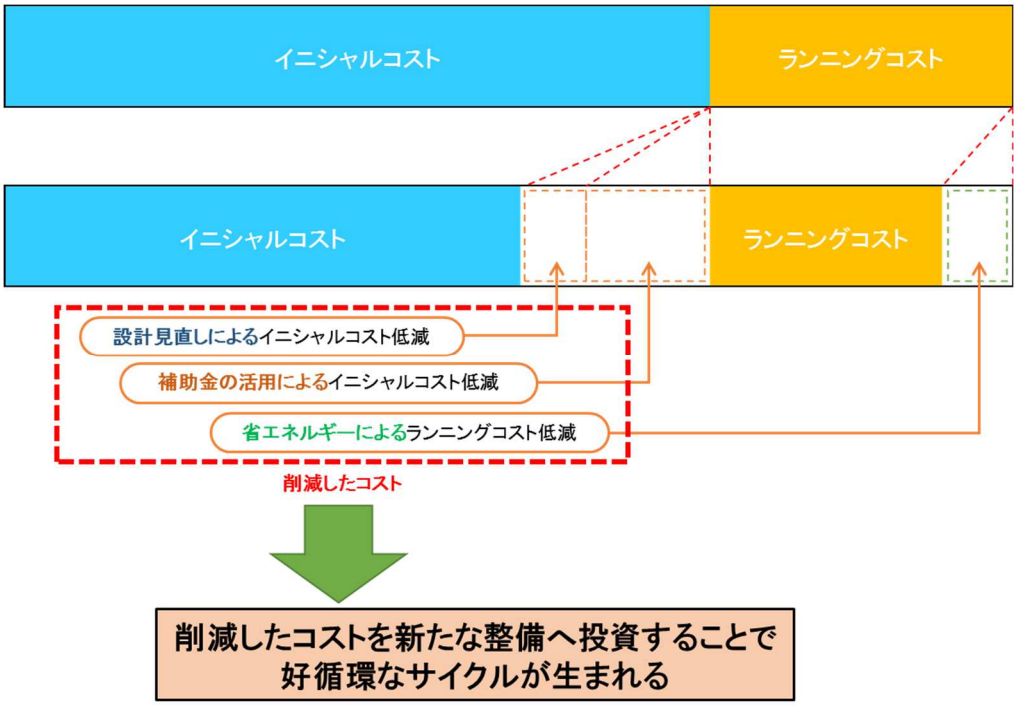
- ●余剰地や余剰床の貸付事業の推進
- ●土地等貸付を推進し、土地の有効活用による収益の増加
- ●使用料の適正化（講義室等の固定資産貸付の推進）
- ●広告事業の推進（ネーミングライツ事業の導入）
- ●他大学等の資産有効活用に関するグッドプラクティスを検証・評価
- ●自動販売機の更新時に環境配慮型や災害対応型等の付加価値の高い機種導入を促進
- ●駐車場利用有料化により得られた収入を駐車場・構内道路の整備・補修費用に充当

6－4－3. エネルギーマネジメント

サスティナブル・キャンパスの形成や保有資産にかかるトータルコスト縮減のため、エネルギーマネジメントを促進する。省エネ対策の実施によるランニングコストの削減や補助金活用によるイニシャルコストの低減により、費用対効果を向上させ、投資回収年数を短縮させる。また、対策実施後も施設・設備が現状に適した仕様か見直しを行い、継続してマネジメントを実施する。

また、エネンルギーマネジメントにより縮減したコストは、施設改修費用に活用することにより好循環なサイクルを構築していくことができる。そのためのルール・体制づくりが今後の課題である。

○エネルギーコストマネジメントのイメージ図



○維持管理費縮減の取組み

- ●予防保全の観点に基づく長期の修繕計画の策定・実施による修繕費のトータルコストの削減と毎年のコストの平準化
- ●役務の一元化、維持管理契約の複数年度化による保全費の削減
- ●エネルギー使用量の全学的管理と目標値の設定による光熱水費の抑制

○新技術の利用

光熱水費等の維持管理費の更なる縮減を図るため、従来の技術のみでなく新しい技術についても費用対効果を検証し、以下の取組みを進めていく。

・メンテナンスフリーに近い設備の導入
・エネルギーの見える化をするための具体策の作成
・ICT（情報伝達技術）やAIなどの最新技術の活用
・サスティナブル・キャンパスの形成に向けて、環境負荷低減のための先導的モデルとして、ZEB化（ゼブ・エネルギー・ビル）を検討
※特に３段階ある基準の中の「ZEB Ready」を目指す

ZEB：快適な室内環境を保ちながら、負荷抑制、自然エネルギーの利用、設備システムの高効率化により、省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーの導入を目指した建築物

ZEB（ゼロ・エネルギー・ビル）
年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの建築物
Nearly ZEB（ニアリー・ゼロ・エネルギー・ビル）
ZEBに限りなく近い建築物としてZEB Readyの要件を満たしつつ、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギーをゼロに近づけた建築物（対基準一次エネルギー消費量25%未満）
ZEB Ready（ゼロ・エネルギー・ビル・レディ）
ZEB を見据えた先進建築物として、外皮の高断熱化及び高効率省エネルギー設備を備えた建築物（対基準一次エネルギー消費量50%未満）

ZEB Ready　イメージ図

7.　長寿命化計画の継続的運用方針

効率的かつ効果的な長寿命化計画を進めていくためには、①施設の点検・評価によって現状を把握した上でそれを踏まえた計画を策定し(PLAN)、②計画に基づき、適切な改修や日常的な維持管理等を実施し(DO)、③整備による効果検証を継続的に行うとともに、より効果的な整備手法など改善すべき点について課題整理し(CHECK)、④次期計画に反映していく(ACTION)、という PDCA サイクル（メンテナンスサイクル）を確立することが重要である。

このようなサイクルを確立し、長寿命化計画を継続的に運用していくため、次に示す情報基盤整備と活用、施設マネジメント推進体制の整備、フォローアップが重要である。

7－1. 情報基盤の整備と活用

計画の見直し等を行う際の基礎資料とするため、本学施設の実態調査において把握した項目や維持管理項目の点検・調査結果等を踏まえ、施設の状態や過去の改修・交換履歴、事故・故障の発生状況等をデータベースに蓄積する。

その際、文部科学省大臣官房文教施設企画部へ毎年報告している「実態報告」に一定の情報が蓄積されているため、これらの情報を活用する。また、12 条点検等の法定点検や建物カルテによる調査等の継続的な点検・調査結果に基づき、適切に更新を行っていく。

また、施設の情報だけではなく、IR と連携した PDCA サイクルを活用し、アウトカム（教育・研究・社会貢献にもたらたす効果）を最大化する。

○既存施設の現状に関する情報の例

- ●施設の基本情報の把握・更新（用途ごとの面積、改修履歴、機能改善・維持費、図面データ）
- ●老朽化や安全に関する情報の蓄積（劣化状況、建物カルテによる事故歴等）
- ●施設の利用状況を全学的に確認できるシステムの構築（利用方法、稼働率等）

7－2. 施設マネジメント推進体制の整備

施設は、人材・資金・情報と同様に経営資源の一つである。

施設マネジメントにより教育研究や財務の戦略と整合性を図りながら施設の戦略的な運営を行うことで、費用対効果を向上させ、本学の理念やアカデミックプランの実現を図る。

具体的には、総合的・長期的な視点で、教育研究活動に対応した適切な施設を確保・活用するための新増改築・改修事業、修繕・保守点検の維持管理、既存施設の有効活用・再配分、省エネルギー対策、これらに必要な財源の確保などに取組む。

そのため、施設マネジメントをトップマネジメントとして制度的・組織的に位置づけ、経営者層のリーダーシップによる全学的体制で実施し、大学経営の観点から機動的に意思決定を行う体制の構築が必要である。また、部局の枠を超えた横断的な実務体制を構築するとともに、学内会議等における学内の合意形成を図り、実行性のある取組みを進めることが重要である。

インフラ長寿命化計画は、施設マネジメント委員会において決定しており、計画の策定において経営者層が主体的に参画している。

7－3. フォローアップ

インフラ長寿命化計画（個別施設計画）は、中期目標・中期計画に合わせ６年を１期とし、１期ごとにフォローアップを行う。フォローアップは、施設改修ロードマップの進捗状況等について実施し、必要に応じて計画を更新する。

なお、フォローアップの評価結果について会議等学内への公表を積極的に行う。

○履　　歴

2019 年 3 月　策定

2020 年 5 月　改定

（主な改定内容）

・長寿命化対象施設の優先順位の考え方を導入

・長寿命化対象施設の改修内容を施設重要度別に設定した改修内容に変更

・施設改修ロードマップを策定

2021 年 3 月　改定

（主な改定内容）

・附属病院・附属動物病院・寄宿舎・職員宿舎の個別施設計画を策定

○承　　認

2019 年 3 月 28 日　第 16 回役員会承認

2020 年 5 月 28 日　第 1 回施設マネジメント委員会承認

2021 年 3 月 25 日　第 12 回役員会承認

○公表状況

宮崎大学ホームページ掲載

https://www.miyazaki-u.ac.jp/guide/initiatives/environmental-measures.html

資料編

資料１．建物カルテについて

資料１－１．建物カルテの作成

個別施設の５項目について目視・図面等で点検等を行い、建物カルテを作成している。また、その情報は建物情報一覧表としてまとめている。

目視点検：【１、屋根・屋上　２、外壁】
図面・改修履歴等：【３、内部仕上げ　４、電気設備　５、機械設備】

通し番号	48				
学校名	木花	学校番号	30	調査日	平成29年11月15日
建物名	実験研究棟講義棟			記入者	○○
棟番号	1			建築年度	昭和59 年度（ 1984 年度）
構造種別	SR	延床面積	19,543 ㎡	階数	地上 7 階 地下 階

部位	仕様（該当する項目にチェック）	工事履歴（部位の更新）年度	工事履歴（部位の更新）工事内容	劣化状況（複数回答可）	箇所数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	□ アスファルト保護防水	2009	防水改修	□ 降雨時に雨漏りがある		①【北棟】膨れ 1箇所 ②【南棟】破れ1箇所、膨れ2箇所	B
	■ アスファルト露出防水			□ 天井等に雨漏り痕がある			
	□ シート防水、塗膜防水			■ 防水層に膨れ・破れ等がある	4		
	□ 勾配屋根（長尺金属板、折板）			□ 屋根葺材に錆・損傷がある			
	□ 勾配屋根（スレート、瓦類）			□ 笠木・立上り等に損傷がある			
	□ その他の屋根 （ ）			□ 樋やルーフドレンを目視点検できない			
				□ 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	□ 塗仕上げ			□ 鉄筋が見えているところがある		①外壁に大きな亀裂が多数あり	C
	■ タイル張り、石張り			□ 外壁から漏水がある			
	□ 金属系パネル			□ 塗装の剥がれ			
	□ コンクリート系パネル（ALC等）			■ タイルや石が剥がれている	複数		
	□ その他の外壁 （ ）			■ 大きな亀裂がある	複数		
	□ アルミ製サッシ			□ 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	□ 鋼製サッシ			□ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	□ 断熱サッシ、省エネガラス			□ 外部手すり等の錆・腐朽			
				□ 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度		特記事項（改修内容及び点検等による指摘事項）	評価
3 内部仕上（床・壁・天井）（内部建具）（間仕切等）（照明器具）（エアコン）等	□ 老朽改修				C
	■ エコ改修	2006	改修	【空調：2006】	
	■ トイレ改修	2014	改修	北棟改修、【多目的WC：2011(講)、2014(南)、2015(北2F)】	
	□ 法令適合				
	■ 校内LAN	2009	改修	Catに改修	
	□ 空調設置				
	■ 障害児等対策	2015	改修	【スロープ1998】【自ドア2010】【身駐車2011】	
	□ 防犯対策				
	□ 構造体の耐震対策				
	■ 非構造部材の耐震対策	2017	点検	大講義室(L206)：折曲がり天井のため改修が必要	
	□ その他、内部改修工事				
4 電気設備	□ 分電盤改修				C
	□ 配線等の敷設工事				
	■ 昇降設備保守点検	2017	点検	指摘無し	
	□ その他、電気設備改修工事				
5 機械設備	□ 給水配管改修				C
	□ 排水配管改修				
	■ 消防設備の点検	2017	点検	指摘無し	
	■ その他、機械設備改修工事	2011	EV更新	身障者対応のEVに更新	

特記事項（改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載）

健全度
43／100点

資料１－２．建物情報一覧表

建物情報一覧表として、本学の全施設の劣化度を算出している。

建物情報一覧表

■：築50年以上　□：築30年以上　基準 2020

A：概ね良好　B：部分的に劣化　C：広範囲に劣化　D：早急に対応する必要がある

建物基本情報													構造躯体の健全性						劣化状況評価						
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分 学校種別	用途区分 建物用途	構造	階数	延床面積（㎡）	建築年度 西暦	建築年度 和暦	築年数	耐震安全性 基準	耐震安全性 診断	耐震安全性 補強	長寿命化判定 調査年度	長寿命化判定 圧縮強度（N/㎟）	長寿命化判定 試算上の区分	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	劣化度（100点満点）	備考
1	3	船塚2	木犀会館	79		附属幼稚園	校舎	W	1	132	1989	H元	31	新	－	－			要調査	C	B	B	B	B	72	
2	3	船塚2	幼稚園舎	60		附属幼稚園	校舎	R	1	883	1993	H5	27	新	－	－			長寿命	A	A	B	B	B	84	
3	3	船塚2	便所・倉庫	81		附属幼稚園	校舎	S	1	30	2008	H20	12	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
4	9	住吉	車輌庫	35		その他	その他	S	1	206	1970	S45	50	旧					長寿命	C	C	C	C	C	40	
5	9	住吉	乾草庫	36		その他	その他	S	1	103	1970	S45	50	旧					要調査	D	D	C	C	C	29	
6	9	住吉	搾乳室	47		その他	その他	R	2	125	1966	S41	54	旧					要調査	C	C	C	C	C	40	
7	9	住吉	乳および肉加工室	48		その他	その他	B	1	277	1966	S41	54	旧					長寿命	B	C	C	C	C	43	
8	9	住吉	乳牛舎	49		その他	その他	S	1	464	1968	S43	52	旧					長寿命	C	C	C	C	C	40	
9	9	住吉	バンガーサイロ	50		その他	その他	S	1	123	1968	S43	52	旧					要調査	B	C	C	C	C	43	
10	9	住吉	人工授精室	51		その他	その他	R	1	86	1969	S44	51	旧					要調査	C	C	C	C	C	40	
11	9	住吉	乾草給与場	52		その他	その他	S	1	205	1969	S44	51	旧					長寿命	B	C	C	C	C	43	
12	9	住吉	繁殖牛舎	53		その他	その他	S	1	496	1978	S53	42	旧					長寿命	C	C	C	C	C	40	
13	9	住吉	実験研究棟	54		その他	その他	R	2	704	1979	S54	41	旧	済	－			長寿命	C	C	C	C	C	40	
14	9	住吉	試験畜舎	55		その他	その他	S	1	362	1979	S54	41	旧					長寿命	A	B	C	C	C	55	
15	9	住吉	子牛育及び衛生室	56		その他	その他	S	1	681	1979	S54	41	旧					長寿命	C	C	C	C	C	40	
16	9	住吉	第2車輌庫・火力乾燥	57		その他	その他	S	1	677	1979	S54	41	旧					長寿命	C	C	C	C	C	40	
17	9	住吉	堆肥舎	58		その他	その他	S	1	395	1980	S55	40	旧					長寿命	C	A	C	C	C	57	
18	9	住吉	短期宿泊施設	63		その他	その他	R	2	390	1981	S56	39	新	－	－			長寿命	A	C	C	C	C	45	
19	9	住吉	車庫	64		その他	その他	B	1	40	1985	S60	35	新	－	－			要調査	B	B	C	C	C	53	
20	9	住吉	糞尿再生処理施設	65		その他	その他	S	1	149	2005	H17	15	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
21	9	住吉	肥育牛舎	66		その他	その他	S	1	597	2005	H17	15	新	－	－			長寿命	A	A	A	A	A	100	
22	9	住吉	豚舎	67		その他	その他	S	1	339	2015	H27	5	新	－	－			長寿命	A	A	A	A	A	100	
23	9	住吉	堆肥舎	68		その他	その他	S	1	198	2015	H27	5	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
24	10	田野1	木材加工室	7		その他	その他	W	1	136	1959	S34	61	旧					要調査	C	C	C	C	C	40	
25	10	田野1	事務所	9		その他	その他	R	2	758	1972	S47	48	旧	済	－			長寿命	B	C	C	C	C	43	
26	10	田野1	車庫	16		その他	その他	S	1	96	1980	S55	40	旧					要調査	C	C	C	C	C	40	
27	11	花殿	附属中学校教室1・2長	1		附属中学校	校舎	R	2	4,111	1960	S35	60	旧	－	済			長寿命	B	B	A	A	A	91	2004年改修
28	11	花殿	陶芸室	2		附属中学校	校舎	R	1	40	1971	S46	49	旧					要調査	A	A	A	A	A	100	2013年改修
29	11	花殿	物置	10		附属中学校	校舎	W	1	3	1965	S40	55	旧					要調査	C	C	C	C	C	40	
30	11	花殿	ポンプ室	13		附属中学校	校舎	R	1	5	1956	S31	64	旧					要調査	C	C	C	C	C	40	
31	11	花殿	附属小学校教室2長	20		附属小学校	校舎	R	3	2,873	1970	S45	50	旧	－	済			長寿命	A	A	A	A	A	100	2009年改修
32	11	花殿	附属小学校教室1長	22		附属小学校	校舎	R	3	1,881	1964	S39	56	旧	－	済			長寿命	A	A	A	A	A	100	2009年改修
33	11	花殿	渡り廊下	26		附属小学校	校舎	W	1	69	1958	S33	62	旧					要調査	D	D	D	D	D	10	
34	11	花殿	プール付属室	29		附属小学校	校舎	B	1	60	1972	S47	48	旧					要調査	A	A	A	A	A	100	2012年改修
35	11	花殿	プール付属室	31		附属中学校	校舎	R	1	192	1966	S41	54	旧					要調査	A	B	B	C	C	68	
36	11	花殿	ガラス温室	32		附属中学校	校舎	B	1	35	1981	S56	39	旧					要調査	A	A	C	C	C	62	
37	11	花殿	物置	33		附属中学校	校舎	S	1	10	1977	S52	43	旧					要調査	C	C	C	C	C	40	
38	11	花殿	附属中学校校舎	34		附属中学校	校舎	R	3	1,027	1981	S56	39	新	－	－			長寿命	A	B	A	A	A	93	2004年改修
39	11	花殿	附属小学校校舎	35		附属中学校	校舎	R	3	1,274	1982	S57	38	新	－	－			長寿命	C	A	C	C	C	57	
40	11	花殿	附属小学校体育館	37		附属小学校	校舎	R	1	976	1996	H8	24	新	－	－			長寿命	A	B	B	B	B	77	
41	11	花殿	附属中学校体育館	38		附属中学校	校舎	R	2	1,996	1996	H8	24	新	－	－			長寿命	A	B	B	B	B	77	
42	11	花殿	工作室	39		附属小学校	校舎	S	1	29	2008	H20	12	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
43	13	赤水	附属水産実験施設	1		その他	その他	R	2	914	1973	S48	47	旧	－	済			長寿命	A	B	B	B	B	77	2013年改修
44	13	赤水	附属水産実験室	2		その他	その他	S	1	135	1973	S48	47	旧					要調査	A	A	C	C	C	62	
45	13	赤水	ポンプ室	3		その他	その他	R	1	20	1973	S48	47	旧					要調査	B	A	C	C	C	60	
46	14	大納	作業員詰所	3		その他	その他	S	1	42	1983	S58	37	新	－	－			要調査	C	C	C	C	C	40	
47	14	大納	便所	4		その他	その他	B	1	1	1983	S58	37	新	－	－			要調査	C	C	C	C	C	40	
48	30	木花	実験研究棟講義棟	1		大学	校舎	SR	7	19,543	1984	S59	36	新	－	－			長寿命	B	C	C	C	C	43	
49	30	木花	実験研究棟（獣医）	2		大学	校舎	R	5	3,524	1984	S59	36	新	－	－			長寿命	A	B	C	C	C	55	
50	30	木花	福利施設棟	3		大学	校舎	R	1	3,458	1984	S59	36	新	－	－			長寿命	A	C	C	C	C	45	
51	30	木花	中央機械室棟	4		大学	校舎	R	1	423	1984	S59	36	新	－	－			長寿命	A	B	C	C	C	55	
52	30	木花	動物病院	5		大学	校舎	R	2	1,634	1985	S60	35	新	－	－			要調査	A	A	C	C	C	62	
53	30	木花	動物舎	6		大学	校舎	S	1	209	1985	S60	35	新	－	－			長寿命	A	A	C	C	C	62	
54	30	木花	環境制御動物実験棟	7		大学	校舎	S	1	130	1985	S60	35	新	－	－			長寿命	B	B	C	C	C	53	
55	30	木花	動物生産利用実験棟	8		大学	校舎	S	2	298	1985	S60	35	新	－	－			長寿命	A	A	C	C	C	62	
56	30	木花	ガラス室	9		大学	校舎	S	1	30	1985	S60	35	新	－	－			要調査	A	A	C	C	C	62	
57	30	木花	ポンプ室	10		大学	校舎	R	1	24	1985	S60	35	新	－	－			要調査	A	A	C	C	C	62	
58	30	木花	農林水産実験棟	11		大学	校舎	S	1	231	1985	S60	35	新	－	－			長寿命	A	A	C	C	C	62	
59	30	木花	木材食品加工実験室	12		大学	校舎	S	1	347	1985	S60	35	新	－	－			長寿命	A	A	C	C	C	62	
60	30	木花	農業工学実験棟	13		大学	校舎	S	1	694	1985	S60	35	新	－	－			長寿命	A	A	C	C	C	62	
61	30	木花	実験温室	14		大学	校舎	S	1	63	1985	S60	35	新	－	－			要調査	A	A	C	C	C	62	
62	30	木花	実験温室	15		大学	校舎	S	1	63	1985	S60	35	新	－	－			要調査	A	A	C	C	C	62	
63	30	木花	実験温室	16		大学	校舎	S	1	63	1985	S60	35	新	－	－			要調査	A	A	C	C	C	62	
64	30	木花	ボイラ室	17		大学	校舎	R	1	11	1985	S60	35	新	－	－			要調査	B	B	C	C	C	53	
65	30	木花	危険物薬品庁舎庫	18		大学	校舎	R	1	42	1985	S60	35	新	－	－			要調査	C	C	C	C	C	40	
66	30	木花	農場管理棟	19		大学	校舎	R	2	971	1984	S59	36	新	－	－			長寿命	C	B	C	C	C	50	
67	30	木花	工学部A棟	20		大学	校舎	SR	6	8,030	1986	S61	34	新	－	－			長寿命	B	B	C	C	C	53	
68	30	木花	工学部C棟	21		大学	校舎	SR	6	5,398	1986	S61	34	新	－	－			長寿命	A	B	C	C	C	55	
69	30	木花	工学部B棟	22		大学	校舎	R	2	2,548	1986	S61	34	新	－	－			長寿命	B	A	B	C	C	73	
70	30	木花	電気機器実験棟・車庫	23		大学	校舎	S	1	308	1986	S61	34	新	－	－			長寿命	A	A	C	C	C	62	
71	30	木花	危険物薬品庫	24		大学	校舎	R	1	20	1986	S61	34	新	－	－			要調査	B	B	C	C	C	53	
72	30	木花	高電圧実験棟	25		大学	校舎	S	1	205	1986	S61	34	新	－	－			長寿命	A	A	C	C	C	62	

建物情報一覧表

：築50年以上　：築30年以上　基準 2020

A：概ね良好　B：部分的に劣化　C：広範囲に劣化　D：早急に対応する必要がある

建物基本情報														構造躯体の健全性						劣化状況評価						
						用途区分				建築年度				耐震安全性			長寿命化判定									
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	学校種別	建物用途	構造	階数	西暦	和暦	延床面積（㎡）	築年数	基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度（N/㎟）	試算上の区分	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度（100点満点）	備考
73	30	木花	土木工学実験実習棟	26		大学	校舎	S	1	1986	S61	937	34	新	－	－			長寿命	A	A	C	C	C	62	
74	30	木花	機械工学実験実習棟	27		大学	校舎	S	1	1986	S61	413	34	新	－	－			長寿命	A	A	C	C	C	62	
75	30	木花	機械実習工場	28		大学	校舎	S	1	1986	S61	648	34	新	－	－			長寿命	A	B	C	C	C	55	
76	30	木花	ポンプ室	29		大学	校舎	R	1	1986	S61	11	34	新	－	－			要調査	B	B	C	C	C	53	
77	30	木花	超波計測室	30		大学	校舎	B	1	1986	S61	16	34	新	－	－			要調査	B	B	C	C	C	53	
78	30	木花	情報処理センター	31		大学	校舎	R	2	1986	S61	1,254	34	新	－	－			長寿命	A	B	C	C	C	55	
79	30	木花	事務局棟	32		大学	校舎	R	4	1986	S61	3,228	34	新	－	－			長寿命	A	A	C	C	C	62	
80	30	木花	農業博物館	33		大学	校舎	R	2	1986	S61	766	34	新	－	－			長寿命	A	A	C	C	C	62	
81	30	木花	大型及び小型機械棟	34		大学	校舎	S	1	1986	S61	590	34	新	－	－			長寿命	C	C	C	C	C	40	
82	30	木花	標本植物温室	35		大学	校舎	S	1	1986	S61	370	34	新	－	－			要調査	B	C	C	C	C	43	
83	30	木花	土耕ガラス温室	36		大学	校舎	S	1	1986	S61	50	34	新	－	－			要調査	B	B	C	C	C	53	
84	30	木花	水耕温室	37		大学	校舎	S	1	1986	S61	302	34	新	－	－			要調査	A	A	C	C	C	62	
85	30	木花	機械室	38		大学	校舎	S	1	1986	S61	30	34	新	－	－			要調査	C	C	C	C	C	40	
86	30	木花	フロンティア科学審議総合センター	39		大学	校舎	R	2	1987	S62	367	33	新	－	－			長寿命	B	A	C	C	C	60	
87	30	木花	体育館	40		大学	校舎	R	2	3,296	1987	S62	33	新	－	－			長寿命	A	B	C	C	C	55	
88	30	木花	器具庫	41		大学	校舎	R	1	105	1987	S62	33	新	－	－			要調査	C	B	C	C	C	50	
89	30	木花	附属図書館	42		大学	校舎	R	3	4,977	1987	S62	33	新	－	－			長寿命	A	A	A	A	A	100	2019年改修
90	30	木花	実験研究棟	43		大学	校舎	SR	7	12,705	1987	S62	33	新	－	－			長寿命	A	B	C	C	C	55	
91	30	木花	男子寄宿舎	44		大学	校舎	B	5	1,887	1988	S63	32	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	2012年改修
92	30	木花	課外活動施設	45		大学	校舎	R	3	1,301	1988	S63	32	新	－	－			長寿命	B	B	B	B	B	75	
93	30	木花	危険物薬品庫	46		大学	校舎	R	1	12	1988	S63	32	新	－	－			要調査	B	B	B	B	B	75	
94	30	木花	農場倉庫	47		大学	校舎	S	1	57	1988	S63	32	新	－	－			要調査	B	C	B	B	B	65	
95	30	木花	温室	48		大学	校舎	S	1	42	1988	S63	32	新	－	－			要調査	A	A	B	B	B	84	
96	30	木花	美術棟	49		大学	校舎	R	2	1,469	1988	S63	32	新	－	－			長寿命	A	A	B	B	B	84	
97	30	木花	技術・家庭棟	50		大学	校舎	R	2	2,551	1988	S63	32	新	－	－			長寿命	A	A	B	B	B	84	
98	30	木花	音楽棟	51		大学	校舎	R	2	1,615	1988	S63	32	新	－	－			長寿命	A	A	B	B	B	84	
99	30	木花	土耕温室	52		大学	校舎	S	1	302	1988	S63	32	新	－	－			要調査	A	A	B	B	B	84	
100	30	木花	廃液処理施設棟	53		大学	校舎	R	1	92	1988	S63	32	新	－	－			長寿命	C	B	B	B	B	72	
101	30	木花	講義棟	54		大学	校舎	R	4	6,221	1988	S63	32	新	－	－			長寿命	A	C	B	B	B	67	
102	30	木花	門衛所	55		大学	校舎	R	1	64	1989	H元	31	新	－	－			要調査	B	B	B	B	B	75	
103	30	木花	廃液貯蔵庫	56		大学	校舎	R	1	81	1989	H元	31	新	－	－			要調査	C	B	B	B	B	72	
104	30	木花	課外活動施設	57		大学	校舎	R	1	279	1989	H元	31	新	－	－			長寿命	B	B	B	B	B	75	
105	30	木花	弓道場	58		大学	校舎	S	1	120	1989	H元	31	新	－	－			要調査	B	B	B	B	B	75	
106	30	木花	プール付属室	59		大学	校舎	R	1	216	1989	H元	31	新	－	－			要調査	B	B	B	B	B	75	
107	30	木花	女子寄宿舎	60		大学	校舎	R	5	1,804	1990	H2	30	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	2012年改修
108	30	木花	殿舎	61		大学	校舎	S	1	140	1991	H3	29	新	－	－			要調査	B	C	B	B	B	65	
109	30	木花	育苗用温室	62		大学	校舎	S	1	32	1991	H3	29	新	－	－			要調査	A	A	B	B	B	84	
110	30	木花	ガスメータ室	63		大学	校舎	R	1	7	1992	H4	28	新	－	－			要調査	A	A	B	B	B	84	
111	30	木花	国際交流会館	64		大学	校舎	SR	8	4,227	1992	H4	28	新	－	－			要調査	C	B	B	B	B	72	
112	30	木花	国際交流会館	65		大学	校舎	R	4	460	1994	H6	26	新	－	－			要調査	C	B	B	B	B	72	
113	30	木花	教育協働開発センター	66		大学	校舎	R	2	534	1994	H6	26	新	－	－			長寿命	C	B	B	B	B	72	
114	30	木花	産学・地域連携センター（産学・地域プロジェクト棟）	67		大学	校舎	R	2	2,013	1996	H8	24	新	－	－			長寿命	C	C	B	B	B	62	
115	30	木花	新産業プロジェクト棟	68		大学	校舎	R	2	819	1996	H8	24	新	－	－			長寿命	A	B	B	B	B	77	
116	30	木花	産学・地域連携センター（機器試験風洞実験棟）	69		大学	校舎	R	3	1,114	1997	H9	23	新	－	－			長寿命	A	B	B	B	B	77	
117	30	木花	産学・地域連携センター（機器試験風洞実験棟）	70		大学	校舎	R	1	240	1997	H9	23	新	－	－			長寿命	A	B	B	B	B	77	
118	30	木花	フロンティア科学審議総合センター	71		大学	校舎	R	4	1,510	1999	H11	21	新	－	－			長寿命	A	A	A	A	A	100	
119	30	木花	工学部E棟	72		大学	校舎	SR	8	3,514	2000	H12	20	新	－	－			長寿命	A	A	A	A	A	100	
120	30	木花	総合研究棟	73		大学	校舎	R	2	1,421	2001	H13	19	新	－	－			長寿命	C	A	A	A	A	95	
121	30	木花	検収センター	74		大学	校舎	S	1	55	2010	H22	10	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
122	30	木花	圃場管理棟	75		大学	校舎	S	1	41	2009	H21	11	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
123	30	木花	牛舎1	76		大学	校舎	S	1	24	2011	H23	9	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
124	30	木花	牛舎2	77		大学	校舎	S	1	11	2011	H23	9	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
125	30	木花	管理棟	78		大学	校舎	S	1	40	2011	H23	9	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
126	30	木花	大原事務所	79		大学	校舎	S	1	25	2011	H23	9	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
127	30	木花	産業動物教育研究センター	80		大学	校舎	R	2	1,125	2013	H25	7	新	－	－			長寿命	A	A	A	A	A	100	
128	30	木花	更衣室棟	81		大学	校舎	R	1	198	2013	H25	7	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
129	30	木花	サークル棟	82		大学	校舎	S	1	268	2013	H25	7	新	－	－			要調査	A	B	A	A	A	93	
130	30	木花	発電機室A	83		大学	校舎	S	1	39	2014	H26	6	新	－	－			長寿命	A	A	A	A	A	100	
131	30	木花	発電機室B	84		大学	校舎	S	1	31	2014	H26	6	新	－	－			長寿命	A	A	A	A	A	100	
132	30	木花	発電機室C	85		大学	校舎	S	1	31	2014	H26	6	新	－	－			長寿命	A	A	A	A	A	100	
133	30	木花	イスラーム文化研究交流棟	86		大学	校舎	S	1	79	2014	H26	6	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
134	30	木花	防災倉庫	87		大学	校舎	S	1	199	2014	H26	6	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
135	30	木花	朝立330記念交流会館	88		大学	校舎	W	1	1,670	2014	H26	6	新	－	－			長寿命	A	A	A	A	A	100	
136	30	木花	留学生宿舎	89		大学	校舎	R	4	524	2015	H27	5	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
137	30	木花	多目的トイレ	90		大学	校舎	S	1	7	2016	H28	4	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
138	30	木花	車庫	91		大学	校舎	S	1	57	2017	H29	3	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
139	30	木花	地域デザイン学棟	92		大学	校舎	S	1	238	2017	H29	3	新	－	－			長寿命	A	A	A	A	A	100	
140	32	木原2	水田作業舎	1		その他	校舎	S	1	250	1987	S62	33	新	－	－			長寿命	C	C	C	C	C	40	
141	50	清武1	講義実習棟	1		大学	校舎	R	4	6,582	1975	S50	45	旧	－	済			長寿命	A	A	B	B	B	84	
142	50	清武1	基礎臨床研究棟	2		大学	校舎	SR	7	9,676	1976	S51	44	旧	－	済			長寿命	A	A	A	A	A	100	2014年改修
143	50	清武1	附属病院	3		大学	校舎	SR	7	45,602	1977	S52	43	旧	－	済			要調査	A	A	A	A	A	100	2013年改修
144	50	清武1	基礎臨床研究棟	4		大学	校舎	SR	7	7,481	1977	S52	43	旧	－	済			長寿命	A	A	A	A	A	100	2014年改修
145	50	清武1	福利施設	5		大学	校舎	R	3	2,038	1976	S51	44	旧	－	済			長寿命	C	A	A	A	A	95	
146	50	清武1	体育館	6		大学	校舎	R	1	1,148	1976	S51	44	旧	済	－			長寿命	C	A	C	C	C	57	

建物情報一覧表

■：築50年以上　□：築30年以上　基準 2020

A：概ね良好　B：部分的に劣化　C：広範囲に劣化　D：早急に対応する必要がある

建物基本情報														構造躯体の健全性						劣化状況評価						
						用途区分					建築年度			耐震安全性			長寿命化判定									
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	学校種別	建物用途	構造	階数	延床面積（㎡）	西暦	和暦	築年数	基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度（N/㎟）	試算上の区分	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度（100点満点）	備考
147	50	清武1	中央機械室	7		大学	校舎	R	1	1,860	1976	S51	44	旧	済	－			要調査	B	A	C	C	C	60	
148	50	清武1	看護師宿舎	8		大学	校舎	R	6	2,428	1977	S52	43	旧	－	済			長寿命	C	B	B	B	B	72	1993年改修
149	50	清武1	看護師宿舎	9		大学	校舎	R	6	1,505	1977	S52	43	旧	－	済			長寿命	A	B	B	B	B	77	1994年改修
150	50	清武1	フロンティア科学室棟総合ヤ	10		大学	校舎	R	3	1,783	1977	S52	43	旧	済	－			長寿命	B	C	A	C	C	65	
151	50	清武1	図書館	12		大学	校舎	R	2	1,908	1978	S53	42	旧	済	－			長寿命	A	A	A	A	A	100	2019年改修
152	50	清武1	看護師宿舎	13		大学	校舎	R	5	1,632	1979	S54	41	旧	－	済			長寿命	B	B	B	B	B	75	1994年改修
153	50	清武1	倉庫	14		大学	校舎	S	2	276	1980	S55	40	旧					要調査	A	A	C	C	C	62	
154	50	清武1	フロンティア科学室棟総合ヤ	15		大学	校舎	R	3	960	1980	S55	40	旧	済	－			長寿命	A	A	A	A	A	100	2013年改修
155	50	清武1	非常勤講師宿泊施設	16		大学	校舎	R	2	237	1980	S55	40	旧					要調査	A	A	A	C	C	85	
156	50	清武1	非常勤講師宿泊施設	17		大学	校舎	R	2	183	1980	S55	40	旧					要調査	A	A	A	C	C	85	
157	50	清武1	武道場	18		大学	校舎	S	1	320	1981	S56	39	新	－	－			長寿命	A	B	B	C	C	68	
158	50	清武1	フロンティア科学室棟総合ヤ	19		大学	校舎	R	4	1,092	1983	S58	37	新	－	－			長寿命	A	C	A	C	C	68	2013年改修
159	50	清武1	臨床研究棟	20		大学	校舎	R	3	1,302	1988	S63	32	新	－	－			長寿命	A	A	C	C	C	62	
160	50	清武1	MRI－CT装置棟	21		大学	校舎	R	1	468	1989	H元	31	新	－	－			要調査	A	A	B	B	B	84	2013年改修
161	50	清武1	フロンティア科学室棟総合ヤ	22		大学	校舎	R	3	510	1992	H4	28	新	－	－			長寿命	A	A	A	A	A	100	2013年改修
162	50	清武1	MRI－CT装置棟	23		大学	校舎	R	2	162	1996	H8	24	新	－	－			要調査	A	A	B	B	B	84	
163	50	清武1	総合教育研究棟	24		大学	校舎	SR	7	8,581	2003	H15	17	新	－	－			長寿命	A	A	A	A	A	100	
164	50	清武1	中央診療棟	25		大学	校舎	R	4	5,712	2007	H19	13	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
165	50	清武1	立体駐車場	26		大学	校舎	S	2	6,845	2007	H19	13	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
166	50	清武1	カルテ庫	27		大学	校舎	S	1	153	2009	H21	11	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
167	50	清武1	外来診療棟	28		大学	校舎	R	3	8,650	2010	H22	10	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
168	50	清武1	外来管理棟	29		大学	校舎	S	3	1,297	2010	H22	10	新	－	－			長寿命	A	A	A	A	A	100	
169	50	清武1	格納庫	30		大学	校舎	S	1	270	2011	H23	9	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
170	50	清武1	待機室	31		大学	校舎	S	1	58	2011	H23	9	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
171	50	清武1	油倉庫	32		大学	校舎	S	1	24	2011	H23	9	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
172	50	清武1	廃棄物保管庫	33		大学	校舎	S	1	141	2012	H24	8	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
173	50	清武1	教師教育センターヘリポート	34		大学	校舎	R	3	1,704	2013	H25	7	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
174	50	清武1	発電機室	35		その他	校舎	S	1	49	2013	H25	7	新	－	－			長寿命	A	A	A	A	A	100	
175	50	清武1	サークル棟	36		その他	校舎	S	1	152	2013	H25	7	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
176	50	清武1	カルテ倉庫	37		その他	校舎	S	1	280	2014	H26	6	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
177	50	清武1	防災倉庫	38		その他	校舎	S	1	93	2014	H26	6	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
178	50	清武1	防災倉庫	39		その他	校舎	S	2	212	2014	H26	6	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
179	50	清武1	管理棟	40		その他	校舎	S	1	36	2017	H29	3	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
180	51	清武2	職員宿舎（D棟）	1		大学	寄宿舎	R	4	1,900	1975	S50	45	旧					要調査	A	C	C	C	C	45	
181	51	清武2	職員宿舎（E棟）	2		その他	寄宿舎	R	4	1,492	1976	S51	44	旧					要調査	A	C	C	C	C	45	
182	51	清武2	職員宿舎（F棟）	3		その他	寄宿舎	R	3	622	1976	S51	44	旧					要調査	A	C	C	C	C	45	
183	51	清武2	職員宿舎（1棟）	4		その他	寄宿舎	R	5	1,037	1977	S52	43	旧	済	－			要調査	A	A	C	C	C	62	
184	51	清武2	職員宿舎（2棟）	5		その他	寄宿舎	R	5	2,030	1977	S52	43	旧	済	－			要調査	B	D	C	C	C	34	
185	51	清武2	職員宿舎（3棟）	6		その他	寄宿舎	R	5	1,354	1977	S52	43	旧	－	済			要調査	A	A	B	C	C	75	
186	51	清武2	職員宿舎（4棟）	7		その他	寄宿舎	R	5	1,354	1977	S52	43	旧	済	－			要調査	B	A	C	C	C	60	
187	51	清武2	職員宿舎（5棟）	8		その他	寄宿舎	R	5	1,555	1978	S53	42	旧	－	済			要調査	A	A	A	A	A	100	2014年改修
188	51	清武2	保育施設	12		その他	校舎	S	1	225	2007	H19	13	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
189	52	清武3	職員宿舎（A棟）	1		その他	寄宿舎	R	4	1,900	1974	S49	46	旧					要調査	B	D	C	C	C	34	
190	52	清武3	職員宿舎（B棟）	2		その他	寄宿舎	R	4	1,492	1974	S49	46	旧					要調査	A	A	C	C	C	62	
191	52	清武3	職員宿舎（C棟）	3		その他	寄宿舎	R	4	1,492	1975	S50	45	旧					要調査	B	D	C	C	C	34	
192	53	田野2	宮崎市介護老人保健施設	1		その他	その他	R	3	1,885	1991	H3	29	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	2015年改修
193	53	田野2	宮崎市立田野病院	2		その他	その他	R	1	4,129	2012	H24	8	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
194	53	田野2	自動車車庫	3		その他	その他	R	1	235	2012	H24	8	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
195	201	橘通	医科口腔外科センター	1		その他	その他	SR	8	126	2007	H19	13	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	
196	201	橘通	まちかどキャンパス	2		その他	その他	S	5	119	2017	H29	3	新	－	－			要調査	A	A	A	A	A	100	

資料2．個別部位の改修計画

資料2－1．優先的に整備する個別部位の設定

【重点的に対策すべき個別部位】

屋上防水：老朽化に伴う雨漏りにより、教育研究に支障をきたすため。
外　　壁：老朽化に伴う外壁の剥落により、人身事故等の恐れがあるため。
照明設備：老朽化に伴う照明設備の故障により、教育研究に支障をきたすため。また老朽化した照明設備はエネルギー消費が大きく、更新することでエネルギー消費が軽減でき、維持管理コストが抑えられるため。
空調設備：老朽化に伴う空気調和設備の故障により、教育研究に支障をきたすため。また、老朽化した空気調和設備はエネルギー消費が大きく、更新することでエネルギー消費が軽減でき、維持管理コストが抑えられるため。
給排水設備：老朽化した給排水管からの漏水は、学内環境の維持および光熱水費の面から更新が必要となるため。特にトイレは暗い・汚い・臭い(3K)といったクレームが多く、利用者に不便をかけるため。

【上記以外の個別部位】

建　　具：多くの不具合が建具金物や建付け調整で対応できるため、緊急修繕で対応する。
内　　装：汚れや塗装の剥がれで、教育研究等の活動において大きな支障を伴わないため、大規模改修で対応する。
防災設備：キャンパス内の多くの建物と連動してシステム化されており、大がかりな工事となるため、大規模改修で対応する。
構内道路：自動車通学の需要が多く、駐車料金など受益者負担により整備する。
構内樹木：計画的に緑地管理を行うため、緑地管理計画を策定し保全業務で対応する。

資料２－２．計画を実施する判断基準

【屋上防水の判断基準】

→法定耐用年数を超過し、複数箇所が雨漏りしている場合は改修を行う。
雨漏りが発生していない場合は、建物カルテを確認する。屋上防水の評価がC又はDの場合は、改修を行う、または、点検を行い問題がなければ延期する。

【外壁の判断基準】

→法定耐用年数を超過し、クラックや浮きが著しく複数箇所のクラックが確認された場合は改修する。また、タイルの落下等の事故が過去に起きている場合や建物カルテの外壁の評価が C の場合は改修を行う。ただし、点検を行った上で問題がなければ延期できる。

【照明設備及び空調設備の判断基準】

→法定耐用年数を超過し、故障が発生している場合は、改修する。故障が発生していない場合は、改修を延期する。改修する機器が高効率で、省エネ効果が高い場合は改修する。

【トイレの判断基準】

→法定耐用年数を超過し、和式トイレの場合は改修を行う（ただし、全面改修でなくても良い)。
また、主に講義棟や体育施設等の不特定多数が利用するものを優先させる。
臭い・暗い・汚いなどの 3K（劣悪）に該当する場合は改修する。

資料２－３．屋上防水改修整備計画

屋根防水改修整備計画【優先順位表】

2016年6月作成
2019年8月見直し

団地概要										防水改修													(参考)インフラ長寿命化	
団地番号	団地名	棟番号	棟名称	建築面積	延べ面積	建築年	構造	地上階	地下階	防水面積	防水改修年	用途区分	経過年数	劣化評点	経年評点	用途評点	総合評点	改修の必要性	改修予定年度	改修費用概算(千円) 単価:2.5万円/㎡	備考	建物カルテ評価	施設重要度(Ⅰ:高)
9	住吉	54	実験研究棟	368	704	1979	R	2	0	368	0	1	41	20	40	20	80	有	2021	9,200	概算中(2018年度～)	C	Ⅰ
9	住吉	47	搾乳室	80	125	1966	R	2	0	80	0	3	54	20	50	0	70	有	－	2,000	取壊し又は改修が必要	C	－
9	住吉	48	乳および肉加工室	277	277	1966	B	1	0	277	0	3	54	20	50	0	70	有	－	6,925	取壊し	B	Ⅲ
11	花殿	35	附属小学校校舎	460	1,274	1982	R	3	0	460	0	1	38	20	30	20	70	有	2021	11,500		C	Ⅰ
9	住吉	35	車輌庫	206	206	1970	S	1	0	206	0	3	50	10	50	0	60	有		5,150	老朽化状況の確認が必要	C	Ⅲ
9	住吉	49	乳牛舎	0	0	1968	S	1	0	160	0	3	52	10	50	0	60	有	－	4,000	概算中(2018年度～取り壊し予定)	C	Ⅲ
9	住吉	49	乳牛舎	464	464	1968	S	1	0	304	0	3	52	10	50	0	60	有			概算中(2018年度～取り壊し予定)	C	Ⅲ
9	住吉	51	人工授精室	86	86	1969	R	1	0	86	0	3	51	10	50	0	60	有		2,150		C	－
10	田野	7	木材加工室	136	136	1959	W	1	0	136	0	3	61	10	50	0	60	有	－	－	耐震性の問題あり？	C	－
11	花殿	10	物置	3	3	1965	W	1	0	3	0	3	55	10	50	0	60	有	－	－	対象外	C	－
11	花殿	13	ポンプ室	5	5	1956	R	1	0	5	0	3	64	10	50	0	60	有	－	－	耐震性の問題あり？	C	－
30	木花	19	農場管理棟(平屋)	614	971	1984	S	1	0	221	0	2	36	20	30	10	60	有	2025	5,525		C	Ⅰ
30	木花	19	農場管理棟	0	0	1984	R	2	0	393	0	2	36	20	30	10	60	有	2025	9,825		C	Ⅰ
30	木花	66	教育協働開発センター	295	534	1994	R	2	0	295	0	2	26	20	25	10	55	有	2022	7,375		C	Ⅱ
9	住吉	36	乾草庫	103	103	1970	S	1	0	103	0	3	50	0	50	0	50	有		2,575	老朽化状況の確認が必要	D	－
9	住吉	50	バンガーサイロ	123	123	1968	S	1	0	123	0	3	52	0	50	0	50	有		3,075		B	－
9	住吉	53	繁殖牛舎	496	496	1978	S	1	0	496	0	3	42	10	40	0	50	有		12,400		C	Ⅲ
9	住吉	57	第２車輌庫・火力乾燥	677	677	1979	S	1	0	677	0	3	41	10	40	0	50	有		16,925		C	Ⅲ
9	住吉	58	堆肥舎	395	395	1980	S	1	0	395	0	3	40	10	40	0	50	有		9,875		C	Ⅲ
10	田野	18	車庫	96	96	1980	S	1	0	96	0	3	40	10	40	0	50	有		2,400		C	－
11	花殿	26	渡り廊下	69	69	1958	W	1	0	69	0	3	62	0	50	0	50	有	－	－	耐震対策又は取壊しが必要	D	－
11	花殿	33	物置	10	10	1977	S	1	0	10	0	3	43	10	40	0	50	有	－	－	対象外	C	－
30	木花	34	大型及び小型機械棟	590	590	1986	S	1	0	590	0	3	34	20	30	0	50	有		14,750		C	Ⅲ
30	木花	41	器具庫	122	105	1987	R	1	0	122	0	3	33	20	30	0	50	有		3,050		C	－
30	木花	53	廃液処理施設棟	145	92	1988	R	1	0	145	0	1	32	0	30	20	50	有	2024	3,625		C	Ⅰ
30	木花	67	産学・地域連携センター(1)(南側)	1,178	2,013	1996	R	2	0	602	0	2	24	20	20	10	50	有	2023	15,050	南側	C	Ⅱ
30	木花	73	総合研究棟	750	1,421	2001	R	2	0	750	0	1	19	20	10	20	50	有	2025	18,750		C	Ⅰ
30	木花	64	国際交流会館単身者棟(東側)	706	4,227	1992	R	8	0	396	0	3	28	20	25	0	45	無		9,900		C	Ⅳ
30	木花	64	国際交流会館単身者棟(西側)	0	0	1994	R	8	0	154	0	3	26	20	25	0	45	無		3,850		C	Ⅳ
30	木花	65	国際交流会館夫婦・家族棟	129	460	1994	R	4	0	129	0	3	26	20	25	0	45	無		3,225		C	Ⅳ
3	船塚２	79	木犀会館	132	132	1989	W	1	0	132	0	3	31	10	30	0	40	無				C	－
9	住吉	52	乾草給与場	205	205	1978	S	1	0	205	0	3	42	0	40	0	40	無				B	Ⅲ
11	花殿	38	附属中学校体育館	1,219	1,996	1996	R	2	0	1,219	0	1	24	0	20	20	40	無				A	Ⅰ
13	赤水	2	灌水増殖実験室	135	135	1973	S	1	0	135	0	3	47	0	40	0	40	無				A	－
13	赤水	3	ポンプ室	20	20	1973	R	1	0	20	0	3	47	0	40	0	40	無				B	－
14	大納	3	作業員詰所	42	42	1983	S	1		42	0	3	37	10	30	0	40	無				C	－
14	大納	4	便所	1	1	1983	B	1		1	0	3	37	10	30	0	40	無				C	－
30	木花	18	危険物薬品貯蔵庫	42	42	1985	R	1	0	42	0	3	35	10	30	0	40	無				C	－
30	木花	38	機械室	30	30	1986	S	1	0	30	0	3	34	10	30	0	40	無				C	－
30	木花	56	廃液貯蔵庫	81	81	1989	R	1	0	81	0	3	31	10	30	0	40	無				C	－
30	木花	72	工学部Ｅ棟	478	3,514	2000	R	8	0	478	0	1	20	0	20	20	40	無				A	Ⅰ
32	木原２	1	水田作業舎	250	250	1987	S	1		250	0	3	33	10	30	0	40	無				C	Ⅲ
9	住吉	64	車庫	40	40	1985	B	1	0	40	0	3	35	0	30	0	30	無				B	－
11	花殿	20	附属小学校教室２号	1,186	2,873	1970	R	3	0	887	2005	1	15	0	10	20	30	無				A	Ⅰ
11	花殿	32	ガラス温室	35	35	1981	B	1	0	35	0	3	39	0	30	0	30	無			対象外	A	－
30	木花	9	ガラス室	30	30	1985	S	1	0	30	0	3	35	0	30	0	30	無			対象外	A	－
30	木花	10	ポンプ室	24	24	1985	R	1	0	24	0	3	35	0	30	0	30	無				A	－
30	木花	11	農林水理実験棟	231	231	1985	S	1	0	231	0	3	35	0	30	0	30	無				A	Ⅲ
30	木花	12	木材食品加工実験実習車庫棟	347	347	1985	S	1	0	347	0	3	35	0	30	0	30	無				A	Ⅲ
30	木花	13	農業工学実験棟	694	694	1985	S	1	0	694	0	3	35	0	30	0	30	無				A	Ⅲ
30	木花	14	実験温室	63	63	1985	S	1	0	63	0	3	35	0	30	0	30	無			対象外	A	－
30	木花	15	実験温室	63	63	1985	S	1	0	63	0	3	35	0	30	0	30	無			対象外	A	－
30	木花	16	実験温室	63	63	1985	S	1	0	63	0	3	35	0	30	0	30	無			対象外	A	－
30	木花	17	ボイラ室	11	11	1985	R	1	0	11	0	3	35	0	30	0	30	無				B	－
30	木花	24	危険物薬品庫	20	20	1986	R	1	0	20	0	3	34	0	30	0	30	無				B	－
30	木花	25	高電圧実験棟	205	205	1986	S	1	0	205	0	3	34	0	30	0	30	無				A	Ⅲ
30	木花	26	土木工学実験実習棟	939	937	1986	S	1	0	939	0	3	34	0	30	0	30	無				A	Ⅲ

屋根防水改修整備計画【優先順位表】

2016年6月作成
2019年8月見直し

団地概要										防水改修													(参考)インフラ長寿命化	
団地番号	団地名	棟番号	棟名称	建築面積	延べ面積	建築年	構造	地上階	地下階	防水面積	防水改修年	用途区分	経過年数	劣化評点	経年評点	用途評点	総合評点	改修の必要性	改修予定年度	改修費用概算(千円) 単価:2.5万円/㎡	備考	建物カルテ評価	施設重要度(Ⅰ:高)
30	木花	29	ポンプ室	11	11	1986	R	1	0	11	0	3	34	0	30	0	30	無				B	－
30	木花	30	超波計測室	16	16	1986	B	1	0	16	0	3	34	0	30	0	30	無				B	－
30	木花	35	標本植物温室	370	370	1986	S	1	0	370	0	3	34	0	30	0	30	無			対象外	B	－
30	木花	36	土耕ガラス温室	50	50	1986	S	1	0	50	0	3	34	0	30	0	30	無			対象外	B	－
30	木花	37	水耕温室	302	302	1986	S	1	0	302	0	3	34	0	30	0	30	無			対象外	A	－
30	木花	45	課外活動施設(体育・文化)	575	1,301	1988	R	3	0	575	0	3	32	0	30	0	30	無				B	Ⅲ
30	木花	46	危険物薬品庫	12	12	1988	R	1	0	12	0	3	32	0	30	0	30	無				B	－
30	木花	47	農場倉庫	57	57	1988	S	1	0	57	0	3	32	0	30	0	30	無				B	－
30	木花	48	温室	42	42	1988	S	1	0	42	0	3	32	0	30	0	30	無			対象外	A	－
30	木花	52	土耕温室	302	302	1988	S	1	0	302	0	3	32	0	30	0	30	無			対象外	A	－
30	木花	55	門衛所	64	64	1989	R	1	0	64	0	3	31	0	30	0	30	無				B	－
30	木花	57	課外活動施設(音系)	279	279	1989	R	1	0	279	0	3	31	0	30	0	30	無				B	Ⅲ
30	木花	58	弓道場	120	120	1989	S	1	0	120	0	3	31	0	30	0	30	無				B	－
30	木花	59	プール付属室	216	216	1989	R	1	0	216	0	3	31	0	30	0	30	無				B	－
30	木花	67	産学・地域連携センター(2)(北側)	0	0	2002	R	2	0	541	0	2	18	10	10	10	30	無			北側	C	Ⅱ
50	清武１	5	福利施設	896	2,038	1976	R	3	0	896	2008	1	12	10	0	20	30	無				C	Ⅱ
50	清武１	6	体育館	1,148	1,148	1976	R	1	0	1,148	2020	1	0	10	0	20	30	無				C	Ⅲ
50	清武１	24	総合教育研究棟	1,899	8,581	2003	R	7	0	1,899	0	1	17	0	10	20	30	無				A	Ⅰ
30	木花	62	育苗用温室	32	32	1991	S	1	0	32	0	3	29	0	25	0	25	無			対象外	A	－
30	木花	63	ガスメータ室	7	7	1992	R	1	0	7	0	3	28	0	25	0	25	無				A	－
3	船塚２	80	幼稚園舎	1,028	883	1993	R	1	0	1,028	2013	1	7	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
10	田野	9	事務所	484	758	1972	R	2	0	484	2010	1	10	0	0	20	20	無			2020年遮熱塗装	B	Ⅰ
11	花殿	1	附属中学校教室1号(平屋部)	2,071	4,111	1960	R	2	0	500	2010	1	10	0	0	20	20	無				B	Ⅰ
11	花殿	1	附属中学校教室1号(3階建部)			1960	R	2	0	1,536	2015	1	5	0	0	20	20	無				B	Ⅰ
11	花殿	1	附属中学校教室2号			1960	R	2	0	1,058	2015	1	5	0	0	20	20	無				B	Ⅰ
11	花殿	22	附属小学校教室１号	767	1,881	1964	R	3	0	767	2009	1	11	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
11	花殿	34	附属中学校校舎	341	1,027	1981	R	3	0	220	2015	1	5	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
11	花殿	34	附属中学校校舎			2003	R	3	0	121	2015	1	5	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
11	花殿	37	附属小学校体育館	1,042	976	1996	R	1	0	1,042	2015	1	5	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
13	赤水	1	附属水産実験所施設棟	478	914	1973	R	2	0	478	2013	1	7	0	0	20	20	無				A	Ⅱ
30	木花	1	(農) 北棟	3,229	19,543	1984	R	7	0	1,192	2009	1	11	0	0	20	20	無			2019年、2020年の改修は遮熱塗装のみ	A	Ⅰ
30	木花	1	(農) 南棟			1984	R	7	0	1,246	2009	1	11	0	0	20	20	無				B	Ⅰ
30	木花	1	(農) 講義棟			1984	R	7	0	891	2009	1	11	0	0	20	20	無				B	Ⅰ
30	木花	2	(農) 獣医棟	640	3,524	1984	R	5	0	640	2009	1	11	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
30	木花	3	福利施設棟(1)	1,525	3,458	1984	R	2	0	1,100	2009	1	11	0	0	20	20	無				A	Ⅱ
30	木花	3	福利施設棟(2)			1987	R	2	0	465	2007	1	13	0	0	20	20	無				A	Ⅱ
30	木花	4	中央機械室棟	423	423	1984	R	1	0	423	2019	1	1	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
30	木花	5	動物病院	913	1,634	1985	R	2	0	913	2012	1	8	0	0	20	20	無				A	－
30	木花	20	工学部Ａ棟(1)西	1,365	8,030	1986	R	6	0	799	2010	1	10	0	0	20	20	無				B	Ⅰ
30	木花	20	工学部Ａ棟(2)中央	0	0	1988	R	6	0	295	2011	1	9	0	0	20	20	無				B	Ⅰ
30	木花	20	工学部Ａ棟(3)東	0	0	1993	R	6	0	254	2011	1	9	0	0	20	20	無				B	Ⅰ
30	木花	21	工学部Ｃ棟	891	5,398	1986	R	6	0	891	2010	1	10	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
30	木花	22	工学部Ｂ棟(1)北	1,465	2,548	1986	R	2	0	1,058	2011	1	9	0	0	20	20	無				B	Ⅰ
30	木花	22	工学部Ｂ棟(2)南	0	0	1993	R	2	0	372	2011	1	9	0	0	20	20	無				B	Ⅰ
30	木花	31	情報基盤センター(1)(南側)	662	1,254	1986	R	2	0	442	2011	1	9	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
30	木花	31	情報基盤センター(2)(北側)	0	0	1993	R	2	0	223	2011	1	9	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
30	木花	40	体育館	2,852	3,296	1987	R	2	0	615	2012	1	8	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
30	木花	42	附属図書館	1,829	4,977	1987	R	3	0	1,829	2010	1	10	0	0	20	20	無			2020年遮熱塗装	A	Ⅰ
30	木花	43	(教) 実験研究棟	1,931	12,705	1987	R	7	0	1,931	2010	1	10	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
30	木花	49	美術棟	1,058	1,469	1988	R	2	0	1,058	2012	1	8	0	0	20	20	無				A	Ⅱ
30	木花	50	技術・家庭棟	1,705	2,551	1988	R	2	0	1,705	2013	1	7	0	0	20	20	無				A	Ⅱ
30	木花	51	音楽棟	962	1,615	1988	R	2	0	962	2008	1	12	0	0	20	20	無				A	Ⅱ
30	木花	54	(教) 講義棟	2,292	6,221	1988	R	4	0	2,292	2010	1	10	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
30	木花	70	乱流風洞実験棟	240	240	1997	R	1	0	240	0	3	23	0	20	0	20	無				A	Ⅲ
30	木花	83	発電機室A	39	39	2014	S	1		39	0	1	6	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
30	木花	84	発電機室B	31	31	2014	S	1		31	0	1	6	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
30	木花	85	発電機室C	31	31	2014	S	1		31	0	1	6	0	0	20	20	無				A	Ⅰ

屋根防水改修整備計画【優先順位表】

2016年6月作成
2019年8月見直し

団地概要										防水改修													(参考)インフラ長寿命化	
団地番号	団地名	棟番号	棟名称	建築面積	延べ面積	建築年	構造	地上階	地下階	防水面積	防水改修年	用途区分	経過年数	劣化評点	経年評点	用途評点	総合評点	改修の必要性	改修予定年度	改修費用概算(千円) 単価:2.5万円/㎡	備考	建物カルテ評価	施設重要度(Ⅰ:高)
30	木花	87	防災倉庫	199	199	2014	S	1		199	0	1	6	0	0	20	20	無				A	－
30	木花	88	創立330記念交流会館	1,673	1,670	2014	W	1		1,673	0	1	6	0	0	20	20	無				A	Ⅱ
30	木花	92	地域デザイン講座棟	354	238	2017	S	1		238	0	1	3	0	0	20	20	無				A	Ⅱ
50	清武１	1	講義実習棟	1,920	6,582	1975	R	4	0	1,920	2013	1	7	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
50	清武１	2	基礎臨床研究棟	1,364	9,676	1976	R	7	0	1,364	2013	1	7	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
50	清武１	3	附属病院	12,344	45,602	1977	R	7	0	12,262	2010	1	10	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
50	清武１	4	基礎臨床研究棟	1,243	7,481	1977	R	7	0	1,243	2014	1	6	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
50	清武１	7	中央機械室	1,828	1,860	1976	R	1	0	1,828	2007	1	13	0	0	20	20	無				B	Ⅰ
50	清武１	10	フロンティア（ＲＩ清武分室）	691	1,783	1977	R	3	0	691	2002	2	18	0	10	10	20	無				B	Ⅱ
50	清武１	12	図書館	854	1,908	1978	R	2	0	854	2019	1	1	0	0	20	20	無				A	Ⅱ
50	清武１	15	フロンティア（生物資源分野）	312	960	1980	R	3	0	312	2002	2	18	0	10	10	20	無				A	Ⅱ
50	清武１	19	フロンティア（生物資源分野）	320	1,092	1983	R	4	0	320	2002	2	18	0	10	10	20	無				A	Ⅱ
50	清武１	20	臨床研究棟	450	1,302	1988	R	3	0	450	2013	1	7	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
50	清武１	21	ＭＲＩ－ＣＴ装置	431	468	1989	R	1	0	431	2012	1	8	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
50	清武１	22	フロンティア（生物資源分野）	215	510	1992	R	3	0	189	2002	2	18	0	10	10	20	無				A	Ⅱ
50	清武１	23	ＭＲＩ－ＣＴ装置	132	162	1996	R	2	0	132	2012	1	8	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
50	清武１	25	中央診療棟	1,942	5,712	2007	R	4	0	1,942	0	1	13	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
50	清武１	26	立体駐車場	3,439	6,845	2007	S	2	0	3,439	0	1	13	0	0	20	20	無				A	Ⅲ
50	清武１	27	カルテ庫	154	153	2009	S	1	0	154	0	1	11	0	0	20	20	無				A	－
50	清武１	28	外来診療棟	3,043	8,650	2010	R	3	0	3,043	0	1	10	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
50	清武１	30	格納庫	270	270	2011	S	1	0	270	0	1	9	0	0	20	20	無				A	Ⅲ
50	清武１	31	待機室	58	58	2011	S	1	0	58	0	1	9	0	0	20	20	無				A	－
50	清武１	34	救命救急ヘリポート棟	569	1,704	2013	R	3	0	335	0	1	7	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
50	清武１	34	救命救急リポート棟	0	0	2013	S	5	0	234	0	1	7	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
50	清武１	35	発電機室	49	49	2013	S	1	0	49	0	1	7	0	0	20	20	無				A	Ⅰ
50	清武１	37	カルテ倉庫	280	280	2014	S	1	0	280	0	1	6	0	0	20	20	無				A	Ⅲ
50	清武１	38	防災倉庫	93	93	2014	S	1	0	93	0	1	6	0	0	20	20	無				A	－
50	清武１	39	防災倉庫	115	212	2014	S	2	0	115	0	1	6	0	0	20	20	無				A	－
50	清武１	40	実験廃水管理棟	36	36	2017	S	1	0	36	0	1	3	0	0	20	20	無				A	－
51	清武２	12	保育施設	252	225	2007	S	1	0	252	0	1	13	0	0	20	20	無				A	Ⅳ
53	田野２	1	宮崎市介護老人保健施設さざんか苑	1,067	1,885	1991	R	3	0	1,067	2013	1	7	0	0	20	20	無			指定管理者	A	－
53	田野２	2	宮崎市立田野病院	2,235	4,129	2012	R	1	0	2,235	0	1	8	0	0	20	20	無			指定管理者	A	－
9	住吉	55	試験畜舎	439	362	1979	S	1	0	439	2001	3	19	0	10	0	10	無				A	Ⅲ
9	住吉	56	子牛舎及び衛生室	681	681	1979	S	1	0	681	2018	3	2	10	0	0	10	無				C	Ⅲ
9	住吉	63	短期宿泊施設	240	390	1981	R	2	0	240	2005	3	15	0	10	0	10	無				A	Ⅰ
9	住吉	65	糞尿再生処理施設	149	149	2005	S	1	0	149	0	3	15	0	10	0	10	無				A	－
9	住吉	66	肥育牛舎	597	597	2005	S	1	0	597	0	3	15	0	10	0	10	無				A	Ⅲ
30	木花	7	環境制御動物実験棟	130	130	1985	S	1	0	130	2003	3	17	0	10	0	10	無				B	Ⅲ
30	木花	32	事務局棟	951	3,228	1986	R	4	0	941	2010	2	10	0	0	10	10	無				A	Ⅱ
30	木花	33	農業博物館(1)	417	766	1986	R	2	0	240	2007	2	13	0	0	10	10	無				A	Ⅲ
30	木花	33	農業博物館(2)	0	0	1989	R	2	0	178	2007	2	13	0	0	10	10	無				A	Ⅲ
30	木花	39	フロンティア（ＲＩ木花分室）	311	367	1987	R	2	0	311	2010	2	10	0	0	10	10	無				B	Ⅱ
30	木花	68	創造プロジェクト棟	467	819	1996	R	2	0	467	2015	2	5	0	0	10	10	無				A	Ⅱ
30	木花	69	産学（機器分析支援施設）	385	1,114	1997	R	3	0	385	2019	2	1	0	0	10	10	無				A	Ⅱ
30	木花	71	フロンティア（遺伝資源分野）	382	1,510	1999	R	4	0	382	2017	2	3	0	0	10	10	無				A	Ⅱ
30	木花	80	産業動物研究センター	541	1,125	2013	R	2	0	541	0	2	7	0	0	10	10	無				A	Ⅱ
30	木花	86	イスラーム文化研究棟交流棟	79	79	2014	S	1		79	0	2	6	0	0	10	10	無				A	－
50	清武１	8	看護師宿舎	551	2,428	1977	R	6	0	551	2007	3	13	10	0	0	10	無				C	Ⅲ
50	清武１	14	倉庫	138	276	1980	S	2	0	138	2002	3	18	0	10	0	10	無				A	Ⅲ
50	清武１	29	外来管理棟	455	1,297	2010	S	3	0	455	0	2	10	0	0	10	10	無				A	Ⅱ
51	清武２	4	職員宿舎（１棟）	207	1,037	1977	R	5	0	207	2001	3	19	0	10	0	10	無				A	Ⅳ
51	清武２	5	職員宿舎（２棟）	406	2,030	1977	R	5	0	406	2004	3	16	0	10	0	10	無				B	Ⅳ
51	清武２	7	職員宿舎（４棟）	270	1,354	1977	R	5	0	270	2004	3	16	0	10	0	10	無				B	Ⅳ
52	清武３	1	職員宿舎（Ａ棟）	475	1,900	1974	R	4	0	475	2003	3	17	0	10	0	10	無				B	Ⅳ
52	清武３	2	職員宿舎（Ｂ棟）	373	1,492	1974	R	4	0	373	2004	3	16	0	10	0	10	無				A	Ⅳ
3	船塚２	81	便所・倉庫	30	30	2008	S	1	0	30	0	3	12	0	0	0	0	無				A	－
9	住吉	67	豚舎	363	339	2015	S	1		363	0	3	5	0	0	0	0	無				A	Ⅲ

屋根防水改修整備計画【優先順位表】

2016年6月作成
2019年8月見直し

団地概要										防水改修													(参考)インフラ長寿命化	
団地番号	団地名	棟番号	棟名称	建築面積	延べ面積	建築年	構造	地上階	地下階	防水面積	防水改修年	用途区分	経過年数	劣化評点	経年評点	用途評点	総合評点	改修の必要性	改修予定年度	改修費用概算(千円) 単価:2.5万円㎡	備考	建物カルテ評価	施設重要度(Ⅰ:高)
9	住吉	68	堆肥舎	214	198	2015	S	1		214	0	3	5	0	0	0	0	無				A	
9	住吉	69	豚舎2	64	64	2020	W	1	0	64	0	3	0	0	0	0	0	無				A	－
11	花殿	2	陶芸室	40	40	1971	R	1	0	40	2013	3	7	0	0	0	0	無				A	－
11	花殿	29	プール付属室（附小）	60	60	1972	B	1	0	60	2012	3	8	0	0	0	0	無				A	－
11	花殿	31	プール付属室（附中）	192	192	1966	R	1	0	192	2006	3	14	0	0	0	0	無				A	－
11	花殿	39	工作室	29	29	2008	S	1	0	29	0	3	12	0	0	0	0	無				A	－
30	木花	6	動物舎	244	209	1985	S	1	0	244	2008	3	12	0	0	0	0	無				A	Ⅲ
30	木花	8	暖地草地生産利用実験棟	151	298	1985	S	2	0	151	2012	3	8	0	0	0	0	無				A	Ⅲ
30	木花	23	電気機器実験棟・車庫	308	308	1986	S	1	0	308	2015	3	5	0	0	0	0	無				A	Ⅲ
30	木花	27	機械工学実験実習棟	415	413	1986	S	1	0	415	2010	3	10	0	0	0	0	無				A	Ⅲ
30	木花	28	機械実習工場	648	648	1986	S	1	0	648	2010	3	10	0	0	0	0	無				A	Ⅲ
30	木花	44	男子寄宿舎	459	1,887	1988	B	5	0	459	2010	3	10	0	0	0	0	無				A	Ⅳ
30	木花	60	女子寄宿舎	472	1,804	1990	R	5	0	472	2009	3	11	0	0	0	0	無				A	Ⅳ
30	木花	61	厩舎	140	140	1991	S	1	0	140	2007	3	13	0	0	0	0	無				B	－
30	木花	74	検収センター	56	55	2010	S	1	0	56	0	3	10	0	0	0	0	無				A	－
30	木花	75	圃場管理棟	41	41	2009	S	1	0	41	0	3	11	0	0	0	0	無				A	－
30	木花	76	牛舎１	24	24	2011	S	1	0	24	0	3	9	0	0	0	0	無				A	－
30	木花	77	牛舎２	11	11	2011	S	1	0	11	0	3	9	0	0	0	0	無				A	－
30	木花	78	管理棟	40	40	2011	S	1	0	40	0	3	9	0	0	0	0	無				A	－
30	木花	79	大原事務所	25	25	2011	S	1	0	25	0	3	9	0	0	0	0	無			対象外	A	－
30	木花	81	更衣室棟	198	198	2013	R	1	0	198	0	3	7	0	0	0	0	無				A	－
30	木花	82	サークル棟	268	268	2013	S	1	0	268	0	3	7	0	0	0	0	無				A	－
30	木花	89	留学生宿舎	143	524	2015	R	4		143	0	3	5	0	0	0	0	無				A	Ⅳ
30	木花	90	多目的トイレ	7	7	2016	S	1		7	0	3	4	0	0	0	0	無				A	－
30	木花	91	車庫	57	57	2017	S	1		57	0	3	3	0	0	0	0	無				A	－
50	清武１	9	看護師宿舎	316	1,505	1977	R	6	0	316	2006	3	14	0	0	0	0	無				A	Ⅲ
50	清武１	13	看護師宿舎	332	1,632	1979	R	5	0	322	2007	3	13	0	0	0	0	無				B	Ⅲ
50	清武１	16	非常勤講師宿泊施設	158	237	1980	R	2	0	158	2010	3	10	0	0	0	0	無				A	Ⅳ
50	清武１	17	非常勤講師宿泊施設	99	183	1980	R	2	0	99	2010	3	10	0	0	0	0	無				A	Ⅳ
50	清武１	18	武道場	320	320	1981	S	1	0	320	2015	3	5	0	0	0	0	無				A	Ⅲ
50	清武１	32	油脂庫	24	24	2011	S	1	0	24	0	3	9	0	0	0	0	無				A	－
50	清武１	33	廃棄物保管庫	141	141	2012	S	1	0	141	0	3	8	0	0	0	0	無				A	－
50	清武１	36	サークル棟	152	152	2013	S	1	0	152	0	3	7	0	0	0	0	無				A	－
50	清武１	41	患者付添宿泊施設	112	112	2020	S	1	0	112	0	3	0	0	0	0	0	無				A	－
51	清武２	1	職員宿舎（Ｄ棟）	475	1,900	1975	R	4	0	475	2015	3	5	0	0	0	0	無				A	Ⅳ
51	清武２	2	職員宿舎（Ｅ棟）	373	1,492	1976	R	4	0	373	2015	3	5	0	0	0	0	無				A	Ⅳ
51	清武２	3	職員宿舎（Ｆ棟）	249	622	1976	R	3	0	249	2015	3	5	0	0	0	0	無				A	Ⅳ
51	清武２	6	職員宿舎（３棟）	270	1,354	1977	R	5	0	270	2015	3	5	0	0	0	0	無				A	Ⅳ
51	清武２	8	職員宿舎（５棟）	311	1,555	1978	R	5	0	311	2014	3	6	0	0	0	0	無				A	Ⅳ
52	清武３	3	職員宿舎（Ｃ棟）	373	1,492	1975	R	4	0	373	2011	3	9	0	0	0	0	無				B	Ⅳ
53	田野２	3	自動車車庫	138	235	2012	R	1	0	138	0	3	8	0	0	0	0	無			指定管理者	A	－
201	橘通	1	歯科口腔外科サテライト	126	126	2007	R	8	0	126	0	3	13	0	0	0	0	無	－	－	借用のため対象外	A	－
201	橘通	2	まちなかキャンパス	119	119	2017	S	5	0	119	0	3	3	0	0	0	0	無	－	－	借用のため対象外	A	－
	合計			107,224	288,266					105,368										183,100			

資料２－４．外壁改修整備計画

外壁改修整備計画【優先順位表】

2021年2月作成

団地概要								外壁改修　評価											備考	【参考】施設重要度
団地番号	団地名	棟番号	棟名称	延べ面積	建築年	構造	階数	外壁改修年	建物カルテ評価	用途区分	経過年数	劣化評点	経年評点	用途評点	総合評点	改修分類	改修予定年度	概算費用（千円）15千円/㎡		
51	清武２	5	職員宿舎（２棟）	2,030	1977	R	5	0	D	3	43	50	40	0	90	建物解体	2022	0	宿舎再編計画	宿舎
9	住吉	54	実験研究棟	704	1979	R	2	0	C	1	41	20	40	20	80	大規模改修時	2022	10,560	2022概算要求	Ⅰ
9	住吉	48	乳および肉加工室	277	1966	B	1	0	C	3	54	20	50	0	70	建物解体	2021	0	産業動物拠点整備	Ⅲ
9	住吉	49	乳牛舎	464	1968	S	1	0	C	3	52	20	50	0	70	建物解体	2022	0	産業動物拠点整備に伴う解体	Ⅲ
9	住吉	52	乾草給与場	205	1969	S	1	0	C	3	51	20	50	0	70	大規模改修時		3,075		Ⅲ
9	住吉	35	車輌庫	206	1970	S	1	0	C	3	50	20	50	0	70	大規模改修時		3,090		Ⅲ
30	木花	3	福利施設棟	3,458	1984	R	1	0	C	1	36	20	30	20	70	大規模改修時	2021	51,870		Ⅱ
30	木花	1	実験研究棟講義棟	19,543	1984	SR	7	0	C	1	36	20	30	20	70	大規模改修時	2019～2022	293,145	農学部改修Ⅰ～Ⅳ期	Ⅰ
51	清武２	1	職員宿舎（Ｄ棟）	1,900	1975	R	4	0	C	3	45	20	40	0	60	建物解体	2024	0		宿舎
50	清武１	7	中央機械室	1860	1976	R	1	0	A	1	44	0	40	20	60	大規模改修時		27,900		病院
50	清武１	5	福利施設	2,038	1976	R	3	0	A	1	44	0	40	20	60	大規模改修時		30,570		Ⅱ
50	清武１	6	体育館	1,148	1976	R	1	0	A	1	44	0	40	20	60	大規模改修時		17,220		Ⅲ
51	清武２	2	職員宿舎（Ｅ棟）	1,492	1976	R	4	0	C	3	44	20	40	0	60	建物解体	2024	22,380		宿舎
51	清武２	3	職員宿舎（Ｆ棟）	622	1976	R	3	0	C	3	44	20	40	0	60	建物解体	2024	9,330		宿舎
9	住吉	53	繁殖牛舎	496	1978	S	1	0	C	3	42	20	40	0	60	大規模改修時		7,440		Ⅲ
9	住吉	57	第２車輌庫・火力乾燥	677	1979	S	1	0	C	3	41	20	40	0	60	大規模改修時		10,155		Ⅲ
9	住吉	56	子牛舎及び衛生室	681	1979	S	1	0	C	3	41	20	40	0	60	大規模改修時		10,215		Ⅲ
30	木花	2	実験研究棟（獣医）	3,524	1984	R	5	0	B	1	36	10	30	20	60	大規模改修時		52,860	農学部改修Ⅴ期	Ⅰ
30	木花	4	中央機械室棟	423	1984	R	1	0	B	1	36	10	30	20	60	大規模改修時		6,345		Ⅰ
30	木花	20	工学部Ａ棟	8,030	1986	SR	6	0	B	1	34	10	30	20	60	大規模改修時	2024 2027	120,450	戦略的リノベーション計画	Ⅰ
30	木花	21	工学部Ｃ棟	5,398	1986	SR	6	0	B	1	34	10	30	20	60	大規模改修時	2026	80,970	戦略的リノベーション計画	Ⅰ
30	木花	31	情報基盤センター	1,254	1986	R	2	0	B	1	34	10	30	20	60	大規模改修時		18,810		Ⅰ
30	木花	43	実験研究棟	12,705	1987	SR	7	0	B	1	33	10	30	20	60	大規模改修時	2028～	190,575	戦略的リノベーション計画	Ⅰ
30	木花	40	体育館	3,296	1987	R	2	0	B	1	33	10	30	20	60	大規模改修時	2022	49,440	2022概算要求	Ⅰ
30	木花	53	廃液処理施設棟	92	1988	R	1	0	B	1	32	10	30	20	60	大規模改修時		1,380		Ⅰ
52	清武３	1	職員宿舎（Ａ棟）	1,900	1974	R	4	2005	D	3	15	50	10	0	60	建物解体	2026	0	宿舎再編計画	宿舎
9	住吉	55	試験畜舎	362	1979	S	1	0	B	3	41	10	40	0	50	大規模改修時		5,430		Ⅲ
9	住吉	63	短期宿泊施設	390	1981	R	2	0	C	3	39	20	30	0	50	大規模改修時		5,850	2022概算要求	Ⅰ
11	花殿	35	附属小学校校舎	1,274	1982	R	3	0	A	1	38	0	30	20	50	大規模改修時		19,110		Ⅰ
30	木花	19	農場管理棟	971	1984	R	2	0	B	2	36	10	30	10	50	大規模改修時		14,565	農学部改修Ⅴ期	Ⅰ
30	木花	5	動物病院	1,634	1985	R	2	0	A	1	35	0	30	20	50	大規模改修時	2023	24,510	農学部改修Ⅴ期	病院
30	木花	34	大型及び小型機械棟	590	1986	S	1	0	C	3	34	20	30	0	50	大規模改修時		8,850	農学部改修Ⅴ期	Ⅲ
30	木花	22	工学部Ｂ棟	2,548	1986	R	2	0	A	1	34	0	30	20	50	大規模改修時		38,220	戦略的リノベーション計画	Ⅰ
32	木原２	1	水田作業舎	250	1987	S	1	0	C	3	33	20	30	0	50	大規模改修時		3,750		Ⅲ
50	清武１	20	臨床研究棟	1,302	1988	R	3	0	A	1	32	0	30	20	50	大規模改修時		19,530		Ⅰ
50	清武１	21	ＭＲＩ－ＣＴ装置棟	468	1989	R	1	0	A	1	31	0	30	20	50	大規模改修時		7,020		病院
11	花殿	38	附属中学校体育館	1,996	1996	R	2	0	B	1	24	10	20	20	50	長寿命化促進	2021	29,940		Ⅰ
30	木花	67	産学・地域連携センター（産学・地域連携施設）	2,013	1996	R	2	0	C	2	24	20	20	10	50	長寿命化促進	2022	30,195		Ⅱ
11	花殿	37	附属小学校体育館	976	1996	R	1	0	B	1	24	10	20	20	50	長寿命化促進	2021	14,640		Ⅰ
52	清武３	3	職員宿舎（Ｃ棟）	1,492	1975	R	4	2009	D	3	11	50	0	0	50	建物解体	2026	0	宿舎再編計画	宿舎
30	木花	66	教育協働開発センター	534	1994	R	2	0	B	2	26	10	25	10	45	長寿命化促進	2022	8,010		Ⅱ
9	住吉	58	堆肥舎	395	1980	S	1	0	A	3	40	0	40	0	40	大規模改修時		5,925		Ⅲ
50	清武１	14	倉庫	276	1980	S	2	0	A	3	40	0	40	0	40	大規模改修時		4,140		病院
50	清武１	18	武道場	320	1981	S	1	0	B	3	39	10	30	0	40	大規模改修時		4,800		Ⅲ
30	木花	7	環境制御動物実験棟	130	1985	S	1	0	B	3	35	10	30	0	40	大規模改修時		1,950	農学部改修Ⅴ期	Ⅲ
30	木花	28	機械実習工場	648	1986	S	1	0	B	3	34	10	30	0	40	大規模改修時		9,720		Ⅲ
30	木花	32	事務局棟	3,228	1986	R	4	0	A	2	34	0	30	10	40	長寿命化促進	2021～	48,420		Ⅱ
30	木花	39	フロンティア科学実験総合センター（ＲＩ木花分室）	367	1987	R	2	0	A	2	33	0	30	10	40	大規模改修時		5,505		Ⅱ
30	木花	45	課外活動施設	1,301	1988	R	3	0	B	3	32	10	30	0	40	大規模改修時		19,515		Ⅲ

団地概要								外壁改修　評価											備考	【参考】施設重要度
団地番号	団地名	棟番号	棟名称	延べ面積	建築年	構造	階数	外壁改修年	建物カルテ評価	用途区分	経過年数	劣化評点	経年評点	用途評点	総合評点	改修分類	改修予定年度	概算費用（千円）15千円/㎡		
30	木花	57	課外活動施設	279	1989	R	1	0	B	3	31	10	30	0	40	大規模改修時		4,185		Ⅲ
50	清武１	23	ＭＲＩ－ＣＴ装置棟	162	1996	R	2	0	A	1	24	0	20	20	40	大規模改修時		2,430		病院
50	清武１	1	講義実習棟	6,582	1975	R	4	1996	A	1	24	0	20	20	40	大規模改修時		98,730		Ⅰ
30	木花	68	創造プロジェクト棟	819	1996	R	2	0	B	2	24	10	20	10	40	長寿命化促進	2023	12,285		Ⅱ
30	木花	69	産学・地域連携センター（機器分析支援施設）	1,114	1997	R	3	0	B	2	23	10	20	10	40	長寿命化促進	2023	16,710		Ⅱ
30	木花	72	工学部Ｅ棟	3,514	2000	SR	8	0	A	1	20	0	20	20	40	長寿命化促進	2024	52,710		Ⅰ
50	清武１	10	フロンティア科学実験総合センター（Ｒ１清武分室）	1783	1977	R	3	2002	C	2	18	20	10	10	40	長寿命化促進	2026	26,745		Ⅱ
50	清武１	19	フロンティア科学実験総合センター（生物資源分野）	1,092	1983	R	4	2002	C	2	18	20	10	10	40	長寿命化促進	2025	16,380		Ⅱ
11	花殿	1	附属中学校教室1･2号	4,111	1960	R	2	2004	B	1	16	10	10	20	40			61,665		Ⅰ
11	花殿	34	附属中学校校舎	1,027	1981	R	3	2004	B	1	16	10	10	20	40			15,405		Ⅰ
30	木花	54	講義棟	6,221	1988	R	4	2010	C	1	10	20	0	20	40			93,315		Ⅰ
10	田野１	9	事務所	758	1972	R	2	2020	C	1	0	20	0	20	40			11,370		Ⅰ
30	木花	64	国際交流会館単身者棟	4,227	1992	SR	8	0	B	3	28	10	25	0	35			63,405		宿舎
50	清武１	8	看護師宿舎	2428	1977	R	6	1993	B	3	27	10	25	0	35			36,420		病院
30	木花	65	国際交流会館夫婦・家族棟	460	1994	R	4	0	B	3	26	10	25	0	35			6,900		宿舎
30	木花	11	農林水理実験棟	231	1985	S	1	0	A	3	35	0	30	0	30			3,465	農学部改修Ｖ期	Ⅲ
30	木花	12	木材食品加工実験実習車庫棟	347	1985	S	1	0	A	3	35	0	30	0	30			5,205	農学部改修Ｖ期	Ⅲ
30	木花	8	暖草地生産利用実験棟	298	1985	S	2	0	A	3	35	0	30	0	30			4,470	農学部改修Ｖ期	Ⅲ
30	木花	26	土木工学実験実習棟	937	1986	S	1	0	A	3	34	0	30	0	30			14,055		Ⅲ
30	木花	27	機械工学実験実習棟	413	1986	S	1	0	A	3	34	0	30	0	30			6,195		Ⅲ
30	木花	44	男子寄宿舎	1,887	1988	B	5	0	A	3	32	0	30	0	30			28,305		宿舎
30	木花	60	女子寄宿舎	1,804	1990	R	5	0	A	3	30	0	30	0	30			27,060		宿舎
30	木花	70	乱流風洞実験棟	240	1997	R	1	0	B	3	23	10	20	0	30			3,600		Ⅲ
30	木花	71	フロンティア科学実験総合センター（遺伝資源分野）	1,510	1999	R	4	0	A	2	21	0	20	10	30			22,650		Ⅱ
30	木花	73	総合研究棟	1,421	2001	R	2	0	A	1	19	0	10	20	30			21,315		Ⅰ
13	赤水	1	附属水産実験所施設棟	914	1973	R	2	2013	B	1	7	10	0	20	30			13,710		Ⅱ
50	清武１	15	フロンティア科学実験総合センター（生物資源分野）	960	1980	R	3	2002	A	2	18	0	10	10	20	長寿命化促進	2025	14,400		Ⅱ
50	清武１	22	フロンティア科学実験総合センター（Ｒ１清武分室）	510	1992	R	3	2002	A	2	18	0	10	10	20	長寿命化促進	2026	7,650		Ⅱ
50	清武１	25	中央診療棟	5,712	2007	R	4	0	A	1	13	0	0	20	20			85,680		病院
50	清武１	26	立体駐車場	6,845	2007	S	2	0	A	1	13	0	0	20	20			102,675		病院
51	清武２	12	保育施設	225	2007	S	1	0	A	1	13	0	0	20	20			3,375		宿舎
11	花殿	20	附属小学校教室２号	2,873	1970	R	3	2009	A	1	11	0	0	20	20			43,095		Ⅰ
11	花殿	22	附属小学校教室１号	1881	1964	R	3	2009	A	1	11	0	0	20	20			28,215		Ⅰ
30	木花	51	音楽棟	1,615	1988	R	2	2010	A	1	10	0	0	20	20			24,225		Ⅱ
50	清武１	28	外来診療棟	8,650	2010	R	3	0	A	1	10	0	0	20	20			129,750		病院
50	清武１	30	格納庫	270	2011	S	1	0	A	1	9	0	0	20	20			4,050		病院
30	木花	49	美術棟	1,469	1988	R	2	2012	A	1	8	0	0	20	20			22,035		Ⅱ
3	船塚２	80	幼稚園舎	883	1993	R	1	2013	A	1	7	0	0	20	20			13,245		Ⅰ
30	木花	50	技術・家庭棟	2,551	1988	R	2	2013	A	1	7	0	0	20	20			38,265		Ⅱ
50	清武１	2	基礎臨床研究棟	9,676	1976	SR	7	2013	A	1	7	0	0	20	20			145,140		Ⅰ
50	清武１	3	附属病院	45,602	1977	SR	7	2013	A	1	7	0	0	20	20			684,030		病院
50	清武１	34	救命救急センターヘリポート棟	1,704	2013	R	3	0	A	1	7	0	0	20	20			25,560		病院
50	清武１	35	発電機室	49	2013	S	1	0	A	1	7	0	0	20	20			735		Ⅰ
30	木花	83	発電機室Ａ	39	2014	S	1	0	A	1	6	0	0	20	20			585		Ⅰ
30	木花	84	発電機室Ｂ	31	2014	S	1	0	A	1	6	0	0	20	20			465		Ⅰ
30	木花	85	発電機室Ｃ	31	2014	S	1	0	A	1	6	0	0	20	20			465		Ⅰ
30	木花	88	創立３３０記念交流会館	1,670	2014	W	1	0	A	1	6	0	0	20	20			25,050		Ⅱ
50	清武１	4	基礎臨床研究棟	7,481	1977	SR	7	2014	A	1	6	0	0	20	20			112,215		Ⅰ
50	清武１	37	カルテ倉庫	280	2014	S	1	0	A	1	6	0	0	20	20			4,200		病院
30	木花	92	地域デザイン講座棟	238	2017	S	1	0	A	1	3	0	0	20	20			3,570		Ⅱ

団地概要								外壁改修　評価												【参考】施設重要度
団地番号	団地名	棟番号	棟名称	延べ面積	建築年	構造	階数	外壁改修年	建物カルテ評価	用途区分	経過年数	劣化評点	経年評点	用途評点	総合評点	改修分類	改修予定年度	概算費用（千円）15千円/㎡	備考	
30	木花	42	附属図書館	4,977	1987	R	3	2019	A	1	1	0	0	20	20			74,655		Ⅰ
50	清武１	12	図書館	1908	1978	R	2	2019	A	1	1	0	0	20	20			28,620		Ⅱ
50	清武１	24	総合教育研究棟	8,581	2003	SR	7	2020	A	1	0	0	0	20	20			128,715		Ⅰ
51	清武２	4	職員宿舎（１棟）	1,037	1977	R	5	2002	A	3	18	0	10	0	10	建物解体		0	宿舎再編計画	宿舎
51	清武２	7	職員宿舎（４棟）	1,354	1977	R	5	2004	A	3	16	0	10	0	10	建物解体		0	宿舎再編計画	宿舎
9	住吉	66	肥育牛舎	597	2005	S	1	0	A	3	15	0	10	0	10			8,955		Ⅲ
50	清武１	9	看護師宿舎	1,505	1977	R	6	2007	B	3	13	10	0	0	10			22,575		病院
50	清武１	13	看護師宿舎	1,632	1979	R	5	2007	B	3	13	10	0	0	10			24,480		病院
50	清武１	29	外来管理棟	1,297	2010	S	3	0	A	2	10	0	0	10	10			19,455		Ⅱ
30	木花	80	産業動物教育研究センター	1,125	2013	R	2	0	A	2	7	0	0	10	10			16,875		Ⅱ
30	木花	33	農業博物館	766	1986	R	2	2015	A	2	5	0	0	10	10			11,490		Ⅲ
30	木花	6	動物舎	209	1985	S	1	2008	A	3	12	0	0	0	0			3,135		病院
30	木花	23	電気機器実験棟・車庫	308	1986	S	1	2008	A	3	12	0	0	0	0			4,620		Ⅲ
30	木花	13	農業工学実験棟	694	1985	S	1	2009	A	3	11	0	0	0	0			10,410	農学部改修Ⅴ期	Ⅲ
52	清武３	2	職員宿舎（Ｂ棟）	1,492	1974	R	4	2009	A	3	11	0	0	0	0	建物解体		0	宿舎再編計画	宿舎
50	清武１	16	非常勤講師宿泊施設	237	1980	R	2	2010	A	3	10	0	0	0	0			3,555		宿舎
50	清武１	17	非常勤講師宿泊施設	183	1980	R	2	2010	A	3	10	0	0	0	0			2,745		宿舎
51	清武２	8	職員宿舎（５棟）	1,555	1978	R	5	2014	A	3	6	0	0	0	0			23,325		宿舎
9	住吉	67	豚舎	339	2015	S	1	0	A	3	5	0	0	0	0			5,085		Ⅲ
9	住吉	68	堆肥舎	198	2015	S	1	0	A	3	5	0	0	0	0			2,970		
30	木花	25	高電圧実験棟	205	1986	S	1	2015	A	3	5	0	0	0	0			3,075		Ⅲ
30	木花	89	留学生宿舎	524	2015	R	4	0	A	3	5	0	0	0	0			7,860		宿舎
51	清武２	6	職員宿舎（３棟）	1,354	1977	R	5	2015	A	3	5	0	0	0	0			20,310		宿舎
11	花殿	26	渡り廊下	69	1958	W	1	0	D	3	62	50	50	0	100	対象外(小規模)	－	0		－
9	住吉	36	乾草庫	103	1970	S	1	0	D	3	50	50	50	0	100	対象外(小規模)	－	0		－
11	花殿	13	ポンプ室	5	1956	R	1	0	C	3	64	20	50	0	70	対象外(小規模)	－	0		－
10	田野１	7	木材加工室	136	1959	W	1	0	C	3	61	20	50	0	70	対象外(小規模)	－	0		－
11	花殿	10	物置	3	1965	W	1	0	C	3	55	20	50	0	70	対象外(小規模)	－	0		－
9	住吉	47	搾乳室	125	1966	R	2	0	C	3	54	20	50	0	70	対象外(小規模)	－	0		－
9	住吉	50	バンガーサイロ	123	1968	S	1	0	C	3	52	20	50	0	70	対象外(小規模)	－	0		－
9	住吉	51	人工授精室	86	1969	R	1	0	C	3	51	20	50	0	70	対象外(小規模)	－	0		－
11	花殿	31	プール付属室	192	1966	R	1	0	B	3	54	10	50	0	60	対象外(小規模)	－	0		－
11	花殿	33	物置	10	1977	S	1	0	C	3	43	20	40	0	60	対象外(小規模)	－	0		－
10	田野１	18	車庫	96	1980	S	1	0	C	3	40	20	40	0	60	対象外(小規模)	－	0		－
14	大納	3	作業員詰所	42	1983	S	1	0	C	3	37	20	30	0	50	対象外(小規模)	－	0		－
14	大納	4	便所	1	1983	B	1	0	C	3	37	20	30	0	50	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	18	危険物薬品貯蔵庫	42	1985	R	1	0	C	3	35	20	30	0	50	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	35	標本植物温室	370	1986	S	1	0	C	3	34	20	30	0	50	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	38	機械室	30	1986	S	1	0	C	3	34	20	30	0	50	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	47	農場倉庫	57	1988	S	1	0	C	3	32	20	30	0	50	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	61	厩舎	140	1991	S	1	0	C	3	29	20	25	0	45	対象外(小規模)	－	0		－
13	赤水	2	灌水増殖実験室	135	1973	S	1	0	A	3	47	0	40	0	40	対象外(小規模)	－	0		－
13	赤水	3	ポンプ室	20	1973	R	1	0	A	3	47	0	40	0	40	対象外(小規模)	－	0		－
9	住吉	64	車庫	40	1985	B	1	0	B	3	35	10	30	0	40	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	17	ボイラ室	11	1985	R	1	0	B	3	35	10	30	0	40	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	24	危険物薬品庫	20	1986	R	1	0	B	3	34	10	30	0	40	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	29	ポンプ室	11	1986	R	1	0	B	3	34	10	30	0	40	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	30	超波計測室	16	1986	B	1	0	B	3	34	10	30	0	40	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	36	土耕ガラス温室	50	1986	S	1	0	B	3	34	10	30	0	40	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	41	器具庫	105	1987	R	1	0	B	3	33	10	30	0	40	対象外(小規模)	－	0		－

団地概要								外壁改修　評価												
団地番号	団地名	棟番号	棟名称	延べ面積	建築年	構造	階数	外壁改修年	建物カルテ評価	用途区分	経過年数	劣化評点	経年評点	用途評点	総合評点	改修分類	改修予定年度	概算費用（千円）15千円/㎡	備考	【参考】施設重要度
30	木花	46	危険物薬品庫	12	1988	R	1	0	B	3	32	10	30	0	40	対象外(小規模)	－	0		－
3	船塚２	79	木犀会館	132	1989	W	1	0	B	3	31	10	30	0	40	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	55	門衛所	64	1989	R	1	0	B	3	31	10	30	0	40	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	56	廃液貯蔵庫	81	1989	R	1	0	B	3	31	10	30	0	40	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	58	弓道場	120	1989	S	1	0	B	3	31	10	30	0	40	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	59	プール付属室	216	1989	R	1	0	B	3	31	10	30	0	40	対象外(小規模)	－	0		－
11	花殿	32	ガラス温室	35	1981	B	1	0	A	3	39	0	30	0	30	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	9	ガラス室	30	1985	S	1	0	A	3	35	0	30	0	30	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	10	ポンプ室	24	1985	R	1	0	A	3	35	0	30	0	30	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	14	実験温室	63	1985	S	1	0	A	3	35	0	30	0	30	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	15	実験温室	63	1985	S	1	0	A	3	35	0	30	0	30	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	16	実験温室	63	1985	S	1	0	A	3	35	0	30	0	30	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	37	水耕温室	302	1986	S	1	0	A	3	34	0	30	0	30	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	48	温室	42	1988	S	1	0	A	3	32	0	30	0	30	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	52	土耕温室	302	1988	S	1	0	A	3	32	0	30	0	30	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	62	育苗用温室	32	1991	S	1	0	A	3	29	0	25	0	25	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	63	ガスメータ室	7	1992	R	1	0	A	3	28	0	25	0	25	対象外(小規模)	－	0		－
50	清武１	27	カルテ庫	153	2009	S	1	0	A	1	11	0	0	20	20	対象外(小規模)	－	0		－
50	清武１	31	待機室	58	2011	S	1	0	A	1	9	0	0	20	20	対象外(小規模)	－	0		－
30	木花	87	防災倉庫	199	2014	S	1	0	A	1	6	0	0	20	20	対象外(小規模)		0		－
50	清武１	38	防災倉庫	93	2014	S	1	0	A	1	6	0	0	20	20	対象外(小規模)		0		－
50	清武１	39	防災倉庫	212	2014	S	2	0	A	1	6	0	0	20	20	対象外(小規模)		0		－
50	清武１	40	管理棟	36	2017	S	1	0	A	1	3	0	0	20	20	対象外(小規模)		0		－
9	住吉	65	糞尿再生処理施設	149	2005	S	1	0	A	3	15	0	10	0	10	対象外(小規模)		0		－
30	木花	82	サークル棟	268	2013	S	1	0	B	3	7	10	0	0	10	対象外(小規模)		0		－
30	木花	86	イスラーム文化研究交流棟	79	2014	S	1	0	A	2	6	0	0	10	10	対象外(小規模)		0		－
3	船塚２	81	便所・倉庫	30	2008	S	1	0	A	3	12	0	0	0	0	対象外(小規模)		0		－
11	花殿	39	工作室	29	2008	S	1	0	A	3	12	0	0	0	0	対象外(小規模)		0		－
30	木花	75	圃場管理棟	41	2009	S	1	0	A	3	11	0	0	0	0	対象外(小規模)		0		－
30	木花	74	検収センター	55	2010	S	1	0	A	3	10	0	0	0	0	対象外(小規模)		0		－
30	木花	76	牛舎１	24	2011	S	1	0	A	3	9	0	0	0	0	対象外(小規模)		0		－
30	木花	77	牛舎２	11	2011	S	1	0	A	3	9	0	0	0	0	対象外(小規模)		0		－
30	木花	78	管理棟	40	2011	S	1	0	A	3	9	0	0	0	0	対象外(小規模)		0		－
30	木花	79	大原事務所	25	2011	S	1	0	A	3	9	0	0	0	0	対象外(小規模)		0		－
50	清武１	32	油脂庫	24	2011	S	1	0	A	3	9	0	0	0	0	対象外(小規模)		0		－
11	花殿	29	プール付属室	60	1972	B	1	2012	A	3	8	0	0	0	0	対象外(小規模)		0		－
50	清武１	33	廃棄物保管庫	141	2012	S	1	0	A	3	8	0	0	0	0	対象外(小規模)		0		－
11	花殿	2	陶芸室	40	1971	R	1	2013	A	3	7	0	0	0	0	対象外(小規模)		0		－
30	木花	81	更衣室棟	198	2013	R	1	0	A	3	7	0	0	0	0	対象外(小規模)		0		－
50	清武１	36	サークル棟	152	2013	S	1	0	A	3	7	0	0	0	0	対象外(小規模)		0		－
30	木花	90	多目的トイレ	7	2016	S	1	0	A	3	4	0	0	0	0	対象外(小規模)		0		－
9	住吉	69	豚舎２	64	2017	W	1	0	A	3	3	0	0	0	0	対象外(小規模)		0		－
30	木花	91	車庫	57	2017	S	1	0	A	3	3	0	0	0	0	対象外(小規模)		0		－
50	清武１	41	患者付添宿泊施設	112	2020	S	1	0	A	3	0	0	0	0	0	対象外(小規模)		0		－
53	田野２	1	宮崎市介護老人保健施設さざんか苑	1,885	1991	R	3	0	A	1	29	0	25	20	45	対象外(借用)		0	借用建物	－
53	田野２	2	宮崎市立田野病院	4,129	2012	R	1	0	A	1	8	0	0	20	20	対象外(借用)		0	借用建物	－
53	田野２	3	自動車車庫	235	2012	R	1	0	A	3	8	0	0	0	0	対象外(借用)		0	借用建物	－
201	橘通	1	歯科口腔外科サテライト	126	2007	SR	8	0	A	3	13	0	0	0	0	対象外(借用)		0	借用建物	－
201	橘通	2	まちなかキャンパス	119	2017	S	5	0	A	3	3	0	0	0	0	対象外(借用)		0	借用建物	－
	合計			288,266														3,957,645		

資料3．長寿命化実施計画
資料3－1．施設改修ロードマップ

2025年5月更新

施設改修 ロードマップ（教育研究施設）

対象：87棟
※附属病院・動物病院・宿舎・借用建物および200㎡以下の小規模建物は除く

凡例：：20・60年目 大・中規模改造　：40年目 長寿命化・機能維持改修　：基幹設備・照明改修
［外］：外部改修　［全］：全面改修　［内］：内部改修
金額：補助金事業　金額：自己資金事業　［億円］

団地	学部等名	棟名称	施設重要度	改修面積	経年(建設年)(工事/着工予定時点)【[x]経年（工事年）(2023時点)】	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17
						第5次5ヶ年計画							第6次5ヶ年計画					第7次5ヶ年計画				
木花	農学部	実験研究棟(北)	Ⅰ	8,367 ㎡	35(1984) [全]3(2020)	(Ⅰ) 6.0	(Ⅱ) 8.1															
		実験研究棟(南)	Ⅰ	8,737 ㎡	37(1984) [全]1(2022)			(Ⅲ) 10.5	(Ⅳ) 8.5													
		講義棟	Ⅰ	2,317 ㎡	36(1984) [全]2(2021)		実(北)込み	実(南)込み														
		実験研究棟(獣医)	Ⅰ	3,524 ㎡ (5,841 ㎡)	39(1984) [全]0(2023)					(Ⅴ) 9.4												
		動物病院	Ⅰ	713 ㎡	38(1985) [全]0(2023)					獣医込み												
		環境制御動物実験棟	Ⅲ	130 ㎡	45(1985)																	
		暖地草地生産利用実験棟	Ⅲ	298 ㎡	45(1985)																	
		農林水理実験棟	Ⅲ	231 ㎡	45(1985)																	
		木材食品加工実験実習車庫棟	Ⅲ	347 ㎡	45(1985)																	
		農業工学実験棟	Ⅲ	694 ㎡	45(1985)																	
		大型及び小型機械棟	Ⅲ	590 ㎡	44(1986)												0.2					
		動物舎	Ⅲ	209 ㎡ (2,499 ㎡)	43(1985) [外]15(2008)																	
		農場管理棟	Ⅰ	971㎡	45(1984)											2.1						
		農業博物館	Ⅲ	766㎡	40(1986) [外]8(2015)						0.1											
	工学部	工学部A棟	Ⅰ	8,030 ㎡	38(1986)						(Ⅰ) 10.9	(Ⅱ) 9.3										
		工学部C棟	Ⅰ	5,398 ㎡	40(1986)									(Ⅳ) 12.5								
		工学部B棟(講義棟)	Ⅰ	2,548 ㎡	39(1986)							A棟込	(Ⅲ) 4.4									
		電気機器実験棟・車庫	Ⅲ	308 ㎡	35(1986) [内]02(2021)			0.3														
		高電圧実験棟	Ⅲ	205 ㎡	45(1986) [外]8(2015)																	
		土木工学実験実習棟	Ⅲ	937 ㎡	45(1986)													0.3				
		機械工学実験実習棟	Ⅲ	413 ㎡	45(1986)																	
		機械実習工場	Ⅲ	648 ㎡	45(1986)																	
		乱流風洞実験棟	Ⅲ	240 ㎡ (2,751 ㎡)	34(1997)																	
		工学部Ｅ棟	Ⅰ	3,514㎡	23(2000) [外]0(2023)			0.1		0.5												
	教育学部・地域資源創成学部	実験研究棟	Ⅰ	12,705 ㎡	41(1987)										11.3	11.3	4.4					
		講義棟	Ⅰ	6,221 ㎡	42(1988)												6.6	6.7				
		美術棟	Ⅱ	1,469 ㎡	44(1988) [外]11(2012)														1.2			
		技術・家庭棟	Ⅱ	2,551 ㎡	44(1988) [外]10(2013)														2.0			
		音楽棟	Ⅱ	1,615 ㎡ (5,635 ㎡)	44(1988) [外]13(2010)														1.3			
	センター	情報基盤センター	Ⅰ	1,254㎡	47(1986)				0.3											2.6		
		総合研究棟	Ⅰ	1,421㎡	21(2001)																	
		フロンティア(遺伝資源分	Ⅱ	1,510㎡	23(1999)																	
		フロンティア(RI木花分室)	Ⅱ	367㎡	48(1987)				0.3				0.1									0.2
		産業動物教育研究センター	Ⅱ	1,125㎡	20(2013)															0.2		
		教育協働開発センター	Ⅱ	534㎡	28(1994)																	
		産学・地域連携施設	Ⅱ	2,013㎡	25(1996)			0.1	0.2		0.2											
		連携研究設備ステーション施設	Ⅱ	1,114㎡	34(1997)													0.2				
		創造プロジェクト棟	Ⅱ	819㎡	33(1996)											0.1						
	その他（事務局・福利施設等）	附属図書館	Ⅰ	4,977 ㎡	32(1987) [全]4(2019)	7.0																
		体育館	Ⅰ	3,296㎡	38(1987)								4.9	2.0								
		福利施設棟	Ⅱ	3,458㎡	37(1984) [外]2(2021)			0.3														
		事務局棟	Ⅱ	3,228㎡	35(1986) [外]2(2021)			0.1														
		創立３３０記念交流会館	Ⅱ	1,670㎡	20(2014)																0.3	
		地域デザイン棟	Ⅱ	238㎡	00(2017)																	
		課外活動施設	Ⅲ	1,301㎡	00(1988)																	
		課外活動施設(音楽)	Ⅲ	279㎡	00(1989)																	
		中央機械室棟	Ⅰ	423㎡	42(1984)								0.1									
		発電機室Ａ	Ⅰ	39 ㎡	00(2014)																	
		発電機室Ｂ	Ⅰ	31 ㎡	00(2014)																	
		発電機室Ｃ	Ⅰ	31 ㎡	00(2014)																	
	ライフライン	(木花)基幹整備(給排水設備)			33～40	(Ⅰ) 1.2	(Ⅱ) 2.5					(Ⅲ) 1.8										
		(木花)基幹整備(給排水設備)			33～40								(Ⅳ) 1.7									
		(木花)基幹整備(実験排水処理施設)	Ⅰ	92㎡	37(1988)								(Ⅴ) 1.7									
		(木花)ﾗｲﾌﾗｲﾝ再生(屋外低圧配電線路等)			34～39								(Ⅰ) 1.1	(Ⅱ) 1.4	(Ⅲ) 1.3							
		(木花)基幹整備(高圧配電盤等)			30～40											0.5						
		(木花)基幹整備(低圧配電盤等)			30～40										0.1		0.2					
		(木花)基幹整備（井水設備）			40（1985）							給水Ⅲ込										
		(木花)基幹整備(無停電電源)													0.1							
	省エネ改修（ＬＥＤ化）（空調更新）	（ＬＥＤ化） 情報基盤ｾﾝﾀｰ･農業博物館･門衛所･国流単身者棟･事務			３０～３８					0.1	0.1											
		RI木花分室･福利施設棟･動物舎･ｶﾞﾗｽ室･実験温室･課外活動施設			３４～３９							0.2										
		国流夫婦･家族棟･教育協働開発ｾﾝﾀｰ･中央機械室･大型及び小型機械棟			３０～４０							0.1										
		産学地域連携ｾﾝﾀｰ(産学･機器分析)			29～30								0.1									
		国際連携ｾﾝﾀｰ　その他小規模施設全て			３０～									0.2								
		ﾌﾛﾝﾃｨｱ(遺伝資源分野)･工学部E棟・総合研究棟			25～27										0.2							
		LEDからLEDへの更新			２０～															0.1	0.1	0.1
		外灯			１５～											0.3	0.3					
	屋外環境	屋外運動場			39(1986)								3.7	4.0								
		車道 駐車場		72,579㎡ 49,511㎡																		

補助金	建物改修	13.0	8.1	10.6	9.1	9.9	10.9	9.3	9.4	14.5	11.3	13.4	11.0	6.7	4.5	2.8	0.3	0.2
補助金	ライフライン	1.2	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	8.2	5.4	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
補助金	補助金　計	14.2	10.6	10.6	9.1	9.9	10.9	11.1	17.6	19.9	12.6	13.4	11.0	6.7	4.5	2.8	0.3	0.2
自己資金	建物改修	0.0	0.0	0.7	0.2	0.0	0.3	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
自己資金	ライフライン 省エネ改修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.1	0.2	0.3	0.8	0.5	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1
自己資金	自己資金　計	0.0	0.0	0.7	0.2	0.1	0.4	0.3	0.2	0.2	0.3	0.9	0.5	0.5	0.0	0.1	0.1	0.1
木花団地　計		14.2	10.6	11.4	9.3	10.0	11.3	11.4	17.8	20.1	13.0	14.3	11.7	7.2	4.5	2.9	0.4	0.3

施設改修 ロードマップ（教育研究施設）

対象：87棟
※附属病院・動物病院・宿舎・借用建物および200㎡以下の小規模建物は除く

凡例：：20・60年目 大・中規模改造　：40年目 長寿命化・機能維持改修　：基幹設備・照明改修
［外］：外部改修　［全］：全面改修　［内］：内部改修
金額：補助金事業　金額：自己資金事業

［億円］

団地	学部等名	棟名称	施設重要度	改修面積	経年(建設年) (工事/着工予定時点) 【[x]経年（工事年） （2023時点）】	第5次5ヶ年計画							第6次5ヶ年計画					第7次5ヶ年計画				
						2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17
清武	医学部	講義実習棟	Ⅰ	6,582㎡	00(1975) [全]00(1996)																	
		体育館	Ⅲ	1,148㎡	00(1976) [外]00(2020)							0.1										
		武道場	Ⅲ	1,320㎡	00(1981)																	
		図書館	Ⅰ	1,908㎡	41(1978)	1.6																
		総合教育研究棟	Ⅰ	8,581㎡	21(2003)	0.1	0.1					0.5										
		基礎臨床研究棟	Ⅰ	8,938㎡	57(1976) [全]10(2013)																	
			Ⅰ	7,481㎡	37(1977) [全]9(2014)																	
		臨床研究棟	Ⅰ	1,302㎡	47(1988)																	2.0
		フロンティア(生物資源分野)	Ⅱ	960㎡	50(1980) [全]21(2002)												0.1					
		フロンティア(生物資源分野)	Ⅱ	1,092㎡	47(1983) [全]21(2002)												0.1					
		フロンティア(RI清武分室)	Ⅱ	1,783㎡	53(1977) [全]21(2002)												0.2					
		フロンティア(生物資源分野)	Ⅱ	570㎡	38(1992)												0.1					
		外来管理棟	Ⅱ	1,297㎡	20(2010)												0.3					
		福利施設	Ⅱ	2,038㎡	43(1976) [外]15(2008)																	
		発電機室	Ⅰ	49 ㎡	00(2013)																	
	ライフライン	(清武)基幹整備(講義実習棟講義室空調設備)			25(1996)			0.3														
		(清武)基幹整備(給水設備)							0.2	0.5												
		(清武)ﾗｲﾌﾗｲﾝ再生(屋外通信線路等)			30～															0.7		
		(清武)ﾗｲﾌﾗｲﾝ再生(屋外低圧配電線路等)			30～																1.0	
		(清武)電話交換機更新			13～ (電波法改正による)				1.0													
		(清武)基幹整備(高圧配電盤等)改修(総研･ﾌﾛﾝﾃｨｱ)			30～31															0.1		
		(清武)基幹整備(電力貯蔵設備)改修			15～															0.2		
		(清武)基幹整備（昇降機設備）												0.7								
	省エネ改修（ＬＥＤ化）	（ＬＥＤ化） 臨床研究棟･講義実習棟			２４～３２						0.1											
		総合教育研究棟　他			２０～２７							0.2	0.2	0.2								
		外灯			15～								0.1									
	構内舗装	車道 駐車場		18,725㎡ 69,255㎡																		

補助金	建物改修	1.7	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
	ライフライン	0.0	0.0	0.3	1.2	0.5	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.7	1.0
	補助金　計	1.7	0.1	0.3	1.2	0.5	0.0	0.5	0.0	0.7	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.2	0.7	3.0
自己資金	建物改修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ライフライン 省エネ改修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
	自己資金　計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.2	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
清武団地　計		1.7	0.1	0.3	1.2	0.5	0.1	0.8	0.3	0.9	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.3	0.7	3.0

施設改修 ロードマップ（教育研究施設）

対象：87棟
※附属病院・動物病院・宿舎・借用建物および200㎡以下の小規模建物は除く

凡例：：20・60年目 大・中規模改造　：40年目 長寿命化・機能維持改修　：基幹設備・照明改修
［外］：外部改修　［全］：全面改修　［内］：内部改修
金額：補助金事業　金額：自己資金事業

［億円］

団地	学部等名	棟名称	施設重要度	改修面積	経年(建設年) (工事/着工予定時点) 【[x]経年（工事年） （2023時点）】	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17
						第5次5ヶ年計画							第6次5ヶ年計画					第7次5ヶ年計画				
花殿・船塚	附属中学校	附属中学校教室１・２号	Ⅰ	1,973㎡	63(1960) [全]19(2004)					(空Ⅰ) 0.2	(空Ⅱ) 0.2	(空Ⅲ) 0.2	(空Ⅳ) 0.2	(空Ⅴ) 0.1								
		附属中学校校舎	Ⅰ	1,027㎡	53(1981) [全]19(2004)																0.5	
		附属中学校体育館	Ⅰ	1,996㎡	30(1996)								(空調) 0.6	0.1								
	附属小学校	附属小学校教室１号	Ⅰ	1,881㎡	59(1964) [全]14(2009)										(空Ⅰ) 0.1	(空Ⅱ) 0.1	(空Ⅲ) 0.1	(空Ⅳ) 0.1	(空Ⅴ) 0.1			
		附属小学校教室２号	Ⅰ	2,873㎡	59(1970) [全]14(2009)					0.2					(空Ⅰ) 0.1	(空Ⅱ) 0.1	(空Ⅲ) 0.1	(空Ⅳ) 0.1	(空Ⅴ) 0.1			0.5
		附属小学校校舎	Ⅰ	1,274㎡	31(1982) [外]2(2021)																	
		附属小学校体育館	Ⅰ	976㎡	33(1996)								(空調) 0.4			0.1						
	附属幼稚園	幼稚園舎	Ⅰ	883㎡	00(1993) [外]10(2013)																	
	ライフライン	ﾗｲﾌﾗｲﾝ再生(屋外低圧配電線路等)			30～																0.5	
		ﾗｲﾌﾗｲﾝ再生(屋外通信線路等)			30～																0.1	
		基幹整備高圧配電盤等更新(附属中学校)			30～								0.1									
		太陽光発電設備			30(1999)											0.3						
	省エネ改修（ＬＥＤ化）	外灯			15～					0.1												
		附属小･中学校教室等														0.1						
		LEDからLEDへの更新(体育館等)			20～																	0.1
	構内舗装	（花殿） 車道 駐車場 （船塚） 車道 駐車場		3,187㎡ 3,019㎡ 2,965㎡ 700㎡																		

		2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17
補助金	建物改修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
補助金	ライフライン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0
補助金	補助金　計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0
自己資金	建物改修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.2	0.2	1.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.0	0.5	0.5
自己資金	ライフライン 省エネ改修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
自己資金	自己資金　計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2	0.2	1.2	0.2	0.2	0.7	0.2	0.2	0.2	0.0	0.5	0.6
花殿・船塚団地　計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2	0.2	1.3	0.2	0.2	0.7	0.2	0.2	0.2	0.0	1.1	0.6

施設改修 ロードマップ（教育研究施設）

対象：87棟
※附属病院・動物病院・宿舎・借用建物および200㎡以下の小規模建物は除く

凡例：：20・60年目 大・中規模改造　：40年目 長寿命化・機能維持改修　：基幹設備・照明改修
［外］：外部改修　［全］：全面改修　［内］：内部改修
金額：補助金事業　金額：自己資金事業

［億円］

団地	学部等名	棟名称	施設重要度	改修面積	経年(建設年) (工事/着工予定時点) 【[x]経年（工事年） （2023時点）】	第5次5ヶ年計画							第6次5ヶ年計画					第7次5ヶ年計画				
						2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17
住吉	産業動物拠点整備	乳牛舎２	Ⅲ	2,240 ㎡	3(2021)																	
		乳加工棟	Ⅲ	424 ㎡	3(2021)		5.3															
		~~乳及び肉加工室~~	~~Ⅲ~~	~~277 ㎡~~	54(1966) ※建物解体		0.3															
		実験研究棟	Ⅰ	704㎡	44(1979) [全]0(2023)					1.3												
		短期宿泊施設	Ⅰ	390㎡	42(1981) [全]0(2023)					0.6												
		乳牛舎	Ⅲ	464 ㎡	57(1968) ※建物解体								0.1									
		肥育牛舎	Ⅲ	597 ㎡	26(2005)																	
		試験畜舎	Ⅲ	362 ㎡	52(1979)																	
		乾草給与場	Ⅲ	205 ㎡	62(1969)																	
		堆肥舎	Ⅲ	395 ㎡	51(1980)																	
		子牛舎及び衛生室	Ⅲ	1,367 ㎡	52(1979)													0.4				
		繁殖牛舎	Ⅲ	496 ㎡	53(1978)																	
		車輌庫	Ⅲ	206 ㎡	61(1970)																	
		第２車両庫・火力乾燥室	Ⅲ	677 ㎡	52(1979)																	
		豚舎	Ⅲ	339 ㎡	16(2015)																	
	ライフライン	給水設備			6(2017)																	
田野	田野フィールド	演習林管理棟	Ⅰ	758㎡	48(1972) [全]3(2020)		1.1															
	ライフライン	給排水設備			3(2020)																	
		電気設備			3(2020)																	
赤水	延岡フィールド	附属水産実験所施設棟	Ⅱ	914 ㎡	58(1973) [全]10(2013)													0.1				
	ライフライン	給水設備のみ(海水は除く)			53(1972)								0.1									
		海水設備			53(1972)								1.4									
木原２	実習田	水田作業舎	Ⅲ	250 ㎡	44(1987)													0.1				
	ライフライン	排水設備																				

		2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17
補助金	建物改修	0.0	6.4	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ライフライン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	補助金　計	0.0	6.4	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自己資金	建物改修	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	ライフライン 省エネ改修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自己資金　計	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0
住吉・田野・赤水 木原２団地　計		0.0	6.7	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0

小規模建物（対象：66棟）・維持管理費

凡例：：20・40・60年目事後保全改修、維持管理

団地	学部等名	棟名称	施設重要度	改修面積	経年(建設年) (着工予定時点)	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17
全団地	小規模建物 (200㎡以下) 改善費 (事後保全型改修)	木花		3,270 ㎡	(1985～2016)																	
		清武		493 ㎡	(2011～2017)																	
		花殿・船塚２		605 ㎡	(1958～2008)																	
		住吉・田野・赤水・大納		1,318 ㎡	(1959～2017)																	
	維持管理費	全団地		184,010 ㎡		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
					自己資金 小規模建物 維持管理費	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5

			2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17
全体計	補助金	建物改修	14.7	14.6	10.6	9.1	11.8	10.9	9.8	9.4	14.5	11.3	13.4	11.3	6.7	4.5	2.8	0.3	2.2
		ライフライン	1.2	2.5	0.3	1.2	0.5	0.0	1.8	8.3	6.1	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	1.3	1.0
		補助金　計	15.9	17.1	10.9	10.3	12.3	10.9	11.6	17.7	20.6	12.6	13.4	11.3	6.7	4.5	3.0	1.6	3.2
	自己資金	建物改修	0.0	0.3	0.7	0.2	0.4	0.5	0.2	1.4	0.2	0.2	0.4	0.7	1.3	0.2	0.0	0.5	0.5
		ライフライン 省エネ改修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.5	1.9	0.4	0.3	1.2	0.5	0.0	0.0	0.2	0.1	0.2
		小規模建物 維持管理費	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
		自己資金　計	0.5	0.8	1.2	0.7	1.1	1.2	1.2	3.8	1.1	1.0	2.1	1.7	1.8	0.7	0.7	1.1	1.2
	年度　合計		16.4	17.9	12.2	11.0	13.4	12.1	12.9	21.5	21.7	13.7	15.5	13.2	8.5	5.2	3.7	2.7	4.4

施設改修 ロードマップ（病院・動物病院）

凡例：：20・60年目 大・中規模改造　：40年目 長寿命化・機能維持改修　：病院設備改修
［外］：外部改修　［全］：全面改修　［内］：内部改修
金額：補助金事業　金額：自己資金事業
（医病については補助10%、借入90%）

病院（対象：16棟）

［億円］

団地	学部等名	棟名称	施設重要度	改修面積	経年（建設年）（工事/着工予定時点）【[x]経年（工事年）（2023時点）】	2019 R1	2020 R2	第5次5ヶ年計画 2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	第6次5ヶ年計画 2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	第7次5ヶ年計画 2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17
清武（医病）	病院	附属病院	病院	45,602 ㎡	36(1977) [全]10(2013)									2.0	3.0							
		中央機械室	病院	1,860 ㎡	48(1976)								0.2									
		MRI-CT装置棟	病院	468 ㎡	00(1989)																	
		MRI-CT装置棟	病院	162 ㎡	00(1996)																	
		中央診療棟	病院	5,712 ㎡	00(2007)												(空調) 1.0	(空調) 0.6	(空調) 0.9			
		外来診療棟	病院	8,650 ㎡	00(2010)											(空調) 0.8						
		救命救急センター・HP棟	病院	1,704 ㎡	00(2013)																	
		看護師宿舎	病院	2,428 ㎡	56(1977) [全]40(1993)															1.2		
		看護師宿舎	病院	1,505 ㎡	57(1977) [外]27(2007)																0.8	
		看護師宿舎	病院	1,632 ㎡	56(1979) [外]28(2007)																	0.8
				(5,565 ㎡)																		
		~~倉庫~~	~~病院~~	~~276 ㎡~~	~~42(1980)~~ ※建物解体				0.1													
		立体駐車場	病院	6,845 ㎡	00(2007)																	
		格納庫	病院	270 ㎡	00(2011)																	
		カルテ倉庫	病院	280 ㎡ (7,671 ㎡)	00(2014)																	
	病院設備	中央監視装置			4(2020)													1.0				1.2
		非常用(常用)発電機			17(2007)																	
		特高電気室			16(2008)																3.5	
		無停電電源装置													1.2		1.4			1.5		
		直流電源装置													1.0		0.2					
		電話交換機			2(2022)				1.0												1.0	
		放送設備			3(2021)			0.2														
		火災受信機			17(2007)										0.9							
		ナースコール			13(2011)			0.2					0.4					0.2				
		外灯			11(2013)												0.1					0.1
		感染排水処理施設			11(2013)												0.8					
		ＲＩ貯留槽施設			11(2013)											2.5						
		中央集塵装置			11(2013)												0.6					
		医療ガス設備			4(2020)		1.5															1.5
		ボイラー			4(2020)																	1.0
		受水槽・揚水設備			1(2022)				0.9	4.6												
		実験排水処理施設			7(2017)																0.5	
		昇降機設備																1.6			1.7	
		LED化			20～					0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2					
		自動制御設備								0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1					
	小規模建物（200㎡以下）※事後保全	カルテ庫 待機室 油脂庫 廃棄物保管庫		153 ㎡ 58 ㎡ 24 ㎡ 141 ㎡ (376 ㎡)																		
	維持管理費	病院		77,770 ㎡		0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8

		2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17
補助金	建物改修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	病院設備改修	0.0	0.2	0.0	0.2	0.5	0.0	0.0	0.1	0.0	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0	0.2	0.7	0.4
	補助金　計	0.0	0.2	0.0	0.2	0.5	0.0	0.0	0.1	0.2	0.6	0.4	0.4	0.4	0.1	0.3	0.8	0.5
自己資金	建物改修	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	1.8	2.7	0.7	0.9	0.5	0.8	1.1	0.7	0.7
	病院設備改修	0.0	1.3	0.4	1.7	4.4	0.3	0.3	0.6	0.3	3.1	2.5	3.1	2.5	0.0	1.3	6.0	3.4
	維持管理費	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
	自己資金　計	0.8	2.1	1.2	2.6	5.2	1.1	1.1	1.6	2.9	6.6	4.0	4.8	3.8	1.6	3.2	7.5	4.9
病院　計		0.8	2.3	1.2	2.8	5.7	1.1	1.1	1.7	3.1	7.2	4.4	5.2	4.2	1.7	3.5	8.3	5.4

動物病院（対象：1棟）

［億円］

団地	学部等名	棟名称	施設重要度	改修面積	経年（建設年）（着工予定時点）	2019 R1	2020 R2	第5次5ヶ年計画 2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	第6次5ヶ年計画 2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	第7次5ヶ年計画 2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17
清武（動物病院）	動物病院	動物病院	動物	921 ㎡	38(1985)					1.7												
	維持管理費	動物病院		921 ㎡																		

		2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17
自己資金	建物改修	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ライフライン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自己資金　計	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
動物病院　計		0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

施設改修 ロードマップ（学生寄宿舎・職員宿舎）

凡例：■：40年目 機能維持改修
［外］：外部改修　［全］：全面改修　［内］：内部改修
金額：補助金事業　金額：自己資金事業

学生寄宿舎・職員宿舎（対象：19棟）

［億円］

団地	学部等名	棟名称	施設重要度	改修面積	経年(建設年)(着工予定時点)	2019 R1	2020 R2	第5次5ヶ年計画 2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	第6次5ヶ年計画 2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	第7次5ヶ年計画 2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17
木花	学生寄宿舎	男子寄宿舎	宿舎	1,887 ㎡	(1,988)																	
		女子寄宿舎	宿舎	1,804 ㎡	(1,990)																	
		国際交流会館単身者棟	宿舎	4,227 ㎡	(1,992)																	
		国際交流会館夫婦・家族棟	宿舎	460 ㎡	(1,994)	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
		留学生宿舎	宿舎	(279 ㎡) (8,657 ㎡)	(2,015)																	
清武1	宿泊施設	非常勤講師宿泊施設	宿舎	237 ㎡	(1,980)																	
		非常勤講師宿泊施設	宿舎	183 ㎡ (420 ㎡)	(1,980)	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
清武2	職員宿舎	職員宿舎（D棟）	宿舎	1,900 ㎡	52(1975) ※建物解体									0.8								
		職員宿舎（E棟）	宿舎	1,492 ㎡	52(1976) ※建物解体									0.7								
		職員宿舎（F棟）	宿舎	622 ㎡	52(1976) ※建物解体									0.3								
		職員宿舎（１棟）	宿舎	1,037 ㎡	51(1977) ※建物解体									0.7								
		職員宿舎（２棟）	宿舎	2,030 ㎡	51(1977) ※建物解体									0.9								
		職員宿舎（３棟）	宿舎	1,354 ㎡	46(1977) ［外］8(2015)																	
		職員宿舎（４棟）	宿舎	1,354 ㎡	51(1977) ※建物解体									0.5								
		職員宿舎（５棟）	宿舎	1,555 ㎡ (11,344 ㎡)	46(1978) ［全］9(2014)																	
		保育施設		225 ㎡	15(2007)																	
	ライフライン	排水設備								0.3				0.1								
		給水設備								排水込み				排水込み								
		ガス設備								排水込み												
清武3	職員宿舎	職員宿舎（A棟）	宿舎	1,900 ㎡	53(1974) ※建物解体									0.8								
		職員宿舎（B棟）	宿舎	1,492 ㎡	53(1974) ※建物解体									0.7								
		職員宿舎（C棟）	宿舎	1,492 ㎡ (4,884 ㎡)	52(1975) ※建物解体									0.7								
	維持管理費	職員宿舎		16,228 ㎡		0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13
					自己資金 建物解体	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	6.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
					自己資金 維持管理費	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
					自己資金 計	0.2	0.2	0.2	0.2	0.5	0.2	0.2	0.2	6.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
					宿舎 計	0.2	0.2	0.2	0.2	0.5	0.2	0.2	0.2	6.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2

資料3－2. 総合劣化度と施設重要度による施設改修優先順位

総合劣化度と施設重要度による施設改修優先順位（教育研究施設）

施設改修優先順位の考え方：保全優先度（施設重要度＋総合劣化度）＞経年＞施設重要度＞総合劣化度　　更新日：　2021年3月2日

凡例：　：第4次5ヶ年計画(2016～2020)　：第5次5ヶ年計画(2021～2025)　：第6次5ヶ年計画(2026～2030)　：第7次5ヶ年計画(2031～2035)

経年基準年：2020 年

順位	保全優先度	団地	棟番号	棟名称	施設重要度	総合劣化度（点）	改修面積（㎡）	建設年	改修履歴	改修内容	㎡単価（万円）	改修費用（億円）	改修予定年度	経年（年）	前回改修からの経年(年)	備考
1	2	住吉	54	実験研究棟	Ⅰ	60	704	1979		長寿命化改修(実験系)	15.0	1.1	2021	41	0	
2	3	田野1	9	事務所	Ⅰ	57	758	1972		長寿命化改修(実験系)	15.0	1.1	2020	48	0	
3	3	住吉	63	短期宿泊施設	Ⅰ	55	390	1981		長寿命化改修(実験系)	15.0	0.6	2021	39	0	
4	3	木花	1	(農)実験研究棟(北)	Ⅰ	57	8,367	1984		長寿命化改修(実験系)	15.0	12.6	2019	36	0	戦略的リノベーション計画
4	3	木花	1	(農)講義棟	Ⅰ	57	2,317	1984		長寿命化改修(非実験系)	13.0	3.0	2020	36	0	戦略的リノベーション計画
4	3	木花	1	(農)実験研究棟(南)	Ⅰ	57	8,737	1984		長寿命化改修(実験系)	15.0	13.1	2021	36	0	戦略的リノベーション計画
5	3	木花	19	農場管理棟	Ⅰ	50	971	1984		長寿命化改修(実験系)	15.0	1.5	2023	36	0	戦略的リノベーション計画
6	4	住吉	49	乳牛舎	Ⅲ	60	464	1968		建物撤去	2.0	0.1	2025	52	0	産業動物教育拠点整備
7	4	住吉	35	車輌庫	Ⅲ	60	206	1970		中規模改修	1.0	0.0	2025	50	0	
8	4	住吉	53	繁殖牛舎	Ⅲ	60	496	1978		中規模改修	1.0	0.0	2025	42	0	
9	4	住吉	57	第2車輌庫・火力乾燥	Ⅲ	60	677	1979		中規模改修	1.0	0.1	2025	41	0	
10	4	住吉	56	仔牛舎及び衛生室	Ⅲ	60	681	1979		中規模改修	1.0	0.1	2025	41	0	
11	4	木花	3	福利施設棟	Ⅱ	55	3,458	1984		機能維持改修	8.0	2.8	2021	36	0	
12	4	木花	4	中央機械室	Ⅰ	45	423	1984		中規模改修	1.0	0.0	2022	36	0	Ⅰだが維持保全を適用
13	4	木花	2	実験研究棟(獣医)	Ⅰ	45	3,524	1984		長寿命化改修(実験系)	15.0	5.3	2023	36	0	戦略的リノベーション計画
14	4	木花	34	大型及び小型機械棟	Ⅲ	60	590	1986		中規模改修	1.0	0.1	2023	34	0	農学部改修計画
15	4	木花	20	工学部A棟	Ⅰ	47	8,030	1986		長寿命化改修(実験系)	15.0	12.0	2024	34	0	戦略的リノベーション計画
16	4	木花	21	工学部C棟	Ⅰ	45	5,398	1986		長寿命化改修(実験系)	15.0	8.1	2026	34	0	戦略的リノベーション計画
17	4	木花	31	情報基盤センター	Ⅰ	45	1,254	1986		長寿命化改修(非実験系)	13.0	1.6	2025	34	0	
18	4	木花	22	工学部B棟	Ⅰ	27	2,548	1986		長寿命化改修(非実験系)	13.0	3.3	2024	34	0	戦略的リノベーション計画
19	4	木原2	1	水田作業舎	Ⅲ	60	250	1987		中規模改修	1.0	0.0	2033	33	0	
20	4	木花	43	(教)実験研究棟	Ⅰ	45	12,705	1987		長寿命化改修(非実験系)	13.0	16.5	2028	33	0	戦略的リノベーション計画
21	4	木花	40	体育館	Ⅰ	45	3,296	1987		長寿命化改修(非実験系)	13.0	4.3	2022	33	0	2022概算要求
22	4	清武1	20	臨床研究棟	Ⅰ	38	1,302	1988		長寿命化改修(実験系)	15.0	2.0	2025	32	0	
23	4	木花	54	(教)講義棟	Ⅰ	33	6,221	1988		長寿命化改修(非実験系)	13.0	8.1	2030	32	0	戦略的リノベーション計画
24	4	木花	53	廃液処理施設	Ⅰ	28	92	1988		基幹・環境整備	0.0	1.4	2022	32	0	
25	4	花殿	37	附属小学校体育館	Ⅰ	23	976	1996		中規模改修	1.0	0.1	2022	24	0	長寿命化促進事業
26	4	花殿	38	附属中学校体育館	Ⅰ	23	1,996	1996		中規模改修	1.0	0.2	2022	24	0	長寿命化促進事業
27	4	清武1	1	講義実習棟	Ⅰ	16	6,582	1975	［全］　1996	大規模改造	5.0	3.3	2023	45	24	2カ年計画
28	4	木花	72	工学部E棟	Ⅰ	0	3,514	2000		大規模改造	5.0	1.8	2024	20	0	長寿命化促進事業
29	4	木花	73	総合研究棟	Ⅰ	5	1,421	2001		大規模改造	5.0	0.7	2025	19	0	長寿命化促進事業
30	4	花殿	34	附属中学校校舎	Ⅰ	7	1,027	1981	［全］　2004	大規模改造	5.0	0.5	2028	39	16	
31	4	花殿	1	附属中学校教室1・2号	Ⅰ	9	1,973	1960	［全］　2004	大規模改造	5.0	1.0	2026	60	16	
32	4	花殿	35	附属小学校校舎	Ⅰ	43	1,274	1982	［内］　2008	大規模改造	5.0	0.6	2029	38	12	
33	4	花殿	22	附属小学校教室1号	Ⅰ	0	1,881	1964	［全］　2009	大規模改造	5.0	0.9	2030	56	11	
34	4	花殿	20	附属小学校教室2号	Ⅰ	0	2,873	1970	［全］　2009	大規模改造	5.0	1.4	2031	50	11	
35	4	船塚2	80	幼稚園舎	Ⅰ	16	883	1993	［外］　2013	長寿命化改修(非実験系)	13.0	1.1	2031	27	7	
36	4	清武1	2	基礎臨床研究棟	Ⅰ	0	8,938	1976	［全］　2013	大規模改造	5.0	4.5	2033	44	7	3カ年計画
37	4	清武1	35	発電機室	Ⅰ	0	49	2013		中規模改修	1.0	0.0	2036	7	0	Ⅰだが維持保全を適用
38	4	清武1	4	基礎臨床研究棟	Ⅰ	0	7,481	1977	［全］　2014	大規模改造	5.0	3.7	2036	43	6	2カ年計画
39	4	木花	83	発電機室A	Ⅰ	0	39	2014		中規模改修	1.0	0.0	2036	6	0	Ⅰだが維持保全を適用
40	4	木花	84	発電機室B	Ⅰ	0	31	2014		中規模改修	1.0	0.0	2036	6	0	Ⅰだが維持保全を適用
41	4	木花	85	発電機室C	Ⅰ	0	31	2014		中規模改修	1.0	0.0	2036	6	0	Ⅰだが維持保全を適用
42	4	清武1	24	総合教育研究棟	Ⅰ	0	8,581	2003	［外］　2019	長寿命化改修(実験系)	15.0	12.9	2043	17	1	
43	5	清武1	12	図書館	Ⅰ	0	1,908	1978	［全］　2019	大規模改造	5.0	1.0	2039	42	1	
44	5	木花	42	附属図書館	Ⅰ	0	4,977	1987	［全］　2019	大規模改造	5.0	2.5	2039	33	1	
45	5	住吉	48	乳および肉加工室	Ⅲ	57	277	1966		建物撤去	2.0	0.1	2020	54	0	産業動物教育拠点整備
46	5	住吉	52	乾草給与場	Ⅲ	57	205	1969		中規模改修	1.0	0.0	2029	51	0	
47	5	赤水	1	附属水産実験所施設棟	Ⅱ	23	914	1973		中規模改修	1.0	0.1	2029	47	0	
48	5	清武1	5	福利施設	Ⅱ	5	2,038	1976		中規模改修	1.0	0.2	2025	44	0	

総合劣化度と施設重要度による施設改修優先順位（教育研究施設）

施設改修優先順位の考え方：保全優先度（施設重要度＋総合劣化度）＞経年＞施設重要度＞総合劣化度

更新日：　2021年3月2日

凡例：　：第4次5ヶ年計画(2016～2020)　：第5次5ヶ年計画(2021～2025)　：第6次5ヶ年計画(2026～2030)　：第7次5ヶ年計画(2031～2035)

経年基準年：2020 年

順位	保全優先度	団地	棟番号	棟名称	施設重要度	総合劣化度（点）	改修面積（㎡）	建設年	改修履歴	改修内容	㎡単価（万円）	改修費用（億円）	改修予定年度	経年（年）	前回改修からの経年(年)	備考
49	5	木花	32	事務局棟	Ⅱ	38	3,228	1986		機能維持改修	8.0	2.6	2028	34	0	
50	5	木花	39	フロンティア科学総合研究センター(RI木花分室)	Ⅱ	40	367	1987		機能維持改修	8.0	0.3	2036	33	0	
51	5	清武1	22	フロンティア科学総合研究センター(生物資源分野)	Ⅱ	0	570	1992		中規模改修	1.0	0.1	2026	28	0	長寿命化促進事業
52	5	木花	66	教育協働開発センター	Ⅱ	28	534	1994		中規模改修	1.0	0.1	2022	26	0	長寿命化促進事業
53	5	木花	67	産学・地域連携センター(産学・地域連携施設)	Ⅱ	38	2,013	1996		中規模改修	1.0	0.2	2022	24	0	長寿命化促進事業
54	5	木花	68	創造プロジェクト棟	Ⅱ	23	2,819	1996		中規模改修	1.0	0.3	2023	24	0	長寿命化促進事業
55	5	木花	69	産学・地域連携センター(機器分析支援施設)	Ⅱ	31	1,114	1997		中規模改修	1.0	0.1	2023	23	0	長寿命化促進事業
56	5	木花	71	フロンティア科学総合研究センター(遺伝資源分野)	Ⅱ	0	1,510	1999		中規模改修	1.0	0.2	2037	21	0	
57	5	清武1	10	フロンティア科学総合研究センター(RI清武分室)	Ⅱ	35	1,783	1977	［全］　2002	中規模改修	1.0	0.2	2026	43	18	長寿命化促進事業
58	5	清武1	15	フロンティア科学総合研究センター(生物資源分野)	Ⅱ	33	960	1980	［全］　2002	中規模改修	1.0	0.1	2025	40	18	長寿命化促進事業
59	5	清武1	19	フロンティア科学総合研究センター(生物資源分野)	Ⅱ	0	1,092	1983	［全］　2002	中規模改修	1.0	0.1	2025	37	18	長寿命化促進事業
60	5	木花	51	音楽棟	Ⅱ	16	1,615	1988	［外］　2010	機能維持改修	8.0	1.3	2032	32	10	戦略的リノベーション計画
61	5	清武1	29	外来管理棟	Ⅱ	0	1,297	2010		中規模改修	1.0	0.1	2037	10	0	
62	5	木花	49	美術棟	Ⅱ	16	1,469	1988	［外］　2012	機能維持改修	8.0	1.2	2032	32	8	戦略的リノベーション計画
63	5	木花	50	技術・家庭棟	Ⅱ	16	2,551	1988	［外］　2013	大規模改造	5.0	1.3	2027	32	7	戦略的リノベーション計画※ｵｰﾌﾟﾝﾗﾎﾞ化
64	5	木花	80	産業動物教育研究センター	Ⅱ	0	1,125	2013		中規模改修	1.0	0.1	2037	7	0	
65	5	木花	88	創立330記念交流会館	Ⅱ	0	1,670	2014		中規模改修	1.0	0.2	2037	6	0	
66	5	木花	92	地域デザイン棟	Ⅱ	0	238	2017		中規模改修	1.0	0.0	2037	3	0	
67	6	清武1	6	体育館	Ⅲ	43	1,148	1976		中規模改修	1.0	0.1	2037	44	0	
68	6	住吉	55	試験畜舎	Ⅲ	45	362	1979		中規模改修	1.0	0.0	2037	41	0	
69	6	住吉	58	堆肥舎	Ⅲ	43	395	1980		中規模改修	1.0	0.0	2037	40	0	
70	6	清武1	18	武道場	Ⅲ	32	1,320	1981		中規模改修	1.0	0.1	2037	39	0	
71	6	木花	7	環境制御動物実験棟	Ⅲ	47	130	1985		中規模改修	1.0	0.0	2023	35	0	農学部改修計画
72	6	木花	8	暖地草地生産利用実験棟	Ⅲ	38	298	1985		中規模改修	1.0	0.0	2023	35	0	農学部改修計画
73	6	木花	11	農林水理実験棟	Ⅲ	38	231	1985		中規模改修	1.0	0.0	2023	35	0	農学部改修計画
74	6	木花	13	農業工学実験棟	Ⅲ	38	694	1985		中規模改修	1.0	0.1	2023	35	0	農学部改修計画
75	6	木花	12	木材食品加工実験実習車庫棟	Ⅲ	38	347	1985		中規模改修	1.0	0.0	2023	35	0	農学部改修計画
76	6	木花	28	機械実習工場	Ⅲ	45	648	1986		中規模改修	1.0	0.1	2025	34	0	工学部改修計画
77	6	木花	23	電気機器実験棟・車庫	Ⅲ	38	308	1986		中規模改修	1.0	0.0	2025	34	0	工学部改修計画
78	6	木花	26	土木工学実験実習棟	Ⅲ	38	937	1986		中規模改修	1.0	0.1	2025	34	0	工学部改修計画
79	6	木花	27	機械工学実験実習棟	Ⅲ	38	413	1986		中規模改修	1.0	0.0	2025	34	0	工学部改修計画
80	6	木花	45	課外活動施設	Ⅲ	25	1,301	1988		中規模改修	1.0	0.1	2038	32	0	
81	6	木花	57	課外活動施設(音楽棟)	Ⅲ	25	279	1989		中規模改修	1.0	0.0	2038	31	0	
82	6	木花	70	乱流風洞実験棟	Ⅲ	23	240	1997		中規模改修	1.0	0.0	2038	23	0	
83	6	住吉	66	肥育牛舎	Ⅲ	0	597	2005		中規模改修	1.0	0.1	2045	15	0	
84	6	木花	33	農業博物館	Ⅲ	40	766	1986	［外］　2015	中規模改修	1.0	0.1	2038	34	5	
85	6	木花	25	高電圧実験棟	Ⅲ	38	205	1986	［内］　2015	中規模改修	1.0	0.0	2025	34	5	工学部改修計画
86	6	住吉	67	豚舎	Ⅲ	0	339	2015		中規模改修	1.0	0.0	2055	5	0	

総合劣化度と施設重要度による施設改修優先順位（病院・動物病院）

施設改修優先順位の考え方：保全優先度（施設重要度＋総合劣化度）＞経年＞施設重要度＞総合劣化度

更新日：　2021年3月2日

凡例：：第4次5ヶ年計画(2016～2020)　：第5次5ヶ年計画(2021～2025)　：第6次5ヶ年計画(2026～2030)　：第7次5ヶ年計画(2031～2035)

経年基準年：2020 年

順位	保全優先度	団地	棟番号	棟名称	施設重要度	総合劣化度（点）	改修面積（㎡）	建設年	改修履歴	改修内容	㎡単価（万円）	改修費用（億円）	改修予定年度	経年（年）	前回改修からの経年(年)	備考
1	4	清武1	7	中央機械室	病院	40	1,860	1976		中規模改造	1.0	0.2	2024	44	0	病院だが維持保全を適用
2	4	清武1	14	倉庫	病院	38	276	1980		建物解体	2.0	0.1	2022	40	0	R4給水設備更新に伴い解体予定
3	4	清武1	21	MRI-CT装置棟	病院	16	468	1989		長寿命化改修(病院)	34.0	1.6	2043	31	0	
4	4	清武1	8	看護師宿舎	病院	28	2,428	1977	［全］　1993	機能維持改修(職員宿舎)	5.0	1.2	2033	43	27	病院だが職員宿舎を適用
5	4	清武1	23	MRI-CT装置棟	病院	16	162	1996		長寿命化改修(病院)	34.0	0.6	2043	24	0	
6	4	清武1	9	看護師宿舎	病院	25	1,505	1977	［外］　2007	機能維持改修(職員宿舎)	5.0	0.8	2034	43	13	病院だが職員宿舎を適用
7	4	清武1	13	看護師宿舎	病院	23	1,632	1979	［外］　2007	機能維持改修(職員宿舎)	5.0	0.8	2035	41	13	病院だが職員宿舎を適用
8	4	清武1	25	中央診療棟	病院	0	5,712	2007		長寿命化改修(病院)	34.0	19.4	2043	13	0	
9	4	清武1	26	立体駐車場	病院	0	6,845	2007		中規模改造	1.0	0.7	2047	13	0	病院だが維持保全を適用
10	4	清武1	28	外来診療棟	病院	0	8,650	2010		長寿命化改修(病院)	34.0	29.4	2043	10	0	
11	4	清武1	30	格納庫	病院	0	270	2011		中規模改造	1.0	0.0	2051	9	0	病院だが維持保全を適用
12	4	清武1	3	附属病院	病院	0	45,602	1977	［全］　2013	長寿命化改修(病院)	34.0	155.0	2043	43	7	
13	4	清武1	34	救命救急センター・ヘリポート棟	病院	0	1,704	2013		長寿命化改修(病院)	34.0	5.8	2043	7	0	
14	4	清武1	37	カルテ倉庫	病院	0	280	2014		中規模改造	1.0	0.0	2054	6	0	病院だが維持保全を適用
1	4	木花	5	動物病院	動物病院	38	634	1985		長寿命化改修(動物病院)	19.0	1.2	2023	35	0	
2	4	木花	6	動物舎	動物病院	38	209	1985	［外］　2008	中規模改造	1.0	0.0	2023	35	12	動物病院だが維持保全を適用

平成 31 年 2 月 28 日
施　設　環　境　部

宮崎大学職員宿舎再編計画（案）

１．現状の課題

・本学が所有する職員宿舎は、木原宿舎と西新町宿舎を合せて 11 棟、いずれも 1974 年から 1978 年の短期間で整備され、経年 40 年を超えているので、大規模改修が必要な時期にある。
・木原宿舎 1 および 4 棟の耐震性能は Is=0.49 で、新耐震基準 Is=0.6 を満たしていない。補強して継続使用するのか用途廃止するのか、判断が求められている。
・入居率は、平成 27 年度 88%から今年度 71%まで下降している。一部の棟では、十分な共益費が確保できず、自治会運営に支障が生じている。
・公共下水道への接続および埋設ガス管の耐震化等に最大約 5,000 万円かかる。

２．再編計画のポイント

1）　2021 年度末迄

木原宿舎 1、2 および 4 棟を用途廃止する。
跡地は、引続き職員宿舎用地として利用するが、民設・民営を大原則とする。
ただし、現時点において需要の見込みが不透明なため、本計画には見込まない。

2）　2023 年度末迄

木原宿舎 D、E および F 棟を用途廃止する。
跡地は、例えば附属病院外来駐車場用地としての利用を検討する。

3）　2025 年度末迄

西新町宿舎（A,B,C 棟すべて）を用途廃止する。
跡地は、法人法第三十四条の二における土地の貸付け（大臣認可事項）を検討する。

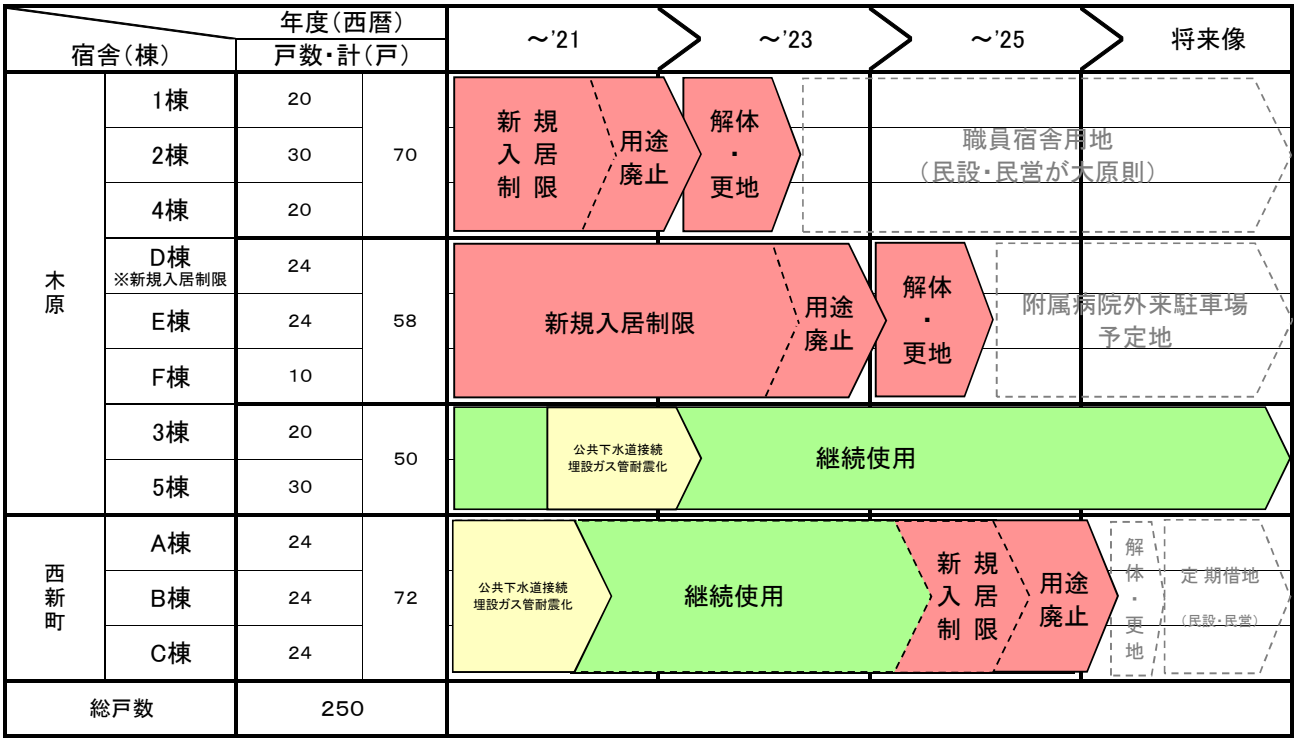
4）　公共下水道接続や埋設ガス管の耐震化等

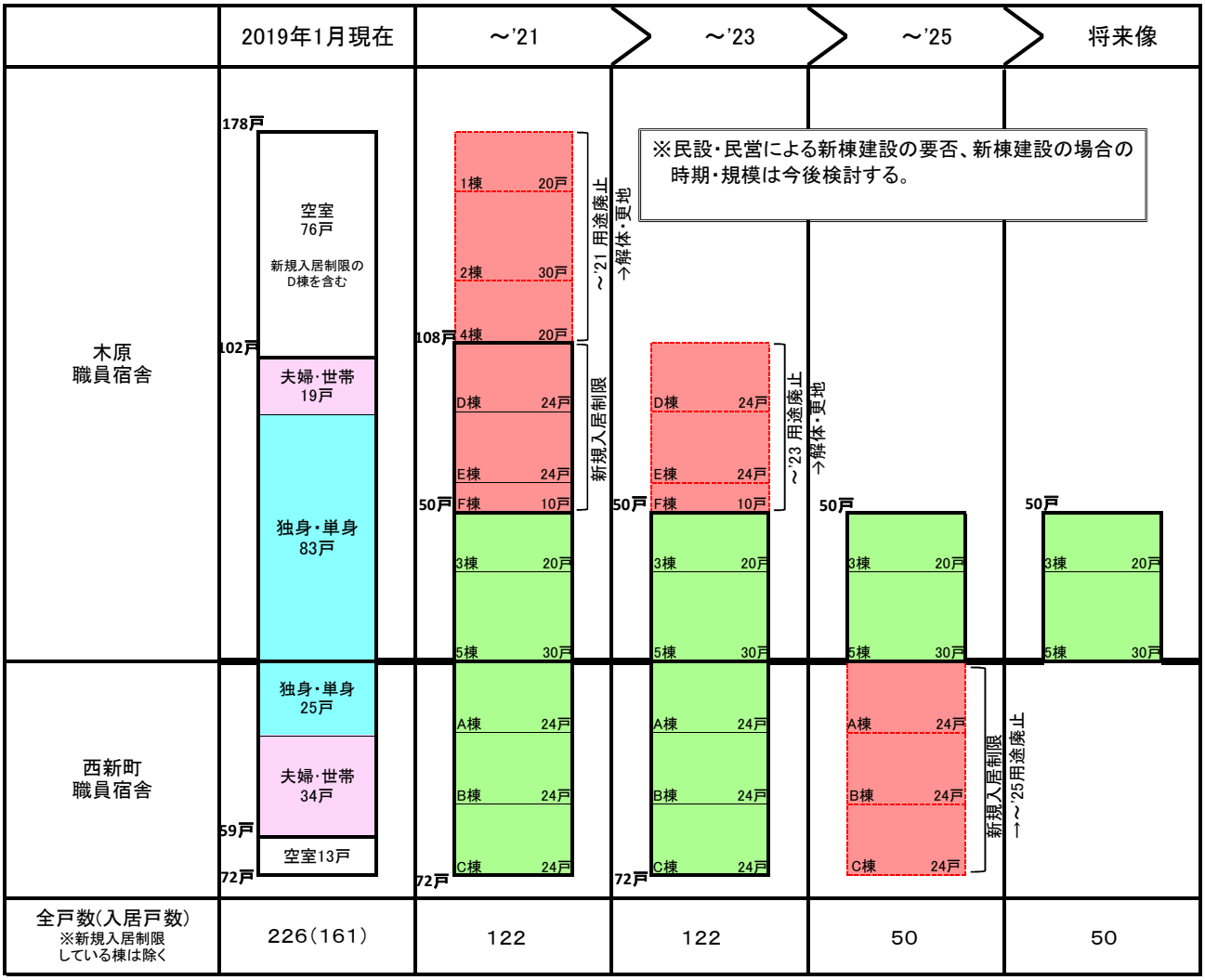
職員宿舎再編計画を見据えて必要最小限に抑制する。

３．実施する上での留意点

・機関決定後、入居者へ周知する。
・留学生については、ドミトリー、国際交流会館および民間アパート等を活用する。
・学童保育のあり方を検討する。
・附属病院外来駐車場としての利用について検討する。

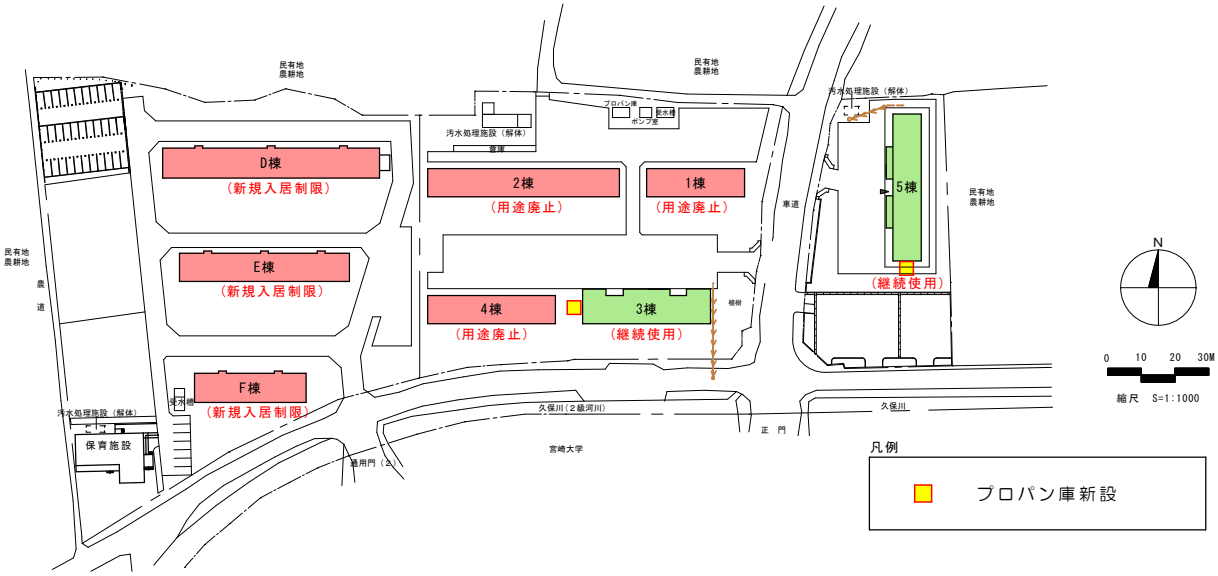
宮崎大学職員宿舎再編計画（年次計画）



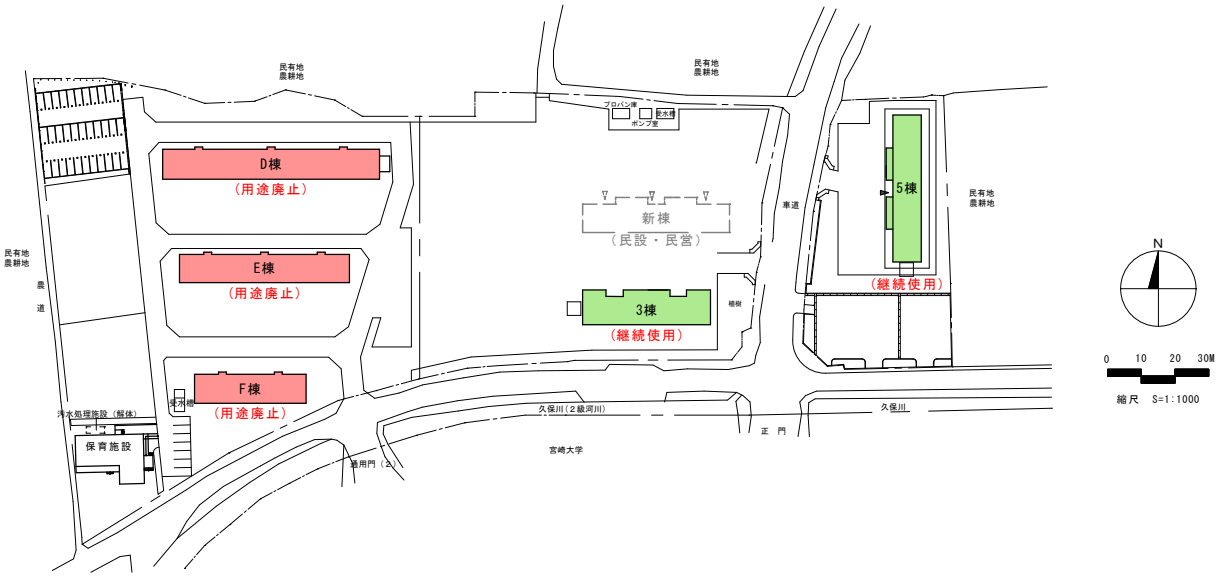


木原職員宿舎の再編計画（配置図）

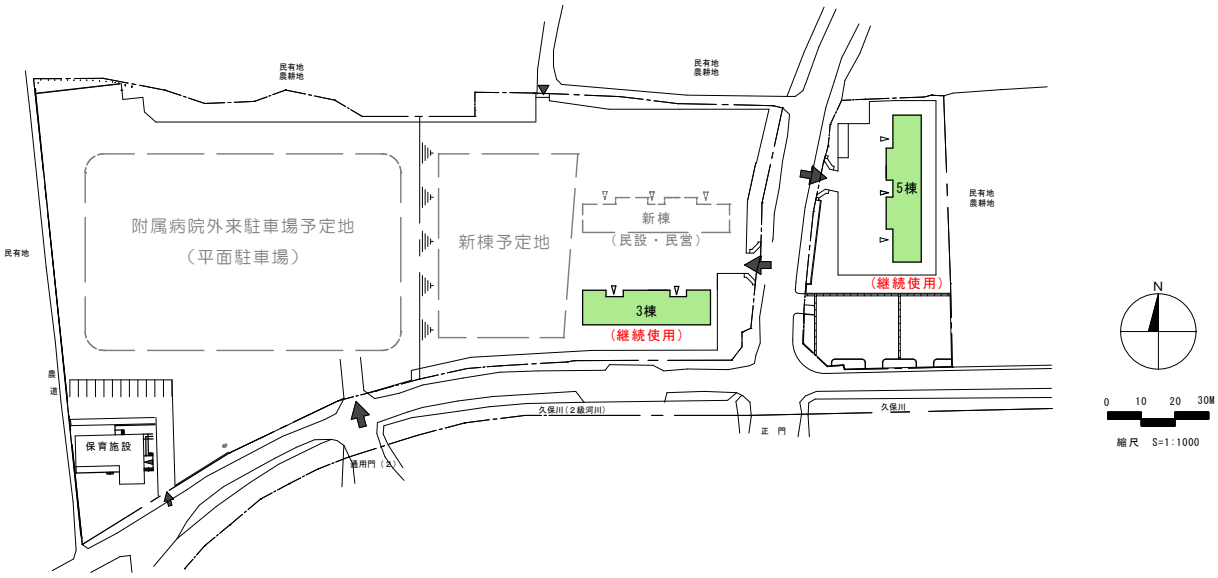
～2021



～2023



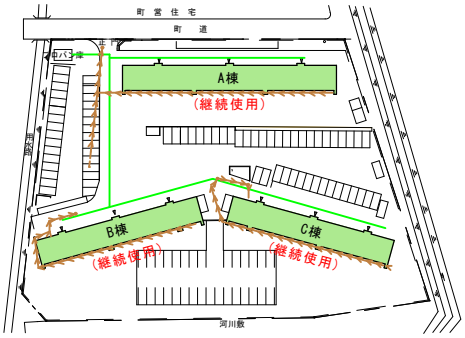
将来像

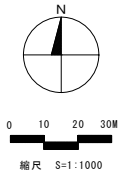


西新町職員宿舎の再編計画（配置図）

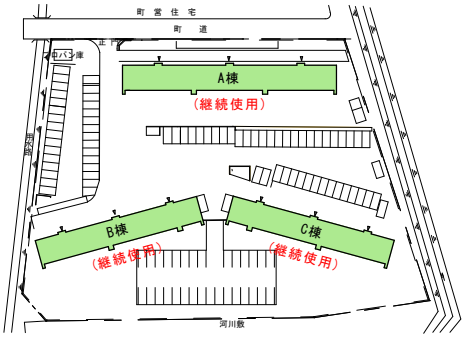
～2021

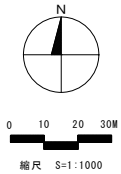
凡例
- 埋設配管新設（下水道）
- 埋設配管更新（ガス）



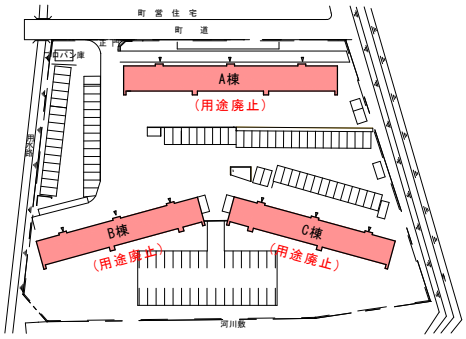


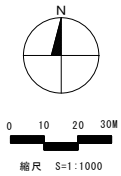
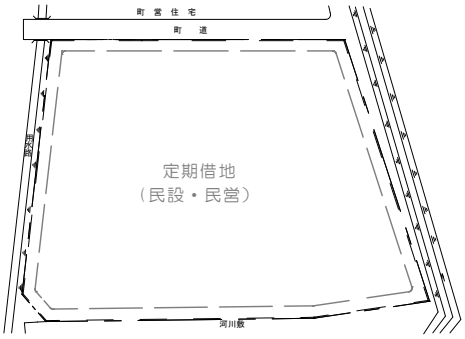
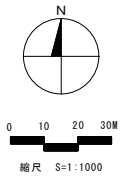
～2023





～2025





将来像